

平成29年度

大分市の教育



大分市教育委員会

大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例

平成8年3月28日

大分市条例第2号

(目 的)

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下での平等を定める日本国憲法並びに自由及び平等を定める世界人権宣言の基本理念にのっとり、市及び市民の責務等に関し必要な事項を定めることにより、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃及び人権の擁護を図り、もって平和な明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するため、第4条に規定する施策の推進を図り、市民の人権意識の高揚及び人権の擁護に努めるものとする。

(市民の責務)

第3条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(市の施策)

第4条 市は、あらゆる差別を撤廃し、人権を擁護するため就労対策、産業の振興、教育及び啓発に関する必要な施策の推進に努めるものとする。

(実態調査)

第5条 市は、前条に規定する施策の策定及び推進に反映させるため、必要に応じ実態調査等を行うものとする。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

●表紙の作品について

吉村 益信 (よしむら ますのぶ) 1932年－2011年

CUT SEA 1973年 油彩、キャンバス 72.8cm×100.0cm 大分市美術館蔵

吉村は、大分市生まれの現代美術家。1955年、武蔵野美術学校（現：武蔵野美術大学）卒。1960年、赤瀬川原平、風倉匠らと「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」を結成し、派手な街頭パフォーマンスや、反芸術的なオブジェを発表し注目を集めた。

本作は、1970年から吉村が環境問題に警鐘を鳴らすために取り組んだ作品群のひとつ。部分と全体との関係性について考えていた吉村は、あえて海の一部を切り取ることで大海原の本質を描き出そうと試みている。

目 次

大分市の概要	1	7 大分市奨学金制度	32
教育行政		8 大分市立小学校、中学校及び義務教育学校 隣接校選択制	33
1 教育委員会	2	幼稚園教育	
2 歴代教育委員・教育委員長・教育長	3	1 就園状況	35
3 組織機構と事務分掌	4	2 就園奨励費及び私立学校補助金	35
4 平成29年度市費職員配置数	5	3 幼稚園教育の振興と充実	36
5 大分市教育ビジョン2017	6	4 研修・研究活動	36
6 平成29年度大分市学校教育指導方針	9	特別支援教育	
7 大分市教育大綱	10	1 特別支援教育の推進	37
教育財政		2 特別支援学級	37
1 平成29年度教育委員会重点事業	11	3 特別支援学級在籍者数の推移	38
2 教育費の推移	12	4 特別支援学級の運営	39
3 平成29年度教育費予算概要	12	5 就学指導	39
6 特別支援学級(幼稚園)	39	健康教育	
学校施設		1 平成29年度主要な事業	40
1 学校教育環境	14	(1) 学校保健・安全	40
2 平成29年度主要な事業	14	(2) 学校給食	43
3 学校施設の整備状況	15	青少年教育	
4 安全かつ機能的で 豊かな学校教育環境の創出	15	1 平成29年度主要な事業	45
5 地域に開かれた学校づくり	15	2 エデュ・サポートおおいた	47
6 児童・生徒数の推移	15	3 大分市立のつはる少年自然の家	48
児童・生徒・幼児・教員・学校一覧		人権・同和教育	
1 児童・生徒・幼児		1 平成29年度主要な事業	51
(1) 学校種別学級数、児童生徒・幼児数	16	2 学校教育	52
(2) 学年別学級数・児童生徒数	16	3 社会教育	53
2 教員		4 人権啓発	54
教員構成	17	生涯学習	
3 学校一覧		1 平成29年度主要な事業	55
(1) 小学校	18	2 社会教育関係団体の育成	60
(2) 中学校	20	3 公民館	60
(3) 義務教育学校	20	4 大分市情報学習センター	63
(4) 幼稚園	22	5 大分市関崎海星館	64
(5) エスペランサ・コレジオ	22	6 エスペランサ・コレジオ	65
学校教育		7 河原内陶芸楽習館	66
1 教育課程の改善と充実	23	8 大分市民図書館	67
2 研修体系	27		
3 教育研究会	29		
4 キャリア教育	29		
5 学校体育	30		
6 福田展・朝倉展	31		

目

次

芸術・文化

1	芸術・文化振興	69
2	文化財	70
3	大分市歴史資料館	78
4	大分市美術館	81
5	アートプラザ	85

資 料

1	教育委員会の沿革	88
2	教育委員会会議	92
3	大分市総合教育会議	96
4	大分市議会文教常任委員会委員	97
5	大分市社会教育委員	97
6	大分市文化財保護審議会委員	97
7	大分市美術館協議会委員	97
8	大分市民図書館協議会委員	98
9	大分市青少年問題協議会委員	98

大分市の概要

1 自然特性

本市は、アジア太平洋諸国に近接し、九州の東端、東九州軸の北部、瀬戸内海の西端に位置し、大分県の扇状地域の要に当たり、南は臼杵市及び豊後大野市、西は別府市、由布市及び竹田市に接し、九州でも有数の広い市域を有しています。

地勢は、高崎山をはじめ鎧ヶ岳、樅木山などの山々が連なり、市域の約半分を森林が占めるなど、豊かな緑に恵まれています。また、これらの山々を縫うように一級河川である大野川、大分川が南北に貫流しながら別府湾に注いでいます。海岸部においては、北部沿岸海域は水深が深く、東部沿岸は豊予海峡に面したリアス式海岸で天然の良港となっています。このように、海、山、川のすべてがそろい、自然と都市が共存する優れた都市環境を有しています。

また、大分の特産種オオイタサンショウウオ、大分県を北限とするキムラグモなどの貴重な希少種をはじめ、多くの野生生物が生息しています。国指定の天然記念物である高崎山のサル生息地や県指定の天然記念物である高島のウミネコ営巣地、ビロウ自生地など、野生生物の生息環境にも恵まれています。

2 歴史特性

縄文時代から現代まで、瀬戸内ルートを主幹にした「海の道」を媒介に歴史を刻んだ東九州の要地です。また、古代に豊後国府が設置されて以来、現代まで1300年にわたり県都としての役割を担っています。

中世・戦国時代には、九州北部に大きな勢力を築いた戦国大名大友宗麟が、聖フランシスコ・ザビエルを豊後府内に招き、海外との貿易を積極的に進めました。府内のまちは海外の品々があふれ、異国の人々が行き交い、西洋の医学、天文学、音楽、演劇をはじめとする南蛮文化がいち早く花開き、日本を代表する国際色豊かな貿易都市として繁栄しました。

江戸時代には、府内藩の城下町のほか、熊本藩の港町鶴崎・佐賀関や宿場町野津原、岡藩の港町三佐や宿場町今市、臼杵藩の在町戸次、延岡藩の代官所があった千歳、幕府領の高松など小藩分立のなか、独特の地域づくりが展開されました。

明治以降、幾度かの市町村合併により現在の本市が形成されてきました。その経緯から、旧市町村の拠点であった地区は現在も地区拠点としての機能を持ち、その地区拠点を中心に地域が形成されています。市全体としては、新産業都市として、鉄鋼、石油化学、銅の精錬など重化学工業を中心に発展し、近年では、IT関連の企業が進出するなど、さまざまな産業が集積しています。鉄道3線に加えて高速道路の整備が進み、県内外からの主要幹線道が合流しており、豊後水道を経由して内外に通じる海上交通の発達と相まって、東九州における拠点都市として発展を続けています。

人 口	479,114 人
男性	230,115 人
女性	248,999 人
世帯数	218,124 世帯
面 積	502.39 km ²
(平成29年7月末現在)	

教 育 行 政

1 教育委員会

大分市教育委員会は教育長および5人の委員で組織する合議制の執行機関である。教育長および教育委員は市長が議会の同意を得て任命し、任期は、教育長は3年、教育委員は4年である。

教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。

教育長および教育委員は教育委員会会議における審議、市長との協議調整の場である「大分市総合教育会議」における協議、学校訪問、施設の視察などを行う中で、本市教育の振興に努めている。



三浦 享二 教育長



古城 和敬 委員
(教育長職務代理者)



大久保 眞理子 委員



上杉 美穂子 委員



生野 誉士 委員



古城 一 委員

(平成29年8月1日現在)

職 名	氏 名	就任年月日	現 任 期
教 育 長	三 浦 享 二	平27.5.14	平27.5.14～平30.5.13
委 員 (教育長職務代理者)	古 城 和 敬	平28.4.1	平28.4.1～平32.3.31
委 員	大久保 眞理子	平23.5.14	平27.5.14～平31.5.13
委 員	上 杉 美穂子	平26.6.28	平26.6.28～平30.6.27
委 員	生 野 誉 士	平28.7.9	平28.7.9～平32.7.8
委 員	古 城 一	平29.7.8	平29.7.8～平33.7.7

2 歴代教育委員・教育委員長・教育長（6市町村合併後）

教育委員

氏 名	期 間
中山 宏 男	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
	昭38. 5. 4～昭42. 5. 3
	昭42. 5.12～昭46. 5.11
	昭46. 5.12～昭50. 5.11
	昭50. 5.14～昭54. 5.13
御手洗 正	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
	昭38. 5. 4～昭42. 5. 3
富来 鳴 実	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
築城 加久雄	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
春山 庫 喜	昭38. 3.10～昭38. 5. 3(暫定委員)
	昭38. 5. 4～昭39.12.25
阿部 本 生	昭38. 5. 4～昭41. 5. 3
	昭38. 5. 4～昭39. 5. 3
松岡 直	昭38. 5. 4～昭39. 5. 3
	昭39. 6.11～昭43. 6.10
稗田 茂	昭39. 6.11～昭43. 6.10
	昭40. 2. 2～昭40. 5. 3
池見 喬	昭40. 2. 2～昭40. 5. 3
	昭40. 5. 4～昭44. 5. 3
児玉 豊 後	昭40. 5. 4～昭44. 5. 3
	昭44. 5. 4～昭48. 5. 3
一丸 伍兵衛	昭48. 5. 4～昭52. 5. 3
	昭41. 5. 4～昭45. 5. 3
三原 宣 雄	昭45. 6.20～昭49. 6.19
	昭42. 5.12～昭46. 5.11
田北 豊	昭43. 6.22～昭47. 6.21
	昭47. 6.22～昭51. 6.21
佐々木 智 英	昭46. 5.12～昭50. 5.11
	昭50. 5.14～昭54. 5.13
永徳 公 明	昭54. 5.14～昭58. 5.13
	昭49. 6.22～昭53. 6.21
松本 喜 義	昭53. 6.22～昭57. 6.21
	昭57. 6.28～昭61. 6.27
松橋 寛 文	昭61. 6.28～平 2. 6.27
	昭51. 7. 9～昭55. 7. 8
小田 ヨシ子	昭55. 7. 9～昭59. 7. 8
	昭52. 6.30～昭56. 6.29
矢津田 二 男	昭56. 6.30～昭60. 6.29
	昭54. 5.14～昭58. 5.13
安東 裕	昭58. 5.14～昭62. 5.13
	昭62. 5.14～平 3. 5.13
小野 今朝雄	昭58. 5.14～昭62. 5.13
	昭62. 5.14～平 3. 5.13
嶋津 義 久	平 3. 5.14～平 5. 5.31
	昭59. 7. 9～昭63. 7. 8
田北 昭 二	昭63. 7. 9～平 4. 7. 8
	昭60. 7. 8～平元. 7. 7
吉川 眞理子	平元. 7. 8～平 5. 7. 7
	平 2. 6.28～平 6. 6.27
清瀬 和 弘	平 6. 6.28～平10. 6.27
	平 3. 5.14～平 7. 5.13
池見 喬	平 7. 5.14～平11. 5.13
	平11. 5.14～平14. 3.31
松本 喜 義	平 4. 7. 9～平 8. 7. 8
	平 8. 7. 9～平12. 7. 8
安東 裕	平 5. 6.25～平 7. 5.13
	平 7. 5.14～平11. 5.13
清瀬 和 弘	平11. 5.14～平15. 5.13
	平 5. 7. 8～平 9. 7. 7
池見 喬	平 9. 7. 8～平13. 7. 7
	昭38. 3.10～昭38. 5. 3
松本 喜 義	昭38. 5. 4～昭39.12.25
	昭40. 2. 2～昭52. 5. 3
安東 裕	昭52. 6.30～昭60. 6.29
	昭60. 7. 8～平 5. 7. 7
清瀬 和 弘	平 5. 7. 8～平13. 7. 7
	平13. 7. 8～平14. 6.27
御沓 義 則	平14. 6.28～平19. 5. 7
	平14. 6.28～平19. 5. 7
秦 政 博	平18. 6.28～平19. 5. 7
	平19. 5.14～平27. 5.13
足立 一 馬	平19. 5.14～平27. 5.13
	平27. 5.14～
三浦 享 二	平26. 6.28～
	平28. 4. 1～
池見 喬	平28. 7. 9～
	平29. 7. 8～

氏 名	期 間
御沓 義 則	平10. 6.28～平14. 6.27
	平12. 7. 9～平16. 7. 8
橋本 量太郎	平16. 7. 9～平20. 1.15
	平13. 7. 8～平17. 7. 7
赤峰 弘 三	平14. 4. 1～平15. 5.13
	平15. 5.14～平19. 5.13
岡本 龍 治	平14. 6.28～平18. 6.27
	平18. 6.28～平19. 5. 7
秦 政 博	平15. 5.14～平19. 5.13
	平19. 5.14～平23. 5.13
若杉 順 子	平17. 7. 8～平19.12. 3
	平19. 5. 8～平22. 6.27
神足 博 美	平22. 6.28～平26. 6.27
	平19. 5.14～平23. 5.13
高橋 英 子	平19. 5.14～平23. 5.13
	平23. 5.14～平27. 5.13
足立 一 馬	平19.12.17～平21. 7. 7
	平21. 7. 8～平25. 7. 7
角山 光 邦	平25. 7. 8～平29. 7. 7
	平20. 3.26～平20. 7. 8
小林 達 也	平20. 7. 9～平24. 7. 8
	平24. 7. 9～平28. 7. 8
大久保 眞理子	平23. 5.14～平27. 5.13
	平27. 5.14～
上杉 美穂子	平26. 6.28～
	平28. 4. 1～
古城 和 敬	平28. 4. 1～
	平28. 7. 9～
生野 誉 士	平28. 7. 9～
	平29. 7. 8～
古城 一	平29. 7. 8～

教育委員長（平成27年5月13日をもって廃止）

氏 名	期 間
中山 宏 男	昭38. 5. 4～昭53. 7. 3
田北 豊	昭53. 7. 4～昭58. 5.13
佐々木 智 英	昭58. 5.19～平 2. 6.27
矢津田 二 男	平 2. 6.30～平 4. 7. 8
小野 今朝雄	平 4. 7. 9～平10. 6.27
嶋津 義 久	平10. 6.29～平14. 3.31
吉川 眞理子	平14. 4. 1～平15. 5.13
橋本 量太郎	平15. 5.14～平20. 1.15
若杉 順 子	平20. 3.26～平23. 5.13
高橋 英 子	平23. 5.16～平25. 5.15
角山 光 邦	平25. 5.16～平27. 5.13

教育長

氏 名	期 間
春山 庫 喜	昭38. 3.10～昭38. 5. 3
	昭38. 5. 4～昭39.12.25
池見 喬	昭40. 2. 2～昭52. 5. 3
	昭52. 6.30～昭60. 6.29
松本 喜 義	昭60. 7. 8～平 5. 7. 7
	平 5. 7. 8～平13. 7. 7
安東 裕	平13. 7. 8～平14. 6.27
	平14. 6.28～平19. 5. 7
清瀬 和 弘	平14. 6.28～平19. 5. 7
	平19. 5.14～平27. 5.13
御沓 義 則	平19. 5.14～平27. 5.13
	平27. 5.14～
秦 政 博	平27. 5.14～
	平27. 5.14～

3 組織機構と事務分掌



4 平成29年度 市費職員配置数(教育長除く)

(平成29年4月1日現在)

	教育 総務課	学 校 教 育 課	学 校 施 設 課	体 育 保 健 課	人 権 ・ 同 和 教 育 課	社 会 教 育 課	文 化 財 課	大 分 市 教 育 セ ン タ ー	美 術 振 興 課	東 部 共 同 調 理 場	西 部 共 同 調 理 場	市 民 図 書 館	エ ス ペ ラ ン サ ・ コ レ ジ オ	の つ は る 少 年 自 然 の 家	歴 史 資 料 館	小 学 校	中 学 校	義 務 教 育 学 校	計	女 性 内 数	
部長・教育監・参事	2																			2	1
次長・副館長		1	1		1															3	
参事																				0	
課長・所長・館長(副)	1			1	1	1	1	1	1											7	
校長																				0	
参事	3	3	1	2	1	2	3	2					1		2					20	3
参事補・主幹		5		3		2	5	2	3			1		1	2	9	4			37	12
室長・場長・所長・館長										1	1	1		1						4	
副校長																				0	
主査・専門員等	3	1	7	2	1	1	4	3	5	1		4			4	1				37	8
事務員	主 任	3		1	3		1	1							1					10	6
	主 事		4	7	1		3	2	4		1	2			4					30	15
	事 務 員	1	1	2			1													5	1
指導主事	1	13		3	3	2	1	11	1					3						38	11
社教主事						1														1	
社教主事補																				0	
技術員	主 任																			0	
	技 術 員																			0	
	技 術 員																			0	
社会体育主事																				0	
教諭																				0	
養護教諭																				0	
栄養士				1																1	1
汽缶士																				0	
運転者	主 任																			0	
	技 術 員																			0	
	運 転 者																			0	
作業員	主 任																			0	
	作 業 監 督 員																			0	
	作 業 員																			0	
学校主事	主 任															20	12	1	33	18	
	学 校 主 事															1	1		2	1	
	学 校 主 事 補															1			1		
用務員	主 任																			0	
	用 務 員																			0	
	用 務 員																			0	
調理員	主 任															50			50	47	
	給 食 調 理 員															22			22	17	
	給 食 調 理 員															3			3	1	
合計	14	28	19	16	7	13	18	21	14	2	2	8	1	5	13	107	17	1	306	142	
女性内数	5	7	3	8	1	4	2	7	8	1	1	3			3	81	8		142		

5 大分市教育ビジョン2017（2017年度～2024年度）

(1) 基本理念

豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ

学校、家庭、地域の連携・協働のもと、未来を担う子どもたちの豊かな人間性や社会性をはぐくむとともに、個性を尊重し、創造性を伸ばすことによって、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

また、生涯にわたって、主体的に学び、文化・芸術やスポーツに親しむなど、だれもがうらおいや生きる喜びを実感でき、郷土に誇りの持てるひとづくりを進めます。

〈目指す人間像〉

- 夢や希望を持ち 「生きる力」をはぐくむたくましい子ども
- 郷土に誇りを持ち 生涯を通じて 自ら学び生きがいをはぐくむ 心豊かな大分市民

(2) 基本理念の実現に向けて

① 6つの基本方針

大分市教育ビジョンの基本理念の実現に向け、6つの基本方針を定め、計画を推進します。

基本方針1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るとともに、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進することにより、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、生きる力をはぐくむ教育を創造します。

基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

子どもたちに質の高い学びの場を提供するため、家庭、地域及び関係機関との連携強化を図りながら、時代の要請に応える創意ある教育環境の整備・充実に努めます。

基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

生涯学習社会の構築のため、学びの支援体制や機会・内容の充実に努めるとともに、地域力の向上を図ります。また、豊かな人間性や社会性をはぐくむため、地域で子どもたちを育成するための環境づくりを推進します。

基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

優れた文化・芸術に触れる機会の拡大や本市独自の文化・芸術の情報発信、市民の主体的・創造的な活動の場の創出、文化財の保存・活用・継承に努め、文化・芸術を生かしたまちづくりを進めます。

基本方針5 スポーツの振興

市民のだれもが身近な場所で主体的に自分の興味・関心・適性等に応じてスポーツに参画できるよう生涯スポーツを推進するとともに、競技スポーツの振興に努めます。

基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて人権教育・啓発を推進し、一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、ともに生きる喜びを実感できる地域社会の実現に努めます。

② 2つの視点<「縦の接続」と「横の連携」>

本市では、基本方針に基づく施策を総合的に推進する上から、「縦の接続」と「横の連携」の視点による、つなぎ・つながる教育の展開を図ります。

「縦の接続」

- 学校教育段階はもとより生涯学習社会の実現の観点から、一人ひとりが、よりよく生きるための意欲と力を生涯にわたって高め、豊かなものにしていくことが大切です。
- 家庭教育と幼児教育、幼児教育と小学校、小学校と中学校など、それぞれの教育の役割や校種ごとの目標の達成に留意しながら、円滑な接続を図ることが大切です。

「横の連携」

- 社会全体で連携・協働して教育に取り組むことは、一人ひとりの主体的な参画によるコミュニティづくりや、よりよい社会づくりに資する上から重要です。
- 社会のさまざまな世代の人々や組織等が多様な形態で教育に関わることは、働くことや、社会とつながり社会に参画することの意義を身をもって子どもたちに示し、将来に向けてその視野を広げ、生きる意欲を高めることにもつながります。

(3) 期間

基本計画の期間は、2017（平成29）年度から2019年度までを「第Ⅰ期」、2020年度から2024年度までを「第Ⅱ期」とします。

なお、2020年度からの第Ⅱ期基本計画については、第Ⅰ期基本計画の進捗状況、国や県の動向、社会情勢の変化等を踏まえ、見直しを図ります。

(4) 指標

本計画において、学校、家庭、地域と行政が連携・協働して取り組むさまざまな具体的施策の進捗について、市民に分かりやすく示すため、計画の中間年度である2019年度及び最終年度である2024年度に目指す姿としての指標を設定しています。

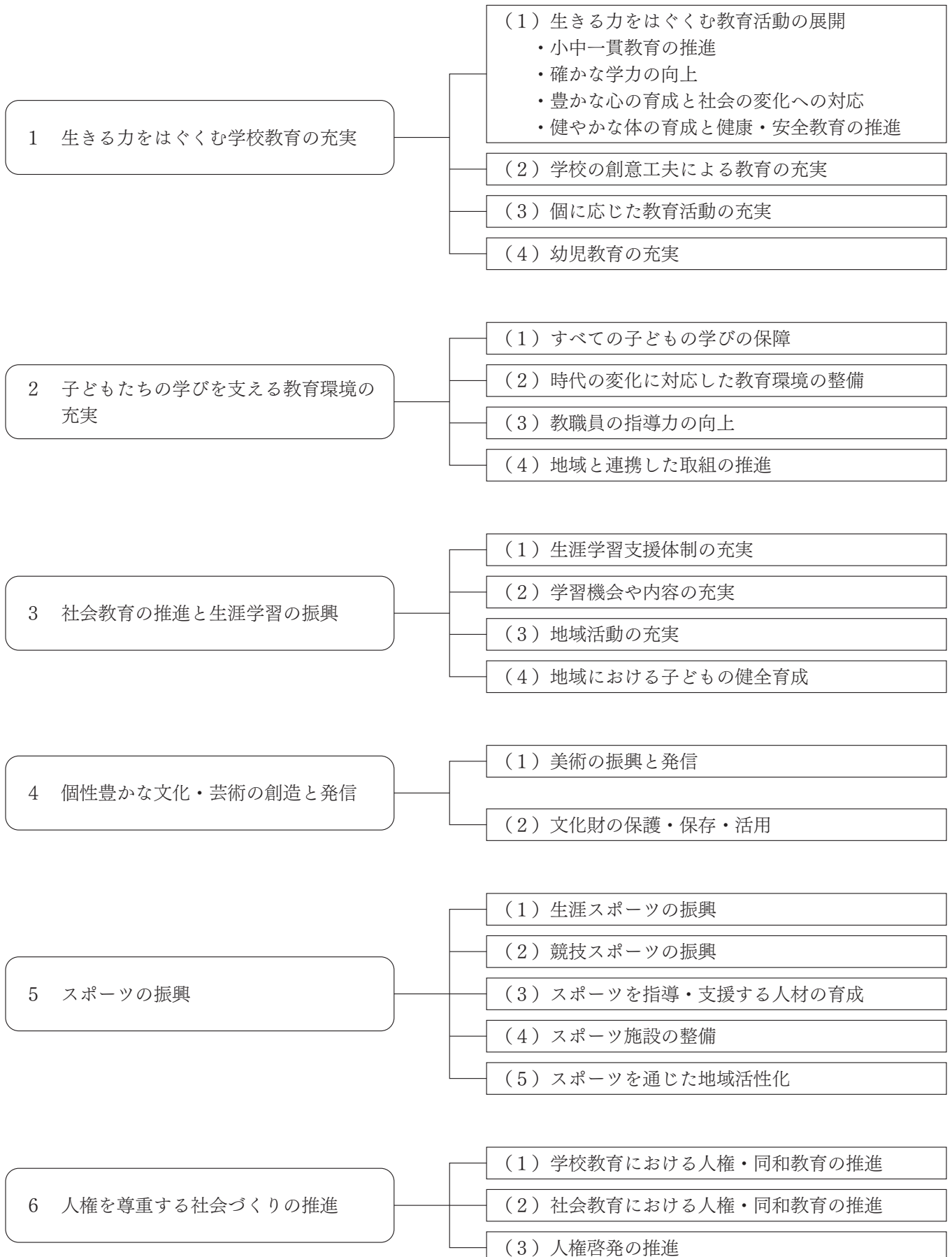
(5) 点検・評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育ビジョンに示した主な取組について年度ごとにその進捗状況を点検・評価し、各施策の展開の仕方について、必要な見直しを図ります。

(6) 重点施策の体系

〈基本方針〉

〈重点施策〉



6 平成29年度大分市学校教育指導方針

本市の目指す学校教育

確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成し、
自ら学び、自ら考える力などの生きる力をはぐくむ学校教育

本市の目指す子ども像

未来を切り拓く心豊かで
たくましい子ども

個性を発揮し、夢や希望をもって
主体的、創造的に生きる子ども

生涯にわたって学びつづける
基礎を身に付けた子ども

本市の重要課題と達成指標

- 幼児の豊かな育ちを促す保育力の向上と地域の特性をいかした幼稚園教育の推進
- I 学校、地域の実情に応じた小中一貫教育の推進
 - 【達成指標】 各中学校区における目指す子ども像等を位置付けた、小中一貫教育の全体計画・年間指導計画の作成、実施及び評価、改善
- II 開かれた学校づくり、信頼される学校づくりの推進
 - 【達成指標】 学校経営計画表における全取組項目の評価 3 以上
- III 確かな学力の定着・向上
 - 【達成指標】 各種学力調査において、すべての実施教科の結果が全国平均以上
- IV 豊かな心をはぐくむ教育活動の充実
 - 【達成指標】 「特別の教科 道徳」の導入に向け、指導主事を活用した授業研究の実施及び全体計画・年間指導計画の作成
- V 体力の向上と心身の健康の保持増進
 - 【達成指標】 新体力テスト(大分市)における総合評価が C 以上の児童生徒の割合の増加
- VI 一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進
- VII 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- VIII 豊かな人間性や社会性をはぐくむ生徒指導の充実
- IX 人権尊重の精神をはぐくむ教育活動の充実

7 大分市教育大綱（平成28～31年度）

(1) 大綱策定の趣旨

教育大綱は、平成26年6月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地域住民の意向をより一層反映するとともに、教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、教育行政に関する目標や施策の根本となる方針を地方公共団体の長が総合教育会議の場において教育委員会と協議して定めるものです。

(2) 基本理念

「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ」

未来を担う子どもたちの豊かな人間性や社会性をはぐくむとともに、個性を尊重し、創造性を伸ばすことによって、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

また、生涯にわたって、主体的に学び、文化・芸術やスポーツに親しむなど、誰もがうるおいや生きる喜びを実感でき、ふるさとに誇りを持てるひとづくりを進めます。

(3) 基本方針

基本理念の実現に向け、教育行政を総合的に推進するための5つの基本方針を定めます。

- 基本方針1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
- 基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実
- 基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興
- 基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信
- 基本方針5 スポーツの振興

(4) 7つの目標

変化の激しい社会を力強く生き抜くため、大分市の子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよくはぐくみ、人権尊重を基盤とした教育活動を展開します。

また、教育施策を進める上で、福祉・保健、子育て、地域振興など、さまざまな分野との連携が求められていることから、市民にとって効果的な施策となるよう、これまで以上に市長部局と教育委員会が密接な連携を図りながら一体となって、主に7つの目標に基づき推進します。

- 目標1 次代を担う人材育成
- 目標2 学びのセーフティネットの構築
- 目標3 質の高い学びを実現する教育環境の整備
- 目標4 生涯学習支援体制や家庭教育支援の充実
- 目標5 地域における子どもの健全育成の充実
- 目標6 文化・芸術を生かしたまちづくり
- 目標7 スポーツを通じた地域活性化

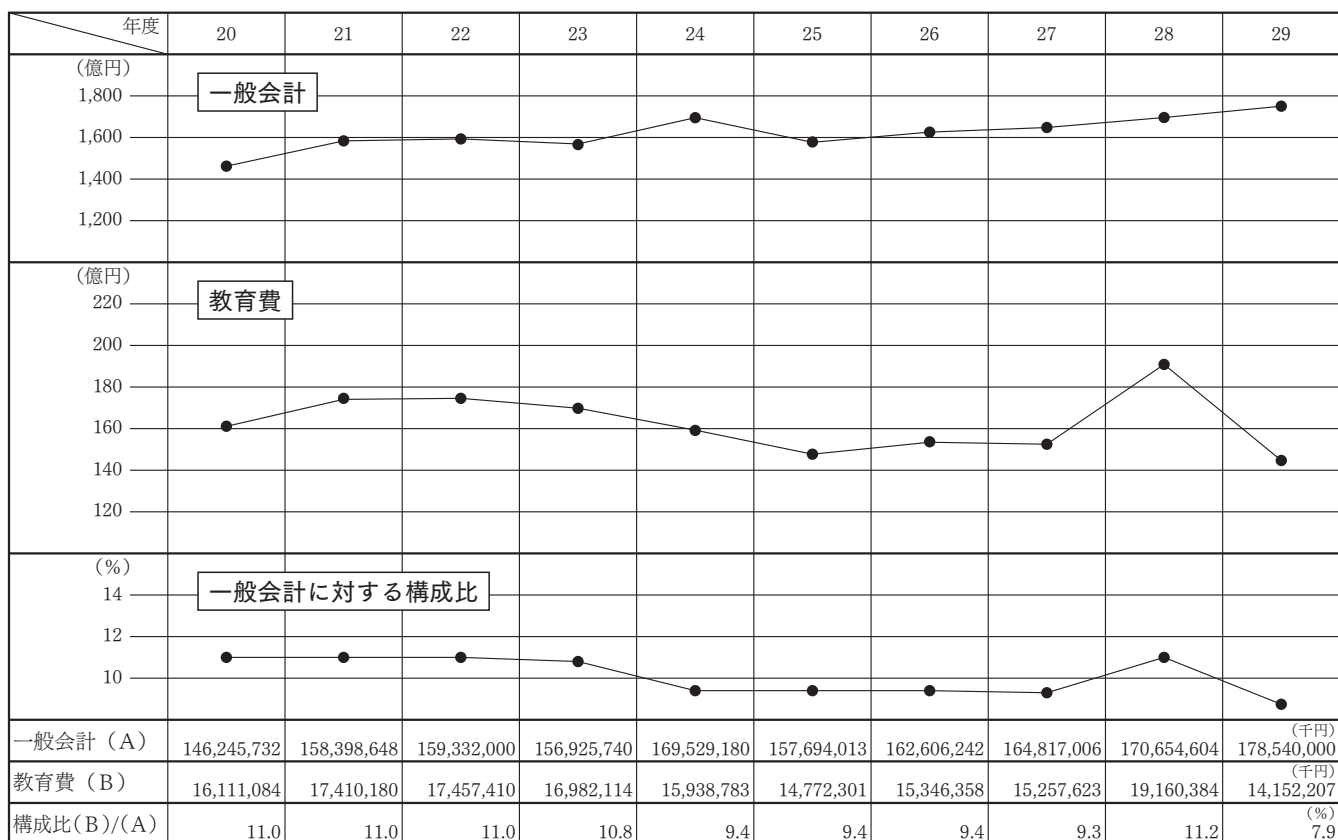
教育財政

1 平成29年度 教育委員会重点事業

(単位：千円)

事業名	事業費	主 内 容	担当課
未来自分創造資金事業	4,250	高校に入学する中学校3年生及び高校生を対象とした給付型奨学資金で、高校入学時に10万円、進級(卒業)時に5万円を給付する。	学校教育課
教科指導マイスター派遣事業	22,789	経験豊富で実績のある退職教員を「教科指導員」として、各中学校に派遣し、教科指導に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、生徒の学力の定着・向上を図る。	学校教育課
いじめ・不登校等未然防止対策事業	12,401	「Hyper-QU検査(心理検査)」を児童生徒に実施し、それにより得られたデータを活用することで、児童生徒の状態や学級の課題を客観的に把握し、以後の生徒指導や学級運営に役立て、いじめや不登校の未然防止を図る。	学校教育課
外国語指導助手招聘事業	101,451	各小中学校に外国語指導助手を派遣し、外国語活動や英語の授業等において活用することにより、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図る。	学校教育課
就学援助事業	650,466	経済的理由により、子どもを小・中学校及び義務教育学校に就学させることが困難な保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費など就学に必要な費用の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。	学校教育課
小中学校適正配置計画事業	2,712	優先順位1に位置付けている碩田中学校区については、平成29年4月に本市初となる施設一体型小中一貫教育校として大分市立碩田学園が開校した。 優先順位2に位置付けている神崎中学校区及び野津原中学校区については、平成27年度にそれぞれの校区の実施計画を策定した。平成28年度以降は新たな組織において、統合校の運営や統合準備に係る協議を行っている。 また、優先順位3に位置付けている校区については、校区の状況に応じて関係者との意見交換等を行う。	学校施設課
小中学校空調設備整備事業	53,020	児童や生徒に生理的・心理的に負担をかけない快適な教育環境は学習面や健康面において効果があると考えられるため、普通教室等に空調機を設置し児童生徒の学習環境の改善を図る。	学校施設課
歯と口の健康づくり事業	13,166	子どもが将来にわたって健康的な歯と口腔を維持するために、歯科医、薬剤師、保護者と協力し、歯みがき指導・食の指導・フッ化物洗口を実施し、子どものむし歯保有数の減少を図る。	体育保健課
大分っ子体力アップわくわく事業	2,411	体力・運動能力調査の分析において低い傾向にあるスピード・全身持久力・瞬発力の体力要素で構成される陸上運動・器械運動・体づくり運動の3領域の専門知識を持ったスポーツ人材を派遣し、体育授業を充実させることにより、体力の向上を図る。	体育保健課
運動部活動総合活性化事業	7,760	新たに設置した「大分市立中学校運動部活動外部指導者人材バンク」を専門的な指導者がいない学校が活用することにより、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに、外部指導者への研修会、トップアスリート等による実技講習会や講演会を開催することで競技力・資質の向上を図り、総合的に部活動の活性化をめざす。	体育保健課
おおいたナイトスクール事業	4,473	大分市内居住者、または市内に勤務する人で、様々な理由で中学校に行けなかった人、また、小学校高学年から中学校程度の学習内容を学びたいという人に対して、学習の機会を提供する。	社会教育課
大友氏遺跡保存整備事業	518,394	わが国の中世を代表する貴重な歴史遺産である国指定史跡大友氏遺跡の保護・保存・活用を図る。 ・史跡の保護・保存を目的とした公有化 ・大友氏館跡 中心建物エリアの確認調査 ・大友氏館跡庭園整備実施設計作成	文化財課
ワクワクおおいたFunai魅力発信事業	9,957	本市を代表する史跡である大友氏遺跡を新たな魅力として全国および外国人観光客を対象に情報発信を行う。特に、2018年から2020年のビッグイベントに合わせて、積極的な情報発信事業を展開する。 ・大友氏遺跡の看板や海部古墳資料館などの展示施設のインバウンド対応 ・小中学生を対象にFUNAIジュニア検定の実施と合格者のうち希望者をジュニアガイドとして養成 ・大友氏遺跡ボランティアガイドの養成	文化財課
スクールソーシャルワーカー活用事業	58,569	不登校をはじめ、いじめ、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを計画的に配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を図る。	大分市教育センター
特別支援教育メディカルサポート事業	21,425	学校内において日常的に医療的ケアを行う必要がある児童生徒が在籍する学校に看護師を派遣し、医療的ケアを行うことにより、児童生徒の安全な学校生活及び教育活動の確保並びに保護者の負担軽減等、合理的配慮を図り、教育機会を保障する。	大分市教育センター
まちなかアートフルロード推進事業	7,000	多くの賑わいが創出されている中心市街地(まちなか)をアートでも楽しみ、その賑わい効果を市美術館まで誘引するとともに、「アートのまち・大分」を市内外へアピールする。 【平成29年度の主な取組】 ・まちなかアートフルロードプロジェクト2017 まちなかGO! ・大分駅ストリートビジョンを活用した、アート情報等の発信	美術振興課

2 教育費の推移



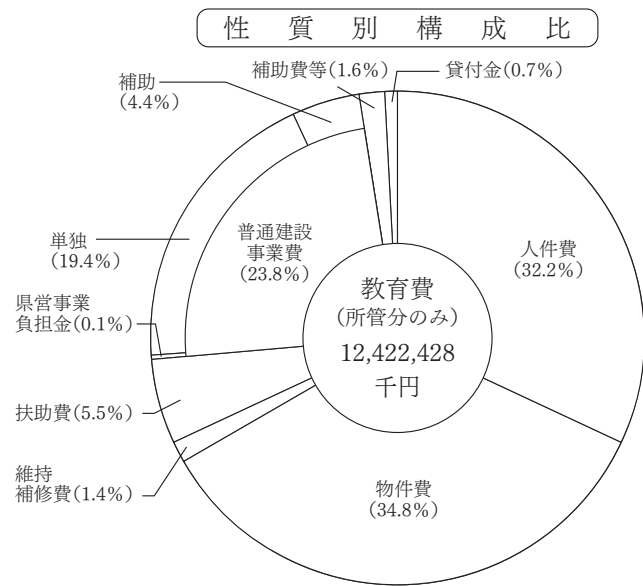
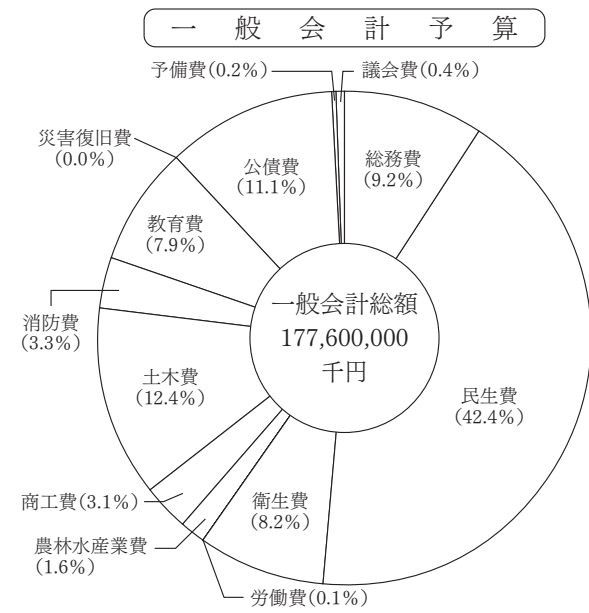
※平成20～28年度は決算額
 ※平成29年度は予算額

3 平成29年度 教育費予算概要

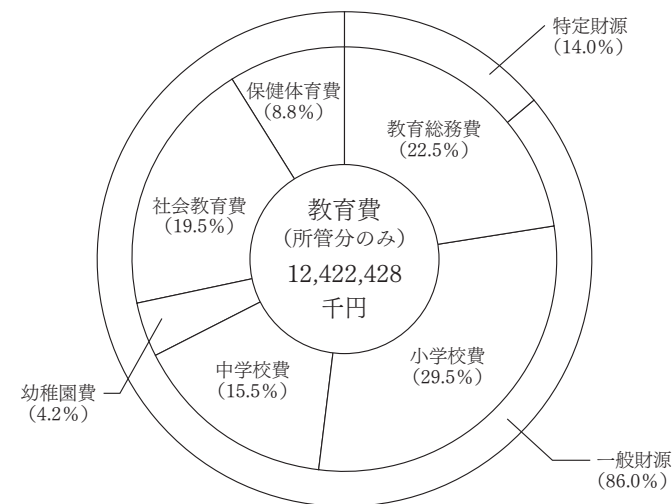
(1) 費目別予算額 (10款 教育費)

項	目	予算額(千円)	項	目	予算額(千円)
1 教育総務費	1 委員会費	8,657	5 社会教育費	1 社会教育総務費	181,950
	2 事務局費	1,472,455		2 文化財保護費	1,000,626
	3 教育指導費	445,347		3 エスペランサ・コレジオ費	39,522
	4 教育センター費	814,178		4 公民館費(教育委員会所管外)	1,000,307
	5 教育施設整備費	53,020		5 青少年費	10,210
	計	2,793,657		6 少年自然の家費	147,959
2 小学校費	1 学校管理費	2,886,756		7 情報学習センター費	39,574
	2 教育振興費	361,940		8 歴史資料館費	133,727
	3 学校建設費	415,402		9 市民図書館費	322,850
	計	3,664,098		10 美術館費	420,220
3 中学校費	1 学校管理費	1,071,483		11 アートプラザ費	104,020
	2 教育振興費	350,743		12 海星館費	27,597
	3 学校建設費	501,300		計	3,428,562
	計	1,923,526	6 保健体育費	1 保健体育総務費	171,759
4 幼稚園費	1 幼稚園費	521,939		2 学校保健費	86,948
	1 幼稚園費(教育委員会所管外)	729,472		3 学校給食共同調理場費	615,087
	計	1,251,411		4 学校給食費	217,159
				計	1,090,953
			10款 教育費	合計	14,152,207
				合計(所管分のみ)	12,422,428

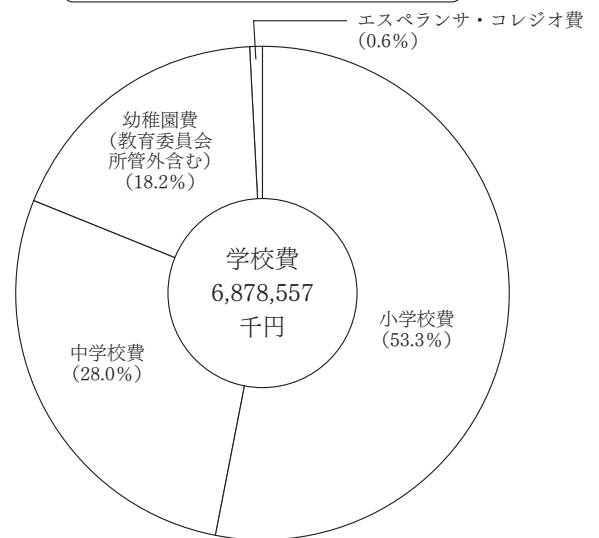
(2) 費目別構成比



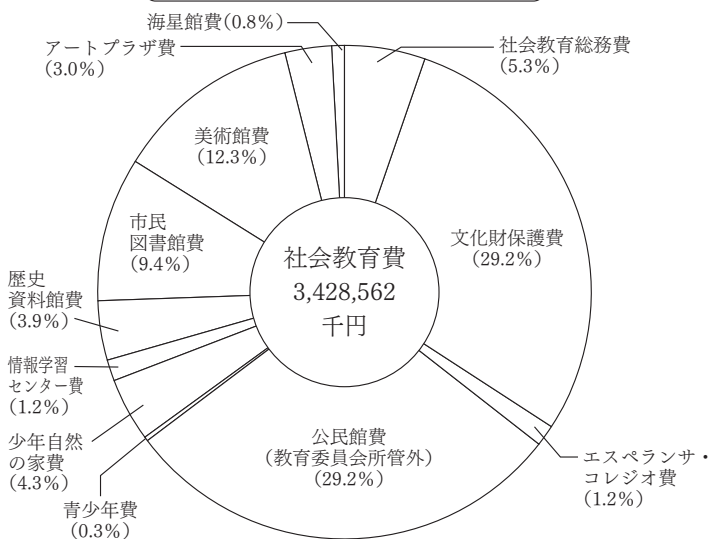
財源別・事業別構成比



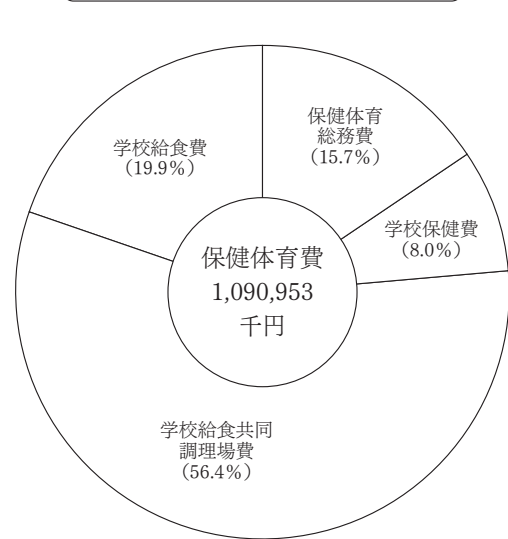
学校費構成比



社会教育費構成比



保健体育費構成比



学 校 施 設

1 学校教育環境

都市構造の変化や少子高齢化が進展する中、学校を取り巻く教育環境は、多様な変化に対応し得る弾力的な施設環境や健康的かつ安全な施設環境に整備するなど、望ましい機能を的確に把握し、改善・向上させていくことが求められている。

このような中、本市としても児童生徒数の減少や市街地整備の成熟度の違いなどにより小規模校や大規模校が生じ、教育環境の格差が拡大するなど新たな問題にも直面していることから、よりよい教育環境の構築に向けて学校適正配置の観点から児童数の推移、学校の規模、施設整備、敷地面積、学校運営などを視点に多面的な検討を進めているところである。

一方、ベビーブームによる児童生徒の急増に伴い大量に整備されてきた校舎などが、今後一斉に更新時期を迎えることから、建替及び長寿命化を組み合わせるなど、中・長期的な展望に立った計画的な施設整備が不可欠であることから、平成27年度に大分市教育施設整備保全計画を策定した。

また、余裕教室の活用については、少人数指導教室や特別活動室への利用など学校教育活動の場としての充実を推進するとともに、児童育成クラブや地域住民への開放も進める中、児童生徒数の増減、隣接校選択抑制等も踏まえ慎重に対応すべき状況となっている。

なお、学校施設の整備にあたっては、通常時における児童生徒の安全確保はもとより、災害時には学校施設が避難所として指定されるなど、地域のための防災拠点となることから、防災機能の強化の観点も求められている。

2 平成29年度 主要な事業

(1) 碩田学園グラウンド整備事業

小中学校適正配置計画に基づき、碩田中学校区内3小学校（荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校）の統合を行い、碩田中学校を含めた、本市で初となる施設一体型義務教育学校を創設することにより、生きる力をより効果的に育成するための環境を整備する。

また、本校舎は、津波避難ビルとしての機能を有する高層の6階建ての建物である。

●平成29年度事業計画

碩田学園	大グラウンド整備	11,468㎡ (グラウンド舗装面積)
	小グラウンド整備	6,454㎡ (グラウンド舗装面積)



碩田学園校舎

(2) 小中学校空調設備整備事業

本事業は、小中学校における空調設備を整備することにより、生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することを目的とし、事業実施にあたっては、民間の技術的能力等を最大限に活用して短期間に一斉導入することで、学校間の公平性を確保するほか、維持管理を含めた効率的な運営でコスト削減を図ることを目的としている。

平成29年度は、中学校における事業者の選定を行う。

(3) 小中学校施設整備保全事業（長寿命化改修）

よりよい教育環境の構築に向け、安全性の確保を最優先に、校舎等の一部改修などにより、教育環境の整備・充実を図る。

●平成29年度事業計画

- ・プール改修

明野北小学校	改 修	300㎡
城南中学校	改 修	300㎡

3 学校施設の整備状況

事業費の単位は千円

年度		25		26		27		28		29	
		校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費
小 学 校	校舎	61	1,071,247	61	1,752,569	61	1,854,452	60	2,967,005	57	462,600
	屋内運動場	11	165,399	4	27,372	5	74,904	1	329,957	3	44,000
	給食室	2	138,275	1	147,044					1	24,500
	プール	4	16,850	6	196,714	5	139,714	4	408,163	4	91,600
	用地買収									1	26,900
	グラウンド整備	3	171,402	3	64,661	1	62,986	1	105,875	5	72,800
計			1,563,173		2,188,360		2,132,056		3,811,000		722,400
中 学 校	校舎	27	267,273	27	473,461	27	791,327	27	1,870,314	26	259,150
	屋内運動場	1	15,194	3	25,994	5	80,667	1	308,984		
	給食室									3	83,300
	プール	1	5,670	3	86,394	3	29,775	2	191,275	1	8,000
	武道場					1	11,678	1	88,627		
	用地買収					1	2,695				
グラウンド整備	2	12,231			2	11,762	4	110,400	3	27,550	
計			300,368		585,849		927,904		2,714,600		378,000
義 務 教 育 学 校	校舎									1	188,946
	屋内運動場										
	給食室									1	700,054
計											889,000
幼 稚 園	園舎	4	18,969	28	40,122	28	51,925	27	52,000		
	用地買収				3,407						
計			18,969		43,529		51,925		52,000		
合 計			1,882,510		2,817,738		3,111,885		6,432,600		1,989,400

※平成29年度は計画分

4 安全かつ機能的で豊かな学校教育環境の創出

- ・学校安全対策緊急警報システムの点検整備
(小学校56校)
- ・建物定期点検
校舎等の建物・設備の定期的な点検整備
- ・遊具・体育器具等の安全管理の徹底

5 地域に開かれた学校づくり

- ・学校施設のバリアフリー化
(スロープ、手すり等の設置)
- ・学校施設の地域開放
(体育館等を社会教育団体等に貸出)
- ・地域連携施設の整備
(下郡小・明野東小・横瀬小・大在西小・上野ヶ丘中・神崎中・碩田学園)

6 児童・生徒数の推移

(国立・県立・私立を除く)

区 分		年 度				
		25	26	27	28	29
小 学 校	児童数(人)	26,544	26,312	26,379	26,261	26,446
	比 率(%)	100	99.13	99.38	98.93	99.63
中 学 校	生徒数(人)	12,827	12,806	12,639	12,560	12,203
	比 率(%)	100	99.84	98.53	97.92	95.14

※義務教育学校の1年生から6年生は小学校に、7年生から9年生は中学校に含む。

児童・生徒・幼児・教員・学校一覧

1 児童・生徒・幼児

(1) 学校種別学級数、児童生徒・幼児数

(平成29年5月1日現在)

区 分	学 校 数	学 級 数	児童生徒数
小 学 校	57(1)	991	25,771
中 学 校	28	416	11,852
義務教育学校	1	39	1,026
幼 稚 園	28(1)	48	704
エスペランサ・コレジオ	1	20(コース)	253
総 数	115(2)	1,514	39,606

- ・() は休校・休園数
- ・小学校・中学校については、それぞれ小中一貫教育校を1校含む。
- ・小学校については分校を1校、中学校については分校を2校含む。

(2) 学年別学級数・児童生徒数

① 小学校

(平成29年5月1日現在)

区 分	児 童 数	学 級 数
1 年	4,251	169
2 年	4,148	163
3 年	4,299	134
4 年	4,169	130
5 年	4,209	132
6 年	4,047	130
特別支援学級	648	133
合 計	25,771	991

- ・小中一貫教育校を1校含む。
- ・分校を1校含む。

② 中学校

(平成29年5月1日現在)

区 分	生 徒 数	学 級 数
1 年	3,763	140
2 年	3,931	112
3 年	3,945	111
特別支援学級	213	53
合 計	11,852	416

- ・小中一貫教育校を1校含む。
- ・分校を2校含む。

③ 義務教育学校

(平成29年5月1日現在)

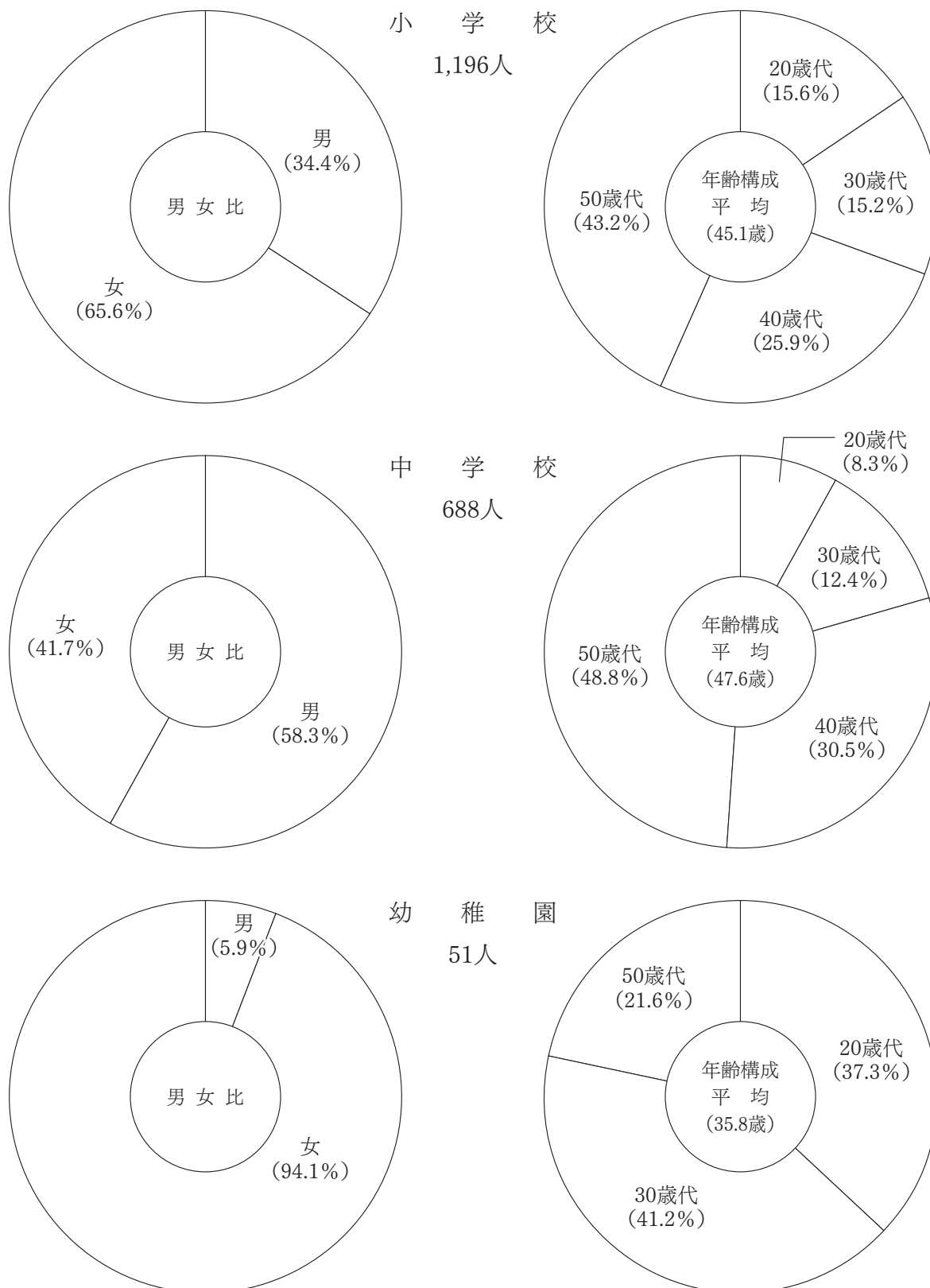
区 分	児 童 数	学 級 数
1 年	117	4
2 年	125	5
3 年	89	3
4 年	112	3
5 年	123	4
6 年	92	3
7 年	117	4
8 年	112	3
9 年	115	3
特別支援学級	24	7
合 計	1,026	39

2 教 員

教員の年齢構成及び男女比

※校（園）長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭（再任用者及び臨時講師は含まず）

※小学校に義務教育学校（前期課程）、中学校に義務教育学校（後期課程）を含む



※年齢は平成29年4月1日のもの

学 校 一 覧

3 学 校 一 覧

(1) 小 学 校

番 号	学 校 名	所 在 地	児 童 数	学 級 数	県 費 職 員				
					校 長・ 教頭・教諭等	養護教諭	栄養教諭	事務職員	栄養職員
1	金 池	金池町3丁目1番90号	798 (10)	28 (2)	36	1		1	1
2	長 浜	長浜町2丁目6番25号	283 (6)	12 (2)	15	1		1	
3	春 日 町	西春日町1番48号	652 (17)	24 (3)	30	1		1	1
4	大 道	大道町2丁目9番57号	460 (19)	19 (4)	25	1		1	1
5	西 の 台	にじが丘3丁目1717番地の1	975 (5)	32 (2)	40	2		1	1
6	南 大 分	奥田772番地の1	718 (16)	24 (2)	31	1	1	1	
7	城 南	永興492番地の1	548 (14)	20 (2)	26	1		1	1
8	荏 隈	荏隈1380番地	393 (11)	16 (2)	20	1		1	
9	豊 府	羽屋13番地の1	951 (24)	33 (4)	42	2	1	1	
10	八 幡	生石82番地の1	156 (4)	7 (1)	10	1			
11	神 崎	神崎1798番地	39	4	6	1			
12	滝 尾	羽田515番地の1	739 (32)	28 (5)	35	1	1	1	
13	下 郡	下郡北3丁目17番23号	889 (24)	31 (5)	39	2		1	1
14	森 岡	曲1041番地の2	218 (4)	10 (2)	13	1			
15	東 大 分	萩原1丁目10番30号	461 (12)	18 (2)	23	1		1	1
16	日 岡	日岡2丁目2番1号	431 (11)	15 (2)	20	1		1	
17	桃 園	山津町2丁目7番1号	475 (11)	17 (2)	23	1		1	1
18	津 留	東津留1丁目4番1号	444 (25)	18 (4)	23	1		1	
19	舞 鶴	西浜2番1号	275 (14)	14 (3)	18	1		1	
20	明 野 西	明野南2丁目6番1号	484 (11)	18 (2)	25	1	1	1	
21	明 野 東	明野東3丁目2番1号	341 (13)	14 (2)	18	1		1	
22	明 野 北	明野北4丁目10番1号	590 (18)	24 (4)	30	1		1	1
23	三 佐	三佐5丁目6番8号	250 (6)	13 (2)	16	1		1	
24	鶴 崎	南鶴崎3丁目3番1号	322 (6)	15 (2)	21	1		1	1
25	別 保	森町963番地の1	1,045 (38)	37 (7)	46	2		1	1
26	明 治	猪野74番地	1,053 (21)	36 (4)	44	2		1	1
27	明 治 北	小池原428番地の1	651 (16)	24 (3)	30	1	1	1	
28	高 田	下徳丸38番地の2	422 (12)	16 (2)	20	1		1	
29	川 添	宮河内4566番地	154 (5)	7 (1)	11	1			
30	松 岡	松岡5047番地	1,031 (11)	34 (2)	41	2		1	1
31	戸 次	中戸次4280番地	366 (11)	15 (2)	20	1		1	
32	上 戸 次	端登1792番地	50	5	7	1			
33	吉 野	辻654番地	223 (7)	10 (2)	13	1			
34	竹 中	竹中2821番地の1	40	4	7	1			
35	判 田	中判田1818番地	741 (7)	27 (2)	34	1		1	1
36	東 植 田	田尻499番地の1	562 (6)	20 (2)	25	1		1	1
37	植 田	木上433番地の1	510 (12)	21 (3)	28	1		1	1
38	賀 来	賀来68番地の2	632 (20)	24 (4)	29	1		1	1
39	敷 戸	敷戸北町12番1号	301 (12)	13 (2)	18	1		1	
40	敷戸小学校はばたき分校	芳河原台11番27号	10 (10)	3 (3)	6				
41	鴛 野	鴛野108番地の1	273 (8)	14 (2)	19	1		1	
42	宗 方	松が丘1丁目24番1号	496 (14)	20 (3)	26	1		1	1
43	横 瀬	横瀬1109番地の1	353 (4)	15 (3)	19	1		1	
44	横 瀬 西	横瀬2469番地	190 (8)	9 (2)	12	1			
45	寒 田	寒田684番地の4	609 (24)	23 (4)	29	1		1	1
46	田 尻	田尻1250番地	443 (7)	15 (2)	19	1		1	
47	大 在	横田1丁目15番58号	973 (30)	34 (5)	43	2		1	1
48	大 在 西	角子原1丁目4番41号	978 (23)	33 (4)	41	2	1	1	
49	丹 生	佐野2660番地の2	171 (6)	8 (2)	11	1			
50	小 佐 井	小佐井3丁目1番18号	402 (5)	15 (1)	19	1		1	
51	坂 ノ 市	坂ノ市中央5丁目8番1号	780 (11)	25 (2)	30	2		1	1
52	こ う ぎ き	本神崎945番地の2	146	6	10	1			
53	佐 賀 関	佐賀関1104番地	90 (3)	7 (1)	10	1			
54	野 津 原 東 部	野津原1774番地の1	132 (2)	7 (1)	11	1			
55	野 津 原 中 部	竹矢2108番地の1	41 (2)	6 (1)	9	1			
56	野 津 原 西 部	上詰704番地の1	11	4	5	1			
57	一 尺 屋	一尺屋2368番地の1	平成13年4月から休校						
計	57校(うち休校1校、分校1校)		25,771 (648)	991 (133)	1,277	64	6	41	21

・小中一貫教育校が1校含まれている

・学級数は実学級数

・() は特別支援学級在籍児童内数

・教諭等には主幹教諭・指導教諭を含む

・各職には学校基本調査における定員内臨時を含む

(平成29年5月1日現在)

市 費 職 員				職員計	面 積 (㎡)					プール施設		開校年月日
養護教諭	事務職員	学校主事	給食調理員		敷 地		建 物			25m	小プール	
					校 地	グラウンド	校 舎	屋内運動場	給食施設			
		1	5	45	16,936	6,802	5,754	886	130	○	○	明20. 6.19
		1	4	22	23,186	12,672	2,781	886	130	○	○	昭26. 4. 1
		1	4	38	11,494	4,389	6,102	881	373	○	○	明 8. 4.17
		1	4	33	16,589	8,550	6,062	886	360	○	○	大13. 4. 1
		2	6	52	31,303	12,653	5,837	1,049	150	○	○	平 3. 4. 1
		1	5	40	14,530	10,742	6,362	1,070	394	○	○	明 9. 2
		1	4	34	20,233	10,935	5,305	1,003	126	○	○	昭44.10.25
		2	4	28	21,861	13,990	4,281	886	177	○	○	昭56. 4. 1
		1		47	21,091	8,823	6,598	1,049	190	○	○	昭49. 4.11
		1	2	14	13,496	6,549	2,863	886	131	○	○	明 8. 9.20
		1	2	10	15,277	4,232	1,572	886	80	○	○	明 8. 4. 8
		1		39	20,622	9,931	4,932	886	170	○	○	明 9. 3. 5
		2	6	51	27,001	13,222	6,649	1,215	400	○	○	平13. 4. 1
		1	2	17	25,746	11,866	2,641	700	107	○	○	昭51. 4. 1
		1	4	31	14,746	9,048	4,575	886	129	○	○	明 7. 5. 1
		1	4	27	14,599	5,493	4,702	1,215	129	○	○	明 5. 9.16
		1	4	31	21,368	9,220	3,824	973	168	○	○	明 8. 1
		1	4	30	14,017	6,792	5,152	946	158	○	○	昭 6. 4.10
		1	4	25	17,167	9,432	4,257	886	157	○	○	昭51. 4. 1
		2	4	34	29,067	15,628	4,348	1,215	102	○	○	昭46. 4. 8
		1	4	25	22,183	12,626	4,851	919	110	○	○	昭47. 4. 1
		1	4	38	37,173	11,829	4,839	886	129	○	○	昭50. 4. 1
		1	2	21	21,746	13,340	3,109	919	76	○	○	明 7. 1.19
		1	4	29	15,474	9,418	5,035	919	360	○	○	明 5. 1.16
		2	6	58	22,972	11,536	6,168	886	175	○	○	明 8. 5. 4
		1	6	55	17,433	4,346	4,622	1,049	175	○	○	明42. 1.10
		1	4	38	21,615	11,669	5,064	886	175	○	○	昭58. 4. 1
		1	4	27	13,566	7,690	3,454	886	130	○	○	明 6. 8.15
		1	2	15	29,865	9,921	4,263	886	131	○	○	明 7. 1. 7
		1	6	52	24,236	14,824	6,240	886	105	○	○	明 8.10. 6
		2	3	27	19,333	6,422	4,352	886	155	○	○	明 6. 6
		1	2	11	9,707	5,858	1,803	484	80	○	○	明 6. 8
		1	2	17	16,256	8,186	3,202	886	113	○	○	明 8. 2.17
		1	2	11	12,599	6,295	2,044	600	80	○	○	明 6. 3. 1
		2	5	44	33,888	15,083	5,215	886	121	○	○	明 7. 9
		1	4	33	15,015	8,968	4,307	946	104	○	○	明10.11
		1	4	36	22,053	9,216	4,774	886	110	○	○	明 7. 4
		1	4	37	13,096	6,472	3,302	886	96	○	○	明 8. 3.13
		1	4	25	30,339	8,968	5,339	1,049	120	○	○	昭47. 4. 1
		1		7	522		288					平27. 4. 1
		1	3	25	23,427	11,081	3,668	886	157	○	○	昭54. 4. 1
		1	4	34	26,225	11,253	4,943	886	125	○	○	昭50. 4. 1
		1	4	26	30,588	13,031	4,589	886	158	○	○	昭52. 4. 1
		1	2	16	25,073	14,752	4,869	886	150	○	○	昭63. 4. 1
		1	4	37	25,129	11,055	4,537	886	157	○	○	昭53. 4. 1
		2	4	27	40,643	15,464	4,003	886	177	○	○	昭55. 4. 1
		1	6	54	26,450	15,131	1,945	886	181	○	○	明 7. 1
		2		47	27,182	13,110	7,498	1,215	425	○	○	平17. 4. 1
		1	2	15	16,136	7,700	2,700	894	100	○	○	明 7. 3.15
		1	4	26	18,517	14,254	2,238	886	205	○	○	明 7. 7. 7
		2	5	41	17,404	10,104	5,779	700	373	○	○	明41. 4. 1
		1		12	12,633	7,036	2,014	640		○		明 7. 1
		1		12	9,501	4,885	3,026	894		○	○	明 8. 2
		1		13	12,694	7,602	2,045	795		○	○	明 7. 2
		1		11	12,093	6,834	1,449	495		○	○	明 8. 3
		1		7	9,001	3,050	466	378		○		明11.10.16
					4,993	2,235	869	589				明11. 5. 1
		66	182	1,657	1,127,089	542,213	233,505	49,609	8,514	55	53	

- ・給食調理員の欄の《 》内の数字は計に含まない
- ・グラウンド面積は、校地面積の内数
- ・校舎面積には一時使用分も含む

学 校 一 覧

(2) 中 学 校

番号	学校名	所在地	生徒数	学級数	県 費 職 員				
					校長・ 教頭・教諭等	養護教諭	栄養教諭	事務職員	栄養職員
1	上野ヶ丘	上野町4番5号	493 (9)	18 (2)	32	1		1	
2	王子	南春日町6番1号	547 (5)	18 (2)	34	1		1	
3	大分西	高崎2丁目20番1号	434 (4)	15 (2)	28	1		1	
4	南大分	奥田754番地の1	781 (18)	25 (3)	45	2		1	
5	城南	荏隈754番地の19	393 (8)	14 (2)	26	1		1	
6	滝尾	羽田349番地	932 (19)	30 (3)	51	2		1	
7	城東	牧上町14番19号	631 (9)	20 (2)	36	1		1	
8	原川	寺崎町1丁目10番1号	414 (8)	15 (2)	27	1		8	
9	明野	明野南3丁目7番1号	694 (10)	22 (2)	43	2		1	
10	鶴崎	皆春1200番地の1	680 (16)	23 (3)	43	1	1	1	2
11	大東	横尾2843番地の4	1,012 (13)	32 (3)	57	2		1	
12	東陽	下徳丸197番地の1	373 (9)	14 (2)	27	1		8	
13	戸次	中戸次4508番地の1	248 (4)	10 (2)	18	1		1	
14	吉野	辻812番地	124 (1)	6 (1)	10	1			
15	竹中	竹中3621番地	25	3	9	1			
16	竹中中学校二豊学園分校	端登5番地	13	4 (1)	12	1			
17	判田	中判田2254番地	391 (4)	14 (1)	24	1		1	
18	植田	市589番地の2	428 (7)	15 (2)	27	1		1	
19	植田東	寒田1369番地の1	490 (18)	18 (3)	34	1		8	
20	穂田東中学校はばたき分校	芳河原台11番27号	7 (7)	2 (2)	6	1			
21	植田西	田原378番地	246 (3)	10 (2)	19	1		8	
22	植田南	田尻123番地の1	578 (4)	20 (2)	36	1	1	1	2
23	賀来	賀来101番地の3	297 (12)	11 (2)	22	1		1	
24	大在	政所2602番地12	850 (19)	28 (3)	50	2		1	
25	坂ノ市	坂ノ市南2丁目9番72号	558 (4)	18 (2)	34	1		1	
26	神崎	本神崎480番地	88	3	9	1			
27	佐賀関	佐賀関2の115番地の2	57 (1)	4 (1)	9	1			
28	野津原	野津原2978番地の13	68 (1)	4 (1)	10	1			
計	28校(うち分校2校)		11,852 (213)	416 (53)	778	33	2	49	4

・小中一貫教育校が1校含まれている
 ・() は特別支援学級在籍生徒内数

・教諭等には主幹教諭・指導教諭を含む数
 ・各職には学校基本調査における定員内臨時を含む

(3) 義務教育学校

番号	学校名	所在地	生徒数	学級数	県 費 職 員				
					校長・ 教頭・教諭等	養護教諭	栄養教諭	事務職員	栄養職員
1	碩田学園	碩田町2丁目5番60号	1,026 (24)	39 (7)	59	2	1	8	

学 校 一 覧

(平成29年 5 月 1 日現在)

市 費 職 員				職員計	面 積 (㎡)						プール 施設 25m	開校年月日
養護教諭	事務職員	学校主事	給食調理員		敷 地		建 物					
					校 地	グラウンド	校 舎	屋内運動場	武道場	給食施設		
		1		35	23,808	14,303	6,267	1,209	371		○	昭22. 5. 5
		2		38	28,916	14,871	6,616	1,860	450		○	昭22. 4.23
		1		32	33,135	13,333	5,135	1,009	371		○	昭62. 4. 1
		2		50	19,453	10,826	6,641	1,020	371		○	昭22. 4. 1
		1		29	20,272	11,972	5,064	1,014	387		○	昭51. 4. 1
		1		55	23,467	8,997	7,283	1,020	371		○	昭22. 5. 1
		1		39	31,542	15,992	7,138	1,476	371		○	昭22. 4. 5
		2		38	28,719	17,280	6,200	980	371		○	昭56. 4. 1
		1		47	48,042	29,763	7,685	1,053	450		○	昭47. 4. 1
		1		49	29,710	19,708	7,288	1,209	371		○	昭26. 9. 1
		2		63	30,148	11,944	6,424	980	371		○	昭25.12.20
		1		37	29,334	16,158	5,986	1,209	371		○	昭63. 4. 1
		1		21	24,313	17,605	3,857	981	371		○	昭22. 4.23
		1		13	30,261	10,183	2,817	886	371		○	昭22. 4.29
		1		11	22,807	9,061	1,717	886	371		○	昭22. 4.25
				13	11,160	5,115	1,456	596			○	平24. 4. 1
		1		27	23,123	12,500	5,084	1,138	371		○	昭22. 4.14
		1		30	22,222	11,847	5,227	1,209	450		○	昭25. 6.20
		2		45	25,892	14,090	6,021	886	371		○	昭50. 4. 1
				7	520		287					平27. 4. 1
		2		30	26,999	16,365	6,502	886	371		○	昭53. 4. 1
		1		42	28,782	18,838	6,026	1,020	371		○	昭57. 4. 1
		1		25	16,307	9,097	4,180	981	371		○	昭22. 4.23
		1		55	26,822	16,440	9,124	1,011	371		○	昭22. 5. 3
		1		37	30,506	15,972	5,460	1,098	371		○	昭22. 4.28
		1		11	21,333	13,674	3,456	993	400		○	昭22. 5. 3
		1		11	20,603	13,454	4,241	1,000	356		○	昭22. 5. 6
		1		12	29,264	14,389	2,769	869	400		○	昭22. 5. 3
		32		902	707,460	383,777	145,951	28,479	9,942		28	

- ・グラウンド面積は、校地面積の内数
- ・校舎面積には一時使用分も含む

(平成29年 5 月 1 日現在)

市 費 職 員				職員計	面 積 (㎡)						プール 施設 25m	開校年月日
養護教諭	事務職員	学校主事	給食調理員		敷 地		建 物					
					校 地	グラウンド	校 舎	屋内運動場	武道場	給食施設		
		2		73	38,117		18,701	2,611	399		○	平29. 4. 1

学 校 一 覧

(4) 幼 稚 園

(平成29年5月1日現在)

番号	園 名	所 在 地	園児数	学級数	教員数	面 積(m ²)		開園年月日
						敷 地	園 舎	
1	金 池*	金池町3丁目1番84号	60(5)	3(1)	5	2,301	673	昭24. 4. 1
2	春 日 町*	西春日町1番48号	61(3)	3(1)	5	2,161	529	昭28. 4.25
3	南 大 分	奥田772番地の1	8	1	2		396	大15. 4.15
4	城南が丘	永興565番地の2	7	1	2	1,536	483	昭46. 4. 1
5	豊 府	羽屋33番地	17	1	2	5,672	568	昭50. 4. 1
6	滝 尾*	羽田515番地の1	65(3)	4(1)	4	2,842	792	昭26. 4.18
7	東 大 分	萩原1丁目10番7号	15	1	2	2,471	441	昭23. 4.23
8	桃 園	山津町2丁目5番32号	22	1	3	1,777	479	昭50. 4. 1
9	津 留	東津留1丁目4番1号	16	1	2	2,360	690	昭48. 4.13
10	舞 鶴*	西浜2番1号	55(5)	3(1)	4	2,500	494	昭52. 4.18
11	明 野	明野東5丁目12番3号	7	1	2	5,315	582	昭51. 4. 1
12	別 保	森町963番地の3	22(6)	2(1)	2	1,808	361	昭54. 4.17
13	明 治	猪野22番地の1	21	1	2	2,604	556	昭50. 4. 1
14	高 田*	下徳丸38番地の4	54(4)	3(1)	4	2,598	364	昭51. 4.19
15	松 岡*	松岡5047番地	56(4)	4(1)	5		584	昭50. 4. 1
16	戸 次	中戸次4250番地	14	1	2	2,574	553	昭49. 4. 1
17	判 田	中判田1810番地	18	1	2	5,197	528	昭51. 4. 1
18	東 植 田	田尻512番地の2	8	1	2	2,832	357	昭31. 4.23
19	植 田	木上440番地の1	22	1	2	2,143	484	昭31. 4. 1
20	賀 来	賀来80番地	7	1	3	2,582	434	昭31. 4.23
21	敷 戸	敷戸南町9番1号	4	1	2	4,712	600	昭51. 4.19
22	宗 方*	松が丘1丁目24番2号	42(5)	3(1)	4	2,100	484	昭50. 4. 1
23	寒 田	寒田624番地の1	7	1	3	3,352	492	昭53. 4. 1
24	大 在	横田1丁目15番16号	30(3)	2(1)	3	2,518	454	昭28. 4.20
25	坂ノ市	坂ノ市中央5丁目8番30号	28(5)	2(1)	3	1,532	484	昭45. 4.13
26	こうざき	本神崎945番地の2	H29年度休園		休園		144	昭47. 4.13
27	佐 賀 関*	佐賀関1104番地	12	2	2		203	昭38. 1.12
28	野 津 原*	野津原1731番地の3	26	2	4	3,370	856	昭57. 4. 1
計	28園(うち休園1園)		704(43)	48(10)	78	68,857	14,065	

- ・※印は、2年制保育を導入または試行している園
- ・()は特別支援学級在籍幼児内数
- ・園舎面積には一時使用分も含む
- ・※教員数には学校基本調査における定員内臨時を含む

(5) エスペランサ・コレジオ

(平成29年5月1日現在)

番号	学 校 名	所 在 地	生 徒 数	コ ー ス 数	市 費 職 員				面 積 (m ²)	
					校長・副校長	事務職員	講 師	計	敷 地	校 舎
1	エスペランサ・コレジオ	東鶴崎1丁目1番5号	253	20	2	2	23	27	3,094	340

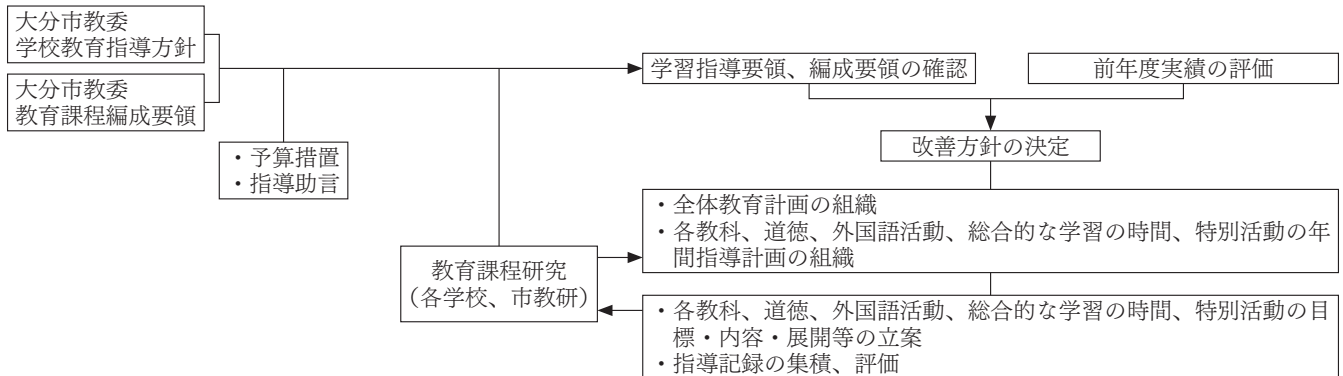
(開校年月日 昭43.4.1)

学 校 教 育

1 教育課程の改善と充実

大分市学校教育指導方針、教育課程編成要領等に基づき、各学校において地域社会や学校の特性をいかし、創意工夫をいかした特色ある教育課程の編成・実施及び改善にいかす評価に努める。

(1) 教育課程改善の進め方



(2) 小中一貫教育

大分市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、小中学校の教職員が共通の教育観・指導観をもち、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育を市内全中学校区において推進している。

また、研究する学校を段階的に指定し、本年度は、小中一貫教育校賀来小中学校、義務教育学校碩田学園、モデル校、実践発表校合計12中学校区34小中学校及び1義務教育学校において、学校・地域の実情に応じた小中一貫教育の研究を推進している。

【平成29年度の重点】

- 各中学校における目指す子ども像や小中一貫教育の重点目標の明確化
- 年間指導計画に位置付けた「小中合同授業研究会」を通じた授業改善
- 小中一貫教育の取組状況や成果・課題の検証結果等の家庭や地域への積極的な情報発信
(学校公開や懇談会、学校ホームページや広報紙等)

【各中学校区の取組】

- 各中学校区の取組
 - <共通の取組内容>
 - ・全校または特定の学年・集団での児童生徒の合同行事、交流行事の実施
 - ・中学校区作成の9年間を見通した学習・生活のきまりの活用及び改善
 - ・小中一貫教育の取組の成果・課題の検証を通じた指導計画等の改善
- ※原川中学校区、植田中学校区を実践発表校に指定（3年間）

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------------|
| ○野津原中学校区 | ○鶴崎中学校区 | ○植田東中学校区 | } (1中複数小モデル校) |
| ○大在中学校区 | ○坂ノ市中学校区 | | |
| ○吉野中学校区 | ○竹中中学校区 | ○神崎中学校区 | } (1中1小モデル校) |
| ○佐賀関中学校区 | | | |

<主な取組内容>

- ・学校・地域の特色をいかした系統的な教育課程の編成
- ・小中学校間での乗り入れ授業の実施
- ・公開研究発表会を通じた成果の還元
- ・小学校での一部教科担任制の実施 等



大在中学校区の
里帰りティー
チャーの様子

【大分市小中一貫教育校の取組】

- 賀来小中学校
 - <主な取組内容>
 - ・9年間を見通した系統的な教育課程の編成・実施
 - ・前期、中期、後期の3期に応じた教育活動
 - ・第1学年から英語科を実施
 - ・中期での一部教科担任制の実施
 - ・キャリア教育の推進

学 校 教 育

- ・公開研究発表会の開催 ・コミュニティ・スクールの活用 等
- ※教育課程特例校として文部科学大臣より認可（平成20年10月16日）

【義務教育学校の取組】

○碩田学園

<主な取組内容>

- ・9年間を見通した系統的な教育課程の編成・実施 ・前期、中期、後期の3期に応じた教育活動
- ・日常的な異学年交流等による「心育て」の充実
- ・「コミュニケーション能力」をはぐくむ教育の充実
- ・第1学年から英語教育を実施 ・中期での一部教科担任制の実施 ・コミュニティ・スクールの導入
- ・9年間を見通した生活・学習のきまりの活用や各期別集会の実施 等

(3) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

① 学力調査の実施状況

児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、各学校における指導の工夫改善にいかす。

名 称	学 年	教 科
大分市標準学力調査	小学校4年 中学校1年	国語、算数、理科 国語、数学、理科、英語、社会

※ その他、国、県で実施している調査

全国学力・学習状況調査	小学校6年 中学校3年	国語、算数 国語、数学
大分県学力定着状況調査	小学校5年 中学校2年	国語、算数、理科 国語、数学、理科、英語、社会

② 大分っ子学習力向上推進事業

児童一人一人に確かな学力をはぐくむことを目指して、市内の小学校において、教科指導における個に応じたきめ細かな指導を行うための非常勤講師と、特定小規模校（複式学級がある小学校）に、学年別の指導や課題別の指導を行う非常勤講師を大分市独自で採用し、申請のあった学校に配置する。

ア 小学校での算数、国語等の教科指導における個別指導や習熟度別指導

（小学校に21名の非常勤講師を配置）

イ 小学校の複式学級における学年別の指導や課題別の指導

（2複式学級を有する小学校に4名の非常勤講師を配置）

③ 学校研究の助成

自ら学ぶ力の育成を図る教育活動の充実を目指し、教科指導の在り方等について研究を深め、基礎学力向上研究推進校の児童生徒の確かな学力の向上に資するとともに、公開授業研究会等を通し、その成果の普及に努め、本市児童生徒の学力向上に向けての取組の充実に資する。

事 業 名 等	指 定 学 校 名	備 考
大分市基礎学力向上研究推進校	滝尾小学校、田尻小学校、城南小学校、判田小学校 城東中学校、明野中学校	市指定

(4) 特別支援等教育活動サポート事業

大分市独自で補助教員を配置し、教育的配慮の必要な児童生徒や学校になじめない児童生徒等への支援を行うなど、一人一人によりいっそう行き届いた教育の実現を図っている。

補助教員は、次のような児童生徒が在籍する学級や学校への支援を行っている。

ア 肢体が不自由で、常時介護が必要な児童生徒

イ 耳が不自由でノートテイクが必要な児童生徒

ウ LD、ADHD児等、教育的支援の必要な児童生徒

エ その他、学校運営上特に適切な対応が求められる児童生徒

本年度は、小学校に87名、中学校に21名、幼稚園に10名の補助教員を配置した。

(5) 大分市学校図書館活性化事業

学校図書館を効果的に活用した教育活動の一層の充実が求められていることから、大分市では、学校図書館法に基づき、平成15年度から12学級以上の小中学校に教育課程に即した読書指導の中心的な役割を担う司書教諭を配置している。

また、豊かな感性や情操をはぐくむ読書活動の一層の推進を目指し、平成19年9月から教職員やボランティアと連携・協力して学校図書館の業務を支援する職員「学校図書館支援員」をすべての小中学校に配置している。

なお、本年度より、学校図書館支援員を10名増員の60名とし、38校に専任配置している。

(6) 生き生き学習サポート事業

各学校の地域と一体となった多様な学習活動を支援し、子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力をはぐくむため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する者を、学校教育支援員として登録する「学校教育支援バンク」を設置する。市内各小中学校は、学校教育支援員及び各学校の人材バンクの地域人材を活用する。

「学校教育支援バンク」

分 野		人数	分 野		人数
教育等一般	人権・同和教育	3	産業・技術	産業・技術	1
	福祉・健康	0		美術・工芸	6
人文・社会科学	歴史（郷土史）・地理	10	芸術・文化	音楽・芸能	15
	政治・経済	4		文学・文芸	4
	民族・文化財	0	体育・スポーツ・レク	レク・体力づくり	3
自然科学	天文・地学	0	家庭生活・趣味	食生活	4
	動物・植物	5		園芸・手芸	8
	科学	2	市民生活・国際理解	国際理解・協力	6
	算数・数学	1		環境教育	10

(7) 武漢市学校交流事業

本市と武漢市との友好交流事業の1つとして、相互の理解と友情の促進及び国際社会に貢献できる人材の育成を図るうえから、本市中学生と武漢外国語学校の生徒の体験入学や交流活動を行う。

○派遣事業 市内の中学生3～5名と引率教師1名を武漢外国語学校に1週間程度派遣し、交流や学習の機会をもつ。

○受入事業 武漢外国語学校の生徒5名と引率教師1名を市内中学校に1ヶ月間受け入れ、交流や学習の機会をもつ。

(8) 防災体制の確立

「大分市学校災害対策マニュアル（改訂版Ⅱ）」等に基づき、家庭や地域社会等との密接な連携・協力のもと、各学校の防災体制の見直し・改善を進める。また、児童生徒に災害に適切に対応する能力を身に付けさせるため、学校の教育活動全体を通じて、体系的・計画的な防災教育を推進する。

(9) 学校評議員

① 学校評議員制度とは

より一層地域に開かれた学校づくりを進める観点から、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みを制度的に位置付けたものである。小中学校1校につき5名以内で構成され、本年度は317名が校長の推薦により、大分市教育委員会から委嘱されている。また、平成21年度から幼稚園においても、学校評議員制度を導入し、本年度は合計81名の学校評議員を委嘱している。

② 学校運営協議会制度とは

学校運営の改善の取組をさらに一歩進めるものとして、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って、学校の運営に参画することを可能とする制度である。校長が作成する学校運営の方針について承認することや、学校の運営全般について教育委員会又は校長に対し意見を述べること、教職員の任用に関して意見を述

学 校 教 育

ることができる。本年度は16校の小学校、中学校及び義務教育学校に設置している。

③ 学校評議員等研修会

制度の一層の充実を図るため、平成19年度から各校の学校評議員を対象に、「学校評議員研修会」を実施している。平成28年度からは学校運営協議会委員を対象に加え、大分市学校教育指導方針や学校評議員制度等についての学習、学校運営への参画の仕方や日頃の取組の情報交換等を行っている。

(10) 教科指導マイスター派遣事業

教員の授業力を向上させることにより生徒の学力の定着・向上を図るうえから、教科指導に関する指導・助言を行う「教科指導員」を各中学校及び義務教育学校に派遣する。

派遣対象教科	数学	理科	英語
教科指導員人数	3名	2名	3名

(11) 外国語指導助手招聘事業

児童生徒が外国の文化や言語に触れ、それらに対する興味・関心・意欲を高めるとともに、コミュニケーション能力の育成を図るため、各学校に外国語指導助手を派遣し、外国語活動や英語の授業等において活用する。

(12) 日本語指導等支援事業

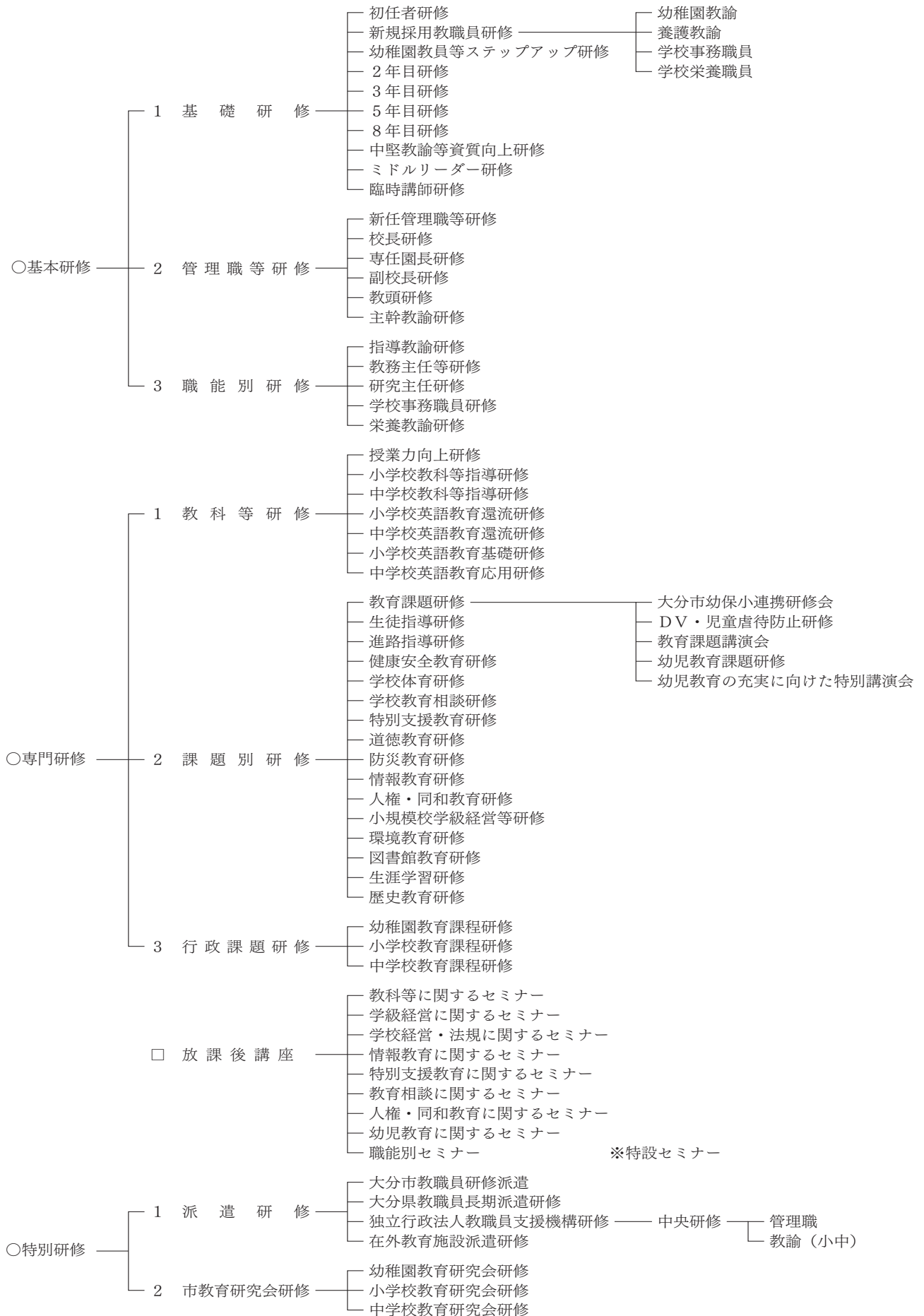
各学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を行う講師や通訳を活用して支援する。

- 日本語指導 日本語の指導が必要な外国籍児童生徒及び帰国児童生徒に対し、講師を活用して支援すること。
- 通訳 日本語が十分に理解できない保護者に対し、通訳者を活用して当該保護者の児童生徒に係る就学相談及び進路相談を支援すること。

(13) 補助教材の編集と配布または大分市ホームページでの公開（資料提供）

種 類	対象学年	種 類	対象学年
水道とくらし	小4	わたしたちと環境	小4・5・6
安全なくらしを守る大分市の消防	小4	ふくしの心	小5・6
くらしと下水道	小4	かしこい消費者になろう	小6

2 研修体系



学 校 教 育

(1) 大分市教職員研修派遣

目 的 大分市立小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園の教職員を他都府県の国公立小中学校、幼稚園、教育機関等に派遣して、研究状況等を研修させることにより、教育実践に必要な知識・技能を習得させ、指導力の向上を図るとともに、本市教育の改善、振興に資する。

対象者 校長、園長、副校長、教頭、教諭（主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭を含む）、学校事務職員

期 間 5日間以内

年度	人数	内 容	派 遣 先
24	21	小中一貫教育、学力定着・向上、情報教育 学校事務職員の教育支援の在り方、防災教育 特別支援教育、外国語活動	京都市、東京都、静岡市、呉市、福井市、北 九州市、美弥市、須崎市、新宮市、佐賀市、 武雄市、福岡市、大阪市、尾道市
25	18	小中一貫教育、学力定着・向上、学校組織マ ネジメント、小規模特認校における特色ある 教育活動の在り方、授業力向上（国語科）、 情報教育、通常学級における特別支援教育、 学校事務職員の教育支援の在り方	つくば市、三鷹市、府中市、深谷市、日野 市、岐阜市、神戸市、南国市、唐津市、玉野 市、山鹿市、武雄市、福岡市、鹿児島市
26	27	小中一貫教育、学力定着・向上、防災教育、 カリキュラム・マネジメント、情緒障害短期 治療施設及び併設学校、授業力向上（算数 科、外国語活動）、体力向上、認定こども園、 新聞を活用した効果的なNIE実践、不登校対 応対策、学校事務職員の教育支援の在り方	松本市、徳島市、福岡市、府中市、姫路市、 京都市、宇都宮市、荒尾市、玉名市、新見 市、松山市、つくば市、長崎市、比企郡嵐山 町
27	21	小中一貫教育、学力定着・向上、カリキュラ ム・マネジメント、情緒障害短期治療施設及 び併設学校、授業力向上（外国語活動）、特 別支援教育、新聞を活用した効果的なNIE実 践、学校事務職員の教育支援の在り方	府中市、竹原市、福岡市、東京都、金沢市、 熊本市、秋田市、横浜市、水戸市、京都市、 貝塚市、日進市、奈良市
28	23	小中一貫教育、学力定着・向上、学校研究、 学校組織マネジメント、情緒障害短期治療施 設及び併設学校、学校経営、英語教育、特別 支援教育（通級指導教室）、学校事務職員の 教育支援の在り方	綾部市、高槻市、京都市、高松市、岡山市、 福岡市、守口市、武蔵村山市、杉並区、周南 市、光市、立川市、久留米市、長岡京市、八 幡市、長崎市

※この制度は昭和43年度から継続している。平成24年度から短期派遣・中期派遣をまとめ、「大分市教職員研修派遣」として実施している。

(2) 教育実践記録

研究意欲を高め、教育の振興を図ることを目的とし、昭和33年から始まり平成29年度で60回目を迎える教育実践記録の募集を継続事業として実施している。

年度		24	25	26	27	28
区分	優 秀	2	2	2	4	4
	優 良	2	2	4	5	5
	佳 作	5	3	6	6	8
	応募総数	12	9	7	12	17

3 教育研究会

(1) 大分市教育研究会の組織と体制

大分市教育研究会 運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> — 大分市幼稚園教育研究会 — 大分市小学校教育研究会 — 大分市中学校教育研究会
会長…………… 1	
副会長…………… 2	
事務局長…………… 1	
会計…………… 1	
会計監査…………… 2	

(2) 年間研究計画

① 大分市幼稚園教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月10日	研究計画、班別研修
班 別 集 会	6月9日	班別研修
班 別 集 会	7月7日	班別研修
班 別 集 会	8月25日	班別研修、事前研
班 別 集 会	10月20日	提案保育、事後研
班 別 集 会	12月1日	班別研修
班 別 集 会	1月12日	班別研修、研究のまとめ

② 大分市小学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
部 会 研 究	5月17日	組織の決定、研究課題、研究仮説、研究計画
部 会 研 究	6月14日	指導案審議
部 会 研 究	7月5日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	8月29日	指導案審議、研究協議
部 会 研 究	10月11日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	1月17日	指導案審議
部 会 研 究	2月7日	検証授業、研究協議、部会研究のまとめ

③ 大分市中学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月26日	部会編成、研究主題、年間計画、事前研、部会研究
地 区 集 会	6月29日	授業研究・協議、課題研究、情報交換
地 区 集 会	8月28日	事前研、部会研究（講演会、実地見学）
地 区 集 会	9月28日	授業研究・協議、課題研究、情報交換
地 区 集 会	12月1日	事前研、部会研究（講演会、実地見学）
地 区 集 会	1月12日	授業研究・協議、課題研究、情報交換、研究のまとめ

4 キャリア教育

(1) キャリア教育の重点

- ① 地域や学校の実態に即し、自校のキャリア教育の目標や育成すべき能力・態度等を明確にした全体計画を作成し、教育活動全体を通して組織的・系統的なキャリア教育の推進に努める。
- ② 校長の方針に基づき、全教職員がキャリア教育の目標を共有しながら適切に役割分担を行うなど、校内推進体制を充実する。
- ③ 各教科等のキャリア教育に関する内容の相互の関連性や系統性を踏まえた指導計画を作成し、発達の段階に応じた教育活動を展開する。
- ④ 学校種間、家庭・地域社会及び関係諸機関との緊密な連携により、進路情報を収集・提供する。

5 学校体育

(1) 体力・運動能力調査

新体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、今後の学校体育指導の資料とするとともに、児童生徒一人一人が体力・運動能力に関心をもち、進んで自己の体力や能力に応じた体育活動を実践するための動機づけとする。

(2) 体力アップおおい推進事業

※ 県委託事業

市内の小中学校4校を指定し、児童生徒の体力向上や望ましい生活習慣の確立等について実践研究を行う事業であり、その成果を市内に普及する。

(3) 大分市水泳指導者研修

市営陸上競技場にて、児童生徒に対する水泳授業等におけるプールの使用について、適切かつ円滑な安全管理を行うための知識を身につけることを目的に、研修会を実施する。

(4) 体育主任研修

児童生徒の体力向上にむけた学校の取組方と、年間指導計画を見通した体育主任の役割や実務について理解を深め、体育主任としての実践的指導力の向上にかかわる研修会を実施する。

(5) 武道指導者養成講習会

※ 県教委共催

保健体育担当教員等を対象に、武道の基本技能の習得を図り、実技の指導力を高めるとともに、武道指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

(6) ダンス指導者養成講習会

※ 県教委共催

保健体育担当教員等を対象に、ダンスにおける意欲を高める学習指導の在り方や体力を高める学習指導の在り方等、指導者として必要な知識や技能を習得することにより、ダンス指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

(7) 体力向上指導研修

小学校における体力向上に向けた指導のあり方について、コーディネーショントレーニングの理論及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために実施する。

(8) 学校体育指導者研修

学校体育における諸課題、また、学習指導要領の改訂に則した体育授業の計画、実施に向け、講義及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために研修会を実施する。

(9) 大分っ子体力アップわくわく事業

各学校に対して、スピード・全身持久力・瞬発力の体力要素で構成されている体づくり運動・陸上運動・器械運動の3領域の専門的知識を持った指導者を派遣し、体育授業を充実させることにより、児童生徒の体力向上を図るとともに担当教師の技術面における指導力の向上を図るため実施する。

(10) 運動部活動指導者研修

運動部活動における生徒の発達の特性に合った効果的なトレーニングのあり方について、講義及び実技をとおして理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図るため実施する。

(11) 中学校体育連盟各種競技会

総合体育大会、新人大会、駅伝競走大会等を実施する。

① 運動部活動入部生徒の状況(平成29年5月31日現在)

- ・ 合計…部数(398部)、部員数(7,580名)
- ・ 市内中学生(義務教育学校にあっては後期課程生徒)12,203名に対し、約62%の生徒が入部し活動している。

② 平成29年度大分県中学校総合体育大会

- ・ 期日 平成29年7月25日(火)～28日(金)
- ・ 会場 大分市、別府市、中津市、宇佐市

③ 平成29年度九州中学校体育大会

- ・ 期日 平成29年8月4日(金)～12日(土)
- ・ 会場 九州各県

④ 平成29年度全国中学校体育大会

- ・ 期日 平成29年8月17日(木)～25日(金)
- ・ 会場 九州ブロック

⑤ 平成28年度大分県中学校総合体育大会成績

○ 優勝…団体15競技、個人49種目

- ・ 陸上男子(坂ノ市中)
- ・ 陸上女子(坂ノ市中)
- ・ 体操男子(大在中)
- ・ 体操女子(植田南中)
- ・ 新体操女子(南大分中)
- ・ 水泳女子(大東中)
- ・ バレーボール女子(植田南中)
- ・ ソフトボール男子(明野中)
- ・ ソフトボール女子(大在中)
- ・ 剣道男子(南大分中)
- ・ ハンドボール女子(滝尾中)
- ・ 空手道男子組手(大在中)
- ・ 空手道男子形(明野中)
- ・ 空手道女子形(明野中)
- ・ テニス女子(南大分中)

⑥ 平成28年度九州中学校体育大会成績

ア 団体

- 優勝 新体操女子（南大分中）
- 第3位 ハンドボール女子（滝尾中）
新体操女子（東陽中）
ソフトテニス女子（神崎中）
空手道女子形（明野中）
テニス女子（南大分中）

イ 個人

- 優勝
 - ・宮本幸輝（城東中） 陸上男子（共通棒高跳）
 - ・菅野遼（明野中） 水泳男子（100m自由形）
 - ・齋藤瑤葵（明野中） 空手道女子形
- 第2位
 - ・千原凱也（城南中） 陸上男子（共通400m）
 - ・菅野遼（明野中） 水泳男子（200m自由形）
 - ・木本海夢夏（南大分中） テニス女子
- 第3位
 - ・松原舜（植田東中） 陸上男子（共通200m）
 - ・河野友誠（南大分中） 陸上男子（共通800m）
 - ・匹田雛凧（明野中） 陸上女子（1年800m）
 - ・山村紗也佳 辻井花音 仁田脇志歩
加藤汐織（滝尾中）
陸上女子（共通4×100mR）
 - ・平野慧（碩田中） 新体操女子（ロープ）
 - ・藤澤江奈（神崎中） ソフトテニス女子
岩崎琉海波

⑦ 平成28年度大分県中学校駅伝競走大会成績

- 第1位 男子 坂ノ市中
女子 大東中
- 第2位 女子 坂ノ市中

6 福田展・朝倉展

趣 旨

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

(1) 福田展の記録

昭和37年5月1日～6日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期 間	会 場	応募作品数	入選数	入賞者数
51	平24.11. 8 ～11.15	アートプラザ	41,059	3,685	471
52	平25.11.20 ～11.27	アートプラザ	40,785	3,657	464
53	平26.11.19 ～11.25	アートプラザ	40,537	3,637	460
54	平27.11.18 ～11.24	アートプラザ	40,428	3,635	454
55	平28.11.22 ～11.28	アートプラザ	40,321	3,626	455



「福田平八郎賞」図画展

(2) 朝倉展の記録

昭和42年10月6日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期 間	会 場	入賞者数
44	平24.11. 8～11.15	アートプラザ	335
45	平25.11.20～11.27	アートプラザ	335
46	平26.11.19～11.25	アートプラザ	332
47	平27.11.18～11.24	アートプラザ	339
48	平28.11.22～11.28	アートプラザ	337



「朝倉文夫賞」彫塑展

7 大分市奨学金制度

(1) 大分市奨学資金制度

定期採用

① 奨学生の資格

- ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び大学に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、期限及び金額等

学 校	区 分	期 間	金額（1人当月額）	返 還
高 等 学 校 高等専門学校	無利子貸与	正規の修学期間	国公立 10,000円 私 立 20,000円	貸与を終了した日から6ヶ月を経過する日の属する月の翌月から15年以内
大 学	”	”	45,000円	”

③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成28年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	20	16	24	3	1	0	64	12,720,000円
大 学	30	26	26	24	0	2	108	57,735,000円

緊急採用

当分の間、特例措置として、修学意欲があるにもかかわらず、家計急変により修学困難となり緊急に学費を必要とする者を対象とし、年間随時受付を行う。

平成28年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0円
大 学	0	0	0	0	0	0	0	0円

(2) 未来自分創造資金

平成26年度に新設した、高校生等を対象とする予約制の給付型奨学資金制度。

① 奨学生の資格

- ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、給付時期及び金額

学 校	区分	給 付 時 期	金額（1人当り）
高 等 学 校 高等専門学校	給付	入学する年度の前年度の3月	100,000円
		進級する年度の前年度の3月	50,000円
		卒業する年度の3月	50,000円

③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成28年度の給付状況

学 年	人 数	金 額
中学3年	20	2,000,000円
高校1年	10	500,000円
高校2年	4	200,000円

8 大分市立小学校、中学校及び義務教育学校隣接校選択制

隣接校選択制は、小学校、中学校及び義務教育学校とも、居住地によって定められた「指定校」の他に、指定校の通学区域に隣接する通学区域の学校（隣接校）への入学を希望することができる制度であり、小学校、中学校及び義務教育学校とも、児童生徒、保護者が、通学の安全性や通学距離、各学校の特色等を考慮し、自ら学校を選択できる機会を拡大した。

小学校隣接校一覧

地 区	No.	指 定 校	隣 接 校					
大 分	1	金 池	長 浜	大 道	豊 府	碩 田 学 園		
	2	長 浜	金 池	碩 田 学 園				
	3	春 日 町	大 道	西 の 台	八 の 幡	碩 田 学 園		
	4	大 道	金 池	春 日 町	西 の 南	南 大 分	豊 府	碩 田 学 園
	5	西 の 台	春 日 町	大 道	城 南	八 幡		
	6	南 大 分	豊 府	大 道	城 南	荏 限	宗 方	
	7	城 南	荏 限	南 大 分	西 の 台			
	8	荏 限	城 南	賀 来	南 大 分			
	9	豊 府	金 池	南 大 分	大 道			
	10	八 幡	春 日 町	神 崎	西 の 台			
	11	神 崎	八 幡					
	12	滝 尾	下 郡	明 野 西	森 岡			
	13	下 郡	滝 尾	津 留 野	明 野 西	東 大 分		
	14	森 岡	滝 尾	鴛 野	敷 舞 鶴	明 野 西	下 郡	
	15	東 大 分	日 岡	津 留 野	舞 鶴	明 野 西	下 郡	
	16	日 岡	桃 園	東 大 分	三 佐			
	17	桃 園	明 治 北	日 岡	明 野 北	別 保	鶴 崎	三 佐
	18	津 留	東 大 分	舞 鶴	下 郡			
	19	舞 鶴	東 大 分					
明 野	20	明 野 西	明 野 東	明 野 北	滝 尾	下 郡	東 大 分	
	21	明 野 東	明 野 西	明 野 北	明 治 北			
	22	明 野 北	明 野 東	明 野 西	桃 園	明 治 北		
鶴 崎	23	三 佐	鶴 崎	日 岡	桃 園	別 保	大 在 西	川 添
	24	鶴 崎	三 佐	桃 園	明 治 北	明 治 北		
	25	別 保	鶴 崎	桃 園	明 治 北	明 治 北		
	26	明 治 北	明 治 北	明 野 東	別 保	高 田		
	27	明 治 北	明 治 北	別 保	桃 園	明 野 北		
	28	高 田	松 岡	明 治 北	川 添			
	29	川 添	丹 生	鶴 崎	高 田			
	30	松 岡	判 田	高 田	戸 次			
大 南	31	戸 次	上 戸 次	吉 野	松 岡	判 田	竹 中	
	32	上 戸 次	吉 野	戸 次	竹 中			
	33	吉 野	戸 次	上 戸 次				
	34	竹 中	判 田	上 戸 次	戸 次			
	35	判 田	竹 中	松 岡	鴛 野	戸 次		
植 田	36	東 植 田	田 尻	宗 方	寒 田			
	37	植 田	横 瀬	宗 方	田 尻	野 津 原 東 部		
	38	賀 来	荏 限	宗 方	横 瀬			
	39	敷 野	鴛 野	森 岡				
	40	鴛 野	判 田	敷 野	寒 田	森 岡		
	41	宗 方	植 田	東 植 田	南 大 分	賀 来		
	42	横 瀬	横 瀬	西 植 田	賀 来			
	43	横 瀬	西 植 田	野 津 原 東 部				
	44	寒 田	田 尻	東 植 田	鴛 野	森 岡		
45	田 尻	寒 田	東 植 田	植 田				
大 在	46	大 在	大 在	小 佐 井	丹 生			
	47	大 在	大 在	小 佐 井				
坂 ノ 市	48	丹 生	小 佐 井	川 添	大 在			
	49	小 佐 井	丹 生	坂 ノ 市	大 在			
	50	坂 ノ 市	小 佐 井	こ う ざ き				
佐 賀 関	51	こ う ざ き	坂 ノ 市	佐 賀 関				
	52	佐 賀 関	こ う ざ き					
野 津 原	53	野 津 原 東 部	野 津 原 中 部	横 瀬 西	植 田			
	54	野 津 原 中 部	野 津 原 東 部	野 津 原 西 部				
	55	野 津 原 西 部	野 津 原 中 部					

義務教育学校（前期課程）隣接校一覧

地 区	No.	指 定 校	隣 接 校			
大 分	1	碩 田 学 園	金 池	長 浜	春 日 町	大 道

学 校 教 育

中学校隣接校一覧

地 区	No.	指 定 校	隣 接 校					
大 分	1	上野ヶ丘	王子	南大分	城東	滝尾	碩田学園	
	2	王子	上野ヶ丘	大分西	南大分	碩田学園		
	3	大分西	王子	城南				
	4	南大分	上野ヶ丘	王子	城南	植田南	植田	
	5	城南	南大分	大分西	賀来			
	6	滝尾	城東	明野	植田東	上野ヶ丘		
	7	城東	滝尾	明野	原川	上野ヶ丘	碩田学園	
	8	原川	城東	明野	大東	鶴崎		
明 野	9	明 野	滝 尾	城 東	原 川	大 東		
鶴 崎	10	鶴 崎	原 川	大 東	東 陽	大 在		
	11	大 東	東 陽	鶴 崎	原 川	明 野	判 田	戸 次
	12	東 陽	鶴 崎	大 東	坂ノ市	吉 野		
大 南	13	戸 次	吉 野	大 東	判 田	竹 中		
	14	吉 野	戸 次	東 陽				
	15	竹 中	戸 次	判 田				
	16	判 田	竹 中	大 東	植 田 東	戸 次		
植 田	17	植 田	植 田 南	植 田 西	南 大 分	野 津 原		
	18	植 田 東	滝 尾	植 田 南	判 田			
	19	植 田 西	植 田	賀 来	野 津 原			
	20	植 田 南	植 田	植 田 東	南 大 分			
	21	賀 来	城 南	植 田 西				
大 在	22	大 在	坂ノ市	鶴 崎				
坂ノ市	23	坂ノ市	大 在	東 陽	神 崎			
佐 賀 関	24	神 崎	坂ノ市	佐 賀 関				
	25	佐 賀 関	神 崎					
野 津 原	26	野 津 原	植 田	植 田 西				

義務教育学校（後期課程）隣接校一覧

地 区	No.	指 定 校	隣 接 校					
大 分	1	碩 田 学 園	上 野 ヶ 丘	王 子	城 東			

・学校情報の公開

児童生徒、保護者が指定校や隣接校について十分な情報が得られるよう、学校案内の配布、学校ホームページの公開、学校公開日の設定等により学校情報を公開する。

・受入定員と抽選

各学校とも現有施設で対応し、余裕教室などの状況に応じて、受入定員を定め、希望者が受入定員を超過した場合は、公開抽選により受入者を決定する。

幼稚園教育

1 就園状況

(1) 就園児数

(平成29年5月1日現在)

区分	園数	3歳児	4歳児	5歳児	備考
国立	1	32	51	64	
市立	28	0	204	500	
私立	20	1,004	1,161	1,213	
計	49	1,036	1,416	1,777	

(2) 就園率（5歳児のみ）

(平成29年5月1日現在)

幼稚園		認可保育所・認定こども園	未就園
国公立 12.6%	私立 27.2%	51.0%	9.2%

2 就園奨励費及び私立学校補助金

(1) 就園奨励費（国庫補助対象分）

年度	園種別	奨励費		対象人員 (人)
		総額(千円)	内訳(千円)	
27	私立 (3・4・5歳児)	402,821	国費 117,185	2,928
			市費 285,636	
28	私立 (3・4・5歳児)	397,389	国費 122,368	2,826
			市費 275,021	

(2) 就園奨励費（国庫補助対象外）

年度	入園児補助金		対象人員 (人)
	総額(千円)	内訳(千円)	
27	27,160	私立 27,160	648
28	24,936	私立 52,901	213

(3) 私立学校補助金（幼稚園分）

年度	総額	算定区分	配分率		金額
27	千円 16,109	生徒数割	1年保育	$\frac{7}{10}$	6,766
			その他	$\frac{3}{10}$	2,900
		均等割	$\frac{4}{10}$	6,443	
28	千円 16,109	生徒数割	1年保育	$\frac{7}{10}$	6,766
			その他	$\frac{3}{10}$	2,900
		均等割	$\frac{4}{10}$	6,443	

3 幼稚園教育の振興と充実

平成21年度に策定した「大分市幼児教育振興計画」に基づき、家庭、地域社会、幼稚園が一体となって、豊かな幼児教育環境の創造に向けた取組を一層推進するとともに、平成26年度に策定した『大分市幼児教育振興計画』の当面の実施方針に沿って、幼児教育の振興と充実に取り組む。

(1) 幼稚園教育の充実

幼児期の教育は、幼児の生活が家庭を基盤として、地域社会、幼稚園等に広がりをもつ中で、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、その後の小学校教育へとつながるものでもある。そこで、「大分市幼保小連携推進協議会」における協議を踏まえ、5年目となる「幼保小連携に関する研究推進事業」の取組の充実を図るとともに、全小学校区に設置した校区幼保小連携推進協議会を活用することにより、幼児期の教育と小学校教育の間のより円滑な接続を目指す。

また、幼稚園施設の開放、子育て相談の実施など、家庭を支援する事業の実施を図り、幼稚園が地域における幼児教育のセンター的な役割を担うとともに、女性の社会進出や就労形態の変化などを背景とした、保護者の生活状況の変化に対応するため、私立幼稚園子育て支援保育利用者補助事業等に取り組む。

(2) 市立幼稚園の適正配置

市立幼稚園の適正配置は、子ども・子育て支援新制度実施後の市立幼稚園の園児数の推移、私立の幼稚園や保育所の認定こども園への移行状況、保育所等待機児童数の状況等を見極めながら大分市全体として総合的に検討を行う。

(3) 2年制保育

2年制保育については、発達や学びの連続性を確保し、幼児一人一人の育ちを見通した、継続的、計画的な指導が可能となるなど、教育的見地から重要な意義を有しており、保護者ニーズも高いことから、今後とも、統廃合園数の範囲内で2年制保育の拡大に努める。

(4) 幼稚園と保育所の一体化の推進

幼稚園と保育所については、既存の枠組みを超えた新たな仕組みが求められており、平成23年4月に開設した、大分市立野津原幼稚園と大分市野津原保育所の連携施設である「のつはるこども園」の連携

の取組の成果や課題を踏まえ、子ども・子育て支援新制度における幼保連携施設のあり方について検討する。

(5) 私立幼稚園保育料の保護者負担の軽減

私立幼稚園、認定こども園が本市の学校教育において果たす役割の重要性に鑑み、子ども・子育て支援法に基づく施設型給付の適用を受けない私立幼稚園への就園奨励と保育料の保護者負担の軽減を目的とした私立幼稚園就園奨励費補助については、国の幼児教育の段階的無償化の取り組みに沿って充実を図る。

4 研修・研究活動

(1) 幼稚園教育課程の編成

平成29年3月に告示された新しい幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、子どもや社会の変化に対応した幼稚園教育のさらなる充実を図っていく必要がある。

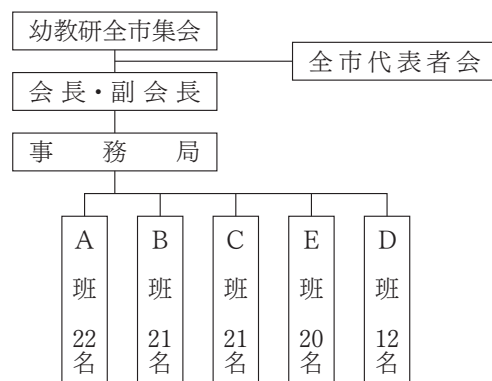
教育課程の編成にあたっては、幼稚園教育において育みたい資質・能力を踏まえつつ、各園の創意工夫を生かすとともに、小学校との円滑な接続や家庭や地域との連携等を図りながら保育の充実に努める。

(2) 大分市幼稚園教育研究会

① 研究主題

豊かに感じ、自分らしさを出し合いながら遊びこむ子ども

② 大分市幼稚園教育研究会の組織



特別支援教育

1 特別支援教育の推進

LD、ADHD、高機能自閉症も含め、障がいのある幼児児童生徒に対しその一人一人の教育的ニーズを把握し、当該幼児児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な指導及び必要な支援を行う。

(1) 各学校における校内支援体制の整備

- ① 校内推進委員会の設置及び充実
- ② 特別支援教育コーディネーターの指名
- ③ 個別の指導計画の作成及び有効活用

(2) 大分市障がい児巡回教育相談の実施

障がいのある就学前の子どもの保護者、関係者等に対して、障がいの状態及び発達段階、特性等に合った支援の在り方、就学に係る手続き等についての適切な指導や助言を行う。

期 日	会 場
7月14日	植 田 公 民 館
7月19日	大 分 西 部 公 民 館
7月24日	大 分 南 部 公 民 館
7月26日	鶴 崎 公 民 館
8月5日	大 分 市 教 育 セ ン タ ー
8月10日	鶴 崎 公 民 館
8月18日	坂 ノ 市 公 民 館
8月19日	大 分 市 教 育 セ ン タ ー
8月24日	大 分 南 部 公 民 館
8月29日	大 分 西 部 公 民 館

(3) 大分市特別支援連携協議会の活用

医療、保健、福祉、労働、教育等の関係者、学識経験者、関係部局代表等で構成し、各学校に対する教育的支援に関する指導・助言や関係機関等との連携・協力した支援体制の整備等を行う。

(4) 専門家チームの設置

学識経験者、医療関係者等からなる専門家チームが、各学校の支援体制や望ましい教育的対応について専門的な意見の提示や助言を行う相談会を実施する。

(5) 学校（園）巡回教育相談

幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校からの要請により、子どもの行動観察や検査を通して、指導・支援方法についての助言を行う。

(6) 研修の充実

① 特別支援教育コーディネーター研修

第1回	6月8日
第2回	9月12日
第3回	2月14日

② 特別支援教育研修講座

基 礎	8月2日
実 践	8月23日

③ その他の研修

研 修 会 名	期 日
特別支援学級等運営研修会	4月27日
就学指導に係る校長等研修	7月31日
特別支援学級等担当者研修会	8月4日
特別支援教育講演会	8月9日
通常の学級における特別支援教育研修	8月17日
特別支援教育研修講座(幼児教育)	8月29日

(7) 大分市相談支援ファイル（つながり）の配付

障がいや病気の有無にかかわらず、支援や配慮を必要とする子どもの情報を整理し、医療、保健、福祉、教育、労働等の各機関が保護者と必要な情報を共有することにより、それぞれが適切な支援を行うとともに、生涯にわたる継続的な支援に役立てる。

2 特別支援学級

現在、小学校56校中51校に134学級、中学校28校中26校に54学級、義務教育学校1校に7学級、計78校に195学級の特別支援学級が設置され、個々の特性や発達の段階にあわせた指導に重点をおくとともに、通常の学級の児童生徒と交流しながら自主的に学校生活に参加できるように努めている。

(1) 特別支援学級の設置状況

(平成29年5月1日現在)

種別	小 学 校			中 学 校			義務教育学校			合 計		
	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	児童数
知的	49	65	327	25	29	108	1	3	12	75	94	447
自・情	46	62	311	21	24	105	1	2	9	68	86	425
難聴	2	2	5	0	0	0	1	2	3	3	4	8
肢・体 不自由	2	2	3	0	0	0	0	0	0	2	2	3
病弱	3	3	2	1	1	0	0	0	0	4	4	2
合計	102 (51)	134	648	47 (26)	54	213	3 (1)	7	24	152 (78)	195	885

※（ ）内は設置校の実数

特別支援教育

(2) 小学校及び義務教育学校前期課程特別支援学級設置校一覧

(平成29年5月1日現在)

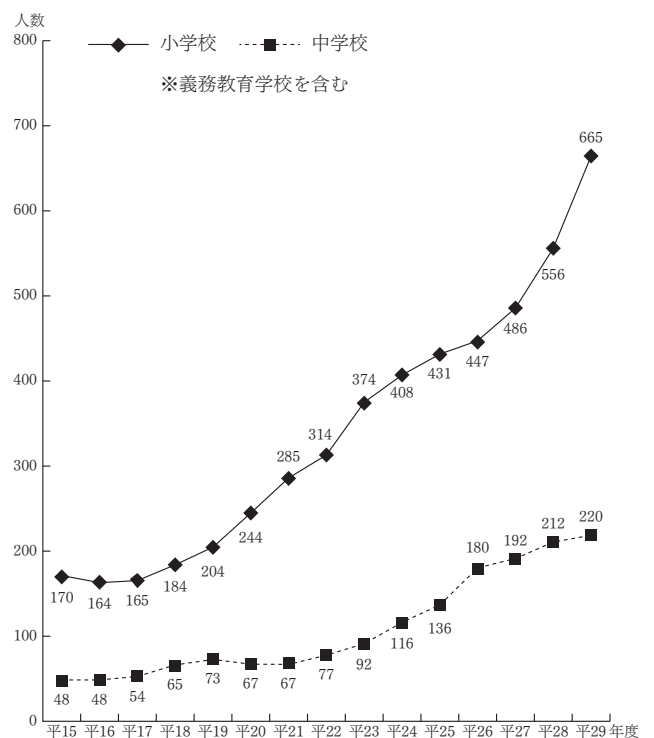
学校名	学級数	種 別					児 童 数					新・増設
		知的	自・情	難聴	肢体	病弱	知的	自・情	難聴	肢体	病弱	
金池	2	1	1			5	5					
長浜	2	1	1			2	4					
春日町	3	2	1			10	7					知的増設
大道	4	1	1	1	1	8	6	3	2			
西の台	2	1	1			2	3					
南大分	3	1	1			1	8	8				
城南	2	1	1			8	6					
荏隈	2	1	1			4	7					
豊府	4	2	2			12	12					知的増設
八幡	1	1				4						
滝尾	5	2	3			10	22					
下郡	5	2	2	1		10	12	2				知的増設 自・情増設
森岡	2	1	1			1	3					
東大分	2	1	1			5	7					
日岡	2	1	1			7	4					
桃園	2	1	1			7	4					
津留	4	2	2			9	16					知的増設
舞鶴	3	1	2			3	11					
明野西	2	1	1			5	6					
明野東	2	1	1			5	8					
明野北	4	2	2			9	9					自・情増設
三佐	2	1	1			4	2					
鶴崎	2	1	1			4	2					
別保	7	3	3		1	18	19				1	自・情増設 病弱増設
明治	4	2	2			11	10					自・情増設
明治北	3	2	1			11	5					
高田	2	1	1			8	4					
川添	1	1				5						
松岡	2	1	1			7	4					
戸次	2	1	1			8	3					
吉野	2	1	1			4	3					
判田	2	1	1			3	4					
東植田	2	1	1			2	4					
植田	3	1	1	1		8	3	1				
賀来	4	2	2			11	9					知的増設 自・情増設
敷戸	2	1	1			4	8					
はばたき分校	3		3				10					
駕野	2	1	1			5	3					
宗方	3	2	1			10	4					
横瀬	3	1	1		1	1	2				1	病弱増設
横瀬西	2	1	1			2	6					
寒田	4	2	2			9	15					知的増設 自・情増設
田尻	2	1	1			5	2					
大在	5	3	2			21	9					
大在西	4	2	2			13	10					
丹生	2	1	1			3	3					
小佐井	1	1				5						
坂ノ市	2	1	1			6	5					
佐賀関	1	1				3						
野津原東部	1		1				2					
野津原中部	1	1				2						
碩田学園	4	2	1	1		9	6	2				知的増設
合 計	138	67	63	3	2	3				665		

(3) 中学校及び義務教育学校後期課程特別支援学級設置校一覧

(平成29年5月1日現在)

学校名	学級数	種 別					生 徒 数					新・増設
		知的	自・情	難聴	肢体	病弱	知的	自・情	難聴	肢体	病弱	
上野ヶ丘	2	1	1				4	5				
王子	2	1	1				3	2				
大分西	2	1	1				2	2				
南大分	4	1	2			1	6	12				自・情増設
城南	2	1	1				4	4				
滝尾	3	2	1				12	7				
城東	2	1	1				5	4				
原川	2	1	1				6	2				
明野	2	1	1				6	4				
鶴崎	3	2	1				9	7				知的増設
大東	3	2	1				9	4				知的増設
東陽	2	1	1				5	4				
戸次	2	1	1				3	1				自・情増設
吉野	1	1					1					
二豊学園分校	1	1										
判田	1	1					4					
植田	2	1	1				2	5				
植田東	3	1	2				6	12				
はばたき分校	2		2					7				
植田西	2	1	1				1	2				
植田南	2	1	1				2	2				自・情増設
賀来	2	1	1				7	5				
大在	3	2	1				12	7				
坂ノ市	2	1	1				1	3				
佐賀関	1	1					1					
野津原	1	1					1					
碩田学園	3	1	1	1			3	3	1			難聴新設
合 計	57	30	25	1	0	1				220		

3 特別支援学級在籍者の推移



4 特別支援学級の運営

(1) 特別支援学級の概要

① 特別支援学級（知的）

知的発達遅れのある子どもを対象に学級を編成し、指導内容を工夫し、健康な体づくり、基本的な生活習慣の定着、身辺自立及び社会生活等に必要学習内容の理解や表現などを中心に指導している。

② 特別支援学級（自閉症・情緒）

緘黙や自閉などの傾向のある子どもを対象に、各教科等の指導のほか、集団生活を円滑にすすめるために、情緒の発達を促すなど、個に応じた指導を行っている。

③ 特別支援学級（難聴）

聴覚に障がいのある子どもを対象に、音やことばの聞き取り、聞き分けなど聴覚を活用することに重点をおいた指導など、ことばに関する指導を個別に行っている。

④ 特別支援学級（肢体不自由）

四肢体幹に障がいのある子どもを対象に、各教科等の指導のほか、歩行や筆記などに必要な身体の動きの指導など、個に応じた指導を行っている。

⑤ 特別支援学級（病弱・身体虚弱）

病弱・身体虚弱のある子どもを対象に、通常の学級とほぼ同様の授業内容、授業時数の他、自立活動として健康状態の維持、回復・改善や体力の回復・向上を図るための指導を行っている。

（病院内学級：長期療養が必要で入院している子どもを対象に、病院内において医師との密接な連携のもとに学校教育を行っている。）

(2) 特別支援学校との交流教育

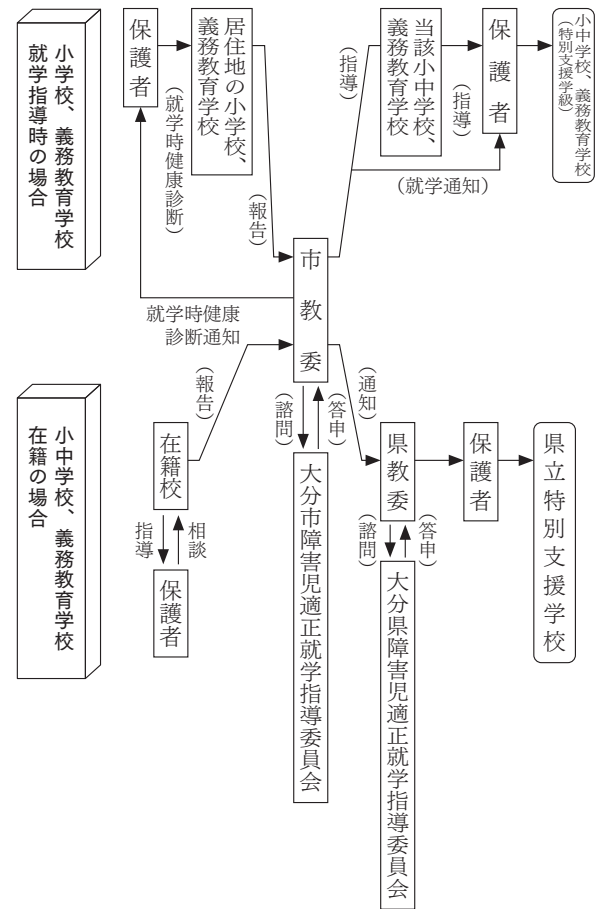
- ① 盲学校と金池小学校・上野ヶ丘中学校
- ② 聾学校と大道小学校
- ③ 大分支援学校と大在西小学校・大在中学校
- ④ 新生支援学校と植田小学校・宗方小学校・植田中学校

5 就学指導

障がいのある児童生徒の適正な就学を図るため、学識経験者、医療関係者等からなる大分市障害児適正就学指導委員会を設置し、障がいの種類及び程度を医学的、心理学的、教育的な見地から総合的に検討し、適切な教育的処遇の判断を行うことにより、就学指導を進めている。

(1) 就学指導の経過

障がい児就学指導の経過図



6 特別支援学級（幼稚園）

幼稚園においては、本年度、10園に特別支援学級（10学級43名）を設置し、障がいのある幼児の全体的な発達を促す指導を行っている。

幼稚園における特別な教育的支援を要する幼児数・特別支援学級数の推移

（平成29年5月1日現在）

年度	24	25	26	27	28	29
幼児数 学級数	40 (33)	43 (25)	47 (26)	60 (40)	55 (29)	60 (43)
特別支援学級数	12	10	10	13	7	10

（ ）は特別支援学級に入級した幼児数

健康教育

1 平成29年度 主要な事業

(1) 学校保健・安全

① 保健管理

定期健康診断及び事後措置を適正に実施することにより、疾病の早期発見早期治療に努め、健康の保持増進を図るとともに、健康意識の向上と行動の実践化をめざす。

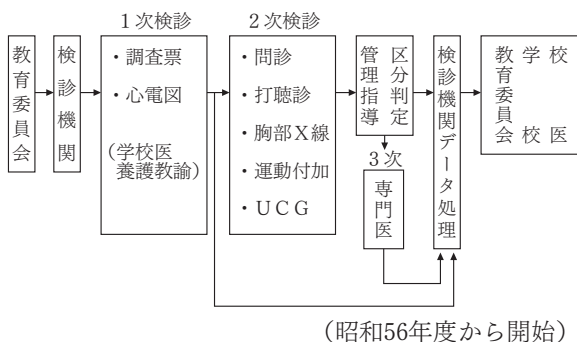
ア 検診・検査項目

番号	学年 検診・検査項目	小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
1	内科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	眼科検診	○	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	← ” →	○
3	耳鼻咽喉科検診	〃	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	〃	〃
4	歯科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	心臓検診	○	←経過観察者のみ→				○	← ” →	○	← ” →
6	腎臓検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	すこやか検診					○				
8	結核検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	視力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	聴力検査	○	○	○		○		○		○
11	身体測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

イ 検査システム・検査内容

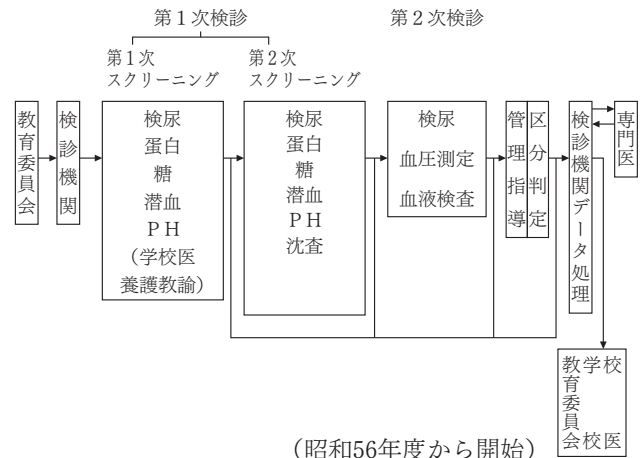
心臓検診

- 対象者 小学校1年生・中学校1年生・経過観察者
- システム



腎臓検診

- 対象者 幼稚園及び小中学校全学年
- システム



すこやか検診

- 対象者 小学校5年生
- 検査内容

肥満度 総コレステロール HDLコレステロール 中性脂肪 動脈硬化指数 GPT 赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット (MCV MCM MCHC) 白血球数 血小板数

② 健康・安全教育の充実

学校教育活動全体を通し、健康教育の一環としての健康・安全教育の充実に努める。

ア 望ましい生活習慣づくりのための指導の充実
家庭との連携の下、健やかな体と豊かな心を育むための望ましい生活習慣の形成をめざした指導の充実に努める。

小学校5年を対象に、生活習慣病予防のための血液検査を実施し、その後の保健指導に役立てるとともに、生活習慣の改善を図る必要がある児童とその保護者を対象にすこやか教室を開催する。

イ 歯と口の健康づくりの充実

歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物活用(洗口)を三本柱として、児童生徒の歯と口の健康づくりを推進します。

ウ 性に関する指導の充実

生命尊重、人間尊重、男女敬愛の精神に基づき、家庭、地域社会の理解のもと、児童生徒の発達の段階を踏まえた性に関する指導の充実に努める。

エ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育

学校医・学校薬剤師並びに関係機関と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催し、児童生徒

の発達段階に応じた喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実を図る。

オ 保健指導の充実

「感染症情報収集システム」を活用し、感染症の予防ならびに感染拡大防止に努めるとともに、日常の健康観察の充実を図ることにより、児童生徒の心身の状況を把握し、必要に応じ児童生徒、保護者に対し適切な指導助言を行う。

カ 健康相談の充実

保健室機能を活用し、地域の医療機関その他の専門機関等と連携することにより、多様化する心身の健康問題に対処するとともに、個に応じた健康相談の充実に努める。

キ 保健安全教育の充実

学校における保健安全教育ならびに管理体制の充実を図るため、管理職並びに学校保健安全担当者対象に「学校保健安全研修会」を開催する。

3年間で、全教職員を対象に、「学校危機管理研修会」(AEDを含む普通救命講習)を実施し、学校における更なる危機管理体制の充実を図る。

③ 学校保健の向上と推進

ア 学校保健委員会

「学校保健委員会マニュアル」を活用し、学校、保護者、学校医等が連携し、地域や学校の実態に即した児童生徒の健康づくりを図るための学校保健委員会の充実に努めている。

イ 学校保健小委員会

地域保健委員会の中の一委員会として設置され、各専門分野の協力を得ながら、児童生徒の健康診断結果から学校保健の諸課題及び健康教育等について検討協議し、学校保健の推進を図っている。

ウ 大分市学校保健会

大分市内の公立学校、高校、特別支援学校と学校医等関係機関との連携をとりながら、学校保健の向上と推進を図る。

さまざまな観点から、子どもの健康問題等についての研修会や講演会を開催し、学校保健の現状と課題について共通理解を図り、会報誌発行等活発な活動が展開されている。

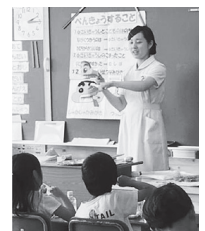
エ 大分市学校保健検討委員会

児童生徒等の健康課題に適切かつ効果的に対応するため、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた対応や事務手続きの統一化などを行うことを目的に設置した。

平成28年度は「大分市立学校歯と口の健康づくりの手引」作成及び「大分市立学校内科検診(結核検診・脊柱・運動器検診を含めた)の手引」の改正を行い学校保健の充実に努めている。



すこやか教室の様子



歯と口の健康づくり事業

④ 資料

ア 平成28年度 児童生徒体位比較表

大分市教育委員会

学 年		小 学 校						中 学 校			
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	
身長 cm	男	市	115.8	122.8	127.9	133.2	138.5	144.7	151.9	159.3	165.1
		県	116.5	121.3	127.5	132.6	138.2	144.9	152.5	159.5	164.6
		全国	116.5	122.5	128.1	133.6	138.8	145.2	152.7	159.9	165.2
	女	市	115.3	120.9	127.0	134.9	139.9	146.6	151.6	154.4	155.9
		県	114.8	121.3	126.6	133.5	139.6	146.8	151.2	154.3	156.5
		全国	115.6	121.5	127.2	133.4	140.2	146.8	151.9	154.8	156.5
体重 kg	男	市	21.1	24.0	27.0	30.2	33.8	37.6	43.5	48.4	54.0
		県	21.4	23.4	27.1	29.6	34.3	38.8	44.7	49.0	54.0
		全国	21.4	24.0	27.2	30.6	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
	女	市	20.8	23.2	26.4	30.2	34.2	39.1	43.9	47.3	50.2
		県	20.6	23.6	26.5	30.4	34.0	39.5	44.0	47.8	50.7
		全国	20.9	23.5	26.4	29.8	34.0	39.0	43.7	47.2	50.0

平成28年度大分市学校保健統計より。県及び全国は、文部科学省平成28年度学校保健統計調査速報より

健康教育

イ 平成28年度 大分市児童生徒疾病状況

(人)

項目		性別		男									女								
		学年		小学校						中学校			小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3		
在籍総数		2,208	2,276	2,307	2,240	2,124	2,237	2,142	2,133	2,172	2,191	2,207	2,110	2,188	2,107	2,053	1,972	1,987	2,151		
受検者数		2,197	2,269	2,301	2,229	2,113	2,215	2,126	2,091	2,109	2,178	2,202	2,100	2,179	2,100	2,045	1,960	1,955	2,099		
栄養 注意	肥満傾向	11	14	21	43	44	56	33	22	32	18	16	21	35	36	27	12	7	19		
	栄養不良	0	2	4	6	5	7	1	2	6	1	1	3	7	4	4	5	6	4		
せき柱異常		79	117	95	122	112	153	64	79	83	96	101	100	116	95	157	90	117	96		
胸郭異常		1	3	2	4	3	0	3	4	5	1	1	0	1	0	1	1	0	0		
四肢の状態の異常		39	26	20	26	38	20	9	14	21	23	23	25	26	20	21	6	15	23		
目	矯正視力測定者	44	59	101	175	249	300	363	419	548	47	74	115	209	303	421	492	628	866		
	裸眼視力	B(1.0未満～0.7以上の者)	339	301	302	274	263	233	267	246	223	363	337	327	308	309	277	247	244	213	
		C(0.7未満～0.3以上の者)	110	168	189	254	263	274	248	276	292	108	203	231	290	333	304	267	247	232	
		D(0.3未満の者)	12	44	88	95	119	118	189	215	235	15	47	97	140	157	157	214	235	283	
	1.0未満の者の計		461	513	579	623	645	625	704	737	750	486	587	655	738	799	738	728	726	728	
	伝染性眼疾患		0	0	0	4	0	0	1	0	0	7	0	0	7	0	0	3	0	0	
	その他の眼疾・異常		124	2	2	137	0	2	91	1	1	98	1	0	131	3	3	59	0	3	
	目の疾患その他計		124	2	2	141	0	2	92	1	1	105	1	0	138	3	3	62	0	3	
伝染性皮膚疾患		0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0		
アトピー性皮膚炎		31	19	22	31	31	41	13	23	24	31	33	23	28	21	21	22	24	28		
心臓疾患		21	7	10	7	9	8	47	9	5	18	17	10	4	9	3	33	12	12		
腎臓疾患		10	11	11	19	4	9	10	22	10	16	10	11	20	21	25	23	10	17		
ぜんそく		32	46	51	35	42	49	43	62	48	24	29	21	20	25	34	41	31	38		
寄生虫卵保有者		23	11	16	/	/	/	/	/	/	14	7	7	/	/	/	/	/	/		
その他の疾患・異常		94	84	94	93	86	108	113	116	87	80	89	67	72	77	84	119	77	95		
歯	受検者数	2,178	2,264	2,272	2,201	2,080	2,196	2,085	2,045	2,046	2,181	2,188	2,079	2,166	2,071	2,027	1,930	1,925	2,065		
	う歯	処置完了者	529	575	703	686	650	545	486	500	471	483	557	640	660	625	487	467	471	554	
		未処置のある者	618	760	825	835	622	629	435	447	504	622	743	651	800	549	557	423	365	522	
		計	1,147	1,335	1,528	1,521	1,272	1,174	921	947	975	1,105	1,300	1,291	1,460	1,174	1,044	890	836	1,076	
	歯列・咬合・顎関節異常		79	101	144	115	115	107	68	109	97	84	128	127	114	118	123	90	130	99	
	歯肉炎・歯周炎		28	61	65	75	63	70	64	108	149	15	45	50	60	60	51	54	77	112	
要観察歯(C ₀)のある者		260	312	385	314	385	367	405	438	458	294	316	420	373	413	352	395	424	471		
結核 検診	精密検査受診者	6	3	4	2	1	2	0	0	0	4	5	3	2	1	1	0	0	1		
	疾病及び異常のある者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

平成28年度 大分市学校保健統計より

(2) 学校給食

大分市では、「学校給食法」に基づき、食育の推進を図るとともに、小学校は単独校調理場方式、中学校は共同調理場方式を基本に、「安心、安全、あたたかい」学校給食の提供に努めている。

① 食育の推進

ア 食に関する指導

学校における食育の推進を図るため、家庭及び地域社会との連携のもと、健康教育の一環としての食に関する指導を充実し、生涯を通して健全な食生活を実践しようとする資質や能力の育成に努めている。

イ 地産地消事業

関係機関と連携した地元産食材の「年間利用計画」を作成し、「学校給食地産地消推進会議」を開催する中で、毎月19日の「食育の日」前後を「おおいた産給（サンキュー）の日」と定め、市内産食材を使用した学校給食を実施している。

ウ 元気いっぱい！おおいたっ子食育推進事業

学校における「食育」の一環として、「元気いっぱい！おおいたっ子食育標語」を募集することで、子どもたちの食に関する意識・関心を高めるとともに、啓発用リーフレット等を作成・配付し、学校・家庭・地域において「早寝、早起き、朝ごはん」の取組が積極的に行われるよう呼びかけている。

② 施設・設備の整備・充実

平成20年9月に稼動した東部共同調理場と平成22年9月に稼動した西部共同調理場では、HACCPの考え方にに基づく衛生管理システムを導入し、市内の小中学校32校に学校給食を配送している。

その他の給食施設は、老朽化や耐震補強などの校舎の施設整備計画等を考慮するなかで、計画的な施設の整備を推進している。

なお、学校給食に関する施設の現状は、下記のとおりである。

ア 単独校

現在、単独校方式による給食は、小学校50校で実施している。

なお、平成29年度より小学校3校にて調理業務を委託している。

イ 共同調理場

共同調理場名	場 所	連絡先	設置日
東部	大字海原916-3	521-7832	H20.9.1
西部	大字光吉467-12	568-0555	H22.9.1

現在、東部・西部共同調理場で、小学校5

校、中学校26校、義務教育学校1校の給食を実施している。

ウ ドライシステム

(ア) 単独校

- 小佐井小学校（平成11年2月）
- 下郡小学校（平成13年4月）
- 大在西小学校（平成17年4月）
- 大道小学校（平成24年1月）
- 坂ノ市小学校（平成24年1月）
- 南大分小学校（平成25年1月）
- 春日町小学校（平成26年1月）
- 鶴崎小学校（平成27年4月）

(イ) 共同調理場

- 東部共同調理場（平成20年9月）
- 西部共同調理場（平成22年9月）

エ 食器等

アルマイト食器を使用していたが、平成13年度に強化磁器食器を1校（新設小学校）に導入した。

さらに、平成16年度からは小学校に順次、強化磁器食器を導入している。

東部・西部共同調理場の関係校32校も、強化磁器食器を使用している。

オ その他

単独校調理場では、昭和55年5月から石けん洗剤を使用している。

③ 学校給食の充実

ア 学校給食実施状況（平成29年5月1日現在）

区分	調理方式	学校数	児童生徒数	栄養教諭	学校栄養職員	給食調理員
小学校	単独校調理場方式	50	25,341	6	21	184
	共同調理場方式	5	420			
	その他	1	10			
中学校	共同調理場方式	26	11,832	2	4	
	その他	2	20			
義務教育学校	共同調理場方式	1	1,026	1		
合 計		85	38,649	9	25	184

※東部・西部共同調理場及び小学校単独調理場方式50校のうち3校は、調理業務を委託しているため、調理員数には含めていない。

イ 学校給食の形態

(ア) 学校給食の開始

小学校では昭和23年から、中学校では昭和38年から、完全給食を実施している。

(イ) 米飯給食

食事内容の多様化を目的に、米飯給食を導入している。

昭和53年9月から 週1回実施

昭和56年10月から 週2回実施

昭和63年12月から 週3回実施

(ウ) 現状

週5日 完全給食(米飯3回、パン2回)

(エ) 平成29年度学校給食費(月額平均)

区分	金額(円)
小学校	4,650
中学校	4,800

ウ 学校給食食物アレルギーへの対応

東部・西部共同調理場の関係校を対象に、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づく「代替食」による食物アレルギー対応給食の提供を行っており、対応給食を希望する児童生徒には、専用の容器等で配送している。

また、単独校調理場の小学校についても、平成26年1月に「食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、原則として「除去食」による対応給食の提供を行っており、対象児童は専用の容器やトレイ等を使用している。

エ 献立作成

「学校給食実施基準」に定める「児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準」に基づき、献立作成を行っている。

栄養教諭・学校栄養職員未配置校では、市教育委員会の栄養士が献立を立案し、献立委員会で審議、承認された後、各校に配布している。

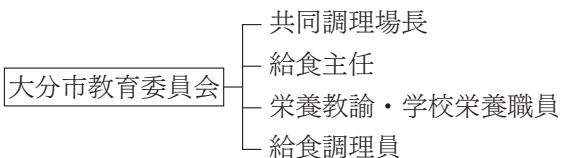
栄養教諭・学校栄養職員配置校では、学校ごとに創意工夫して、献立を作成している。

各校では実情に応じ、限られた予算や子どもたちの嗜好・食事摂取基準・食材の安全性・季節・伝統料理等を考慮し、各校独自の献立を実施している。

さらに、地域の食文化に接するため、だんご汁やとりめし、やせうま等の郷土料理を献立に取り入れたり、にら、みつば、ごぼう等の地域の食材を取り入れるなど、地産地消に努め、地域性豊かな給食を実施している。

オ 献立委員会

(ア) 組織



(イ) 内容

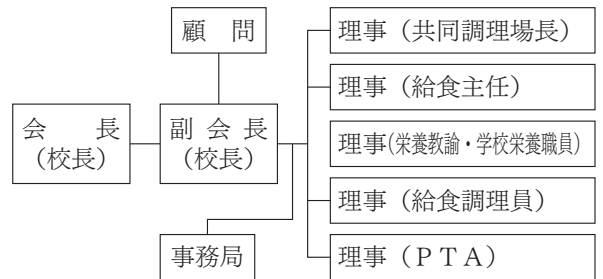
市教育委員会で立案した献立について、指導の徹底、作り方、内容の検討を行い、実施

献立の反省をもとに給食指導の充実を図っている。

カ 大分市学校給食研究会

校長、共同調理場長、給食主任、栄養教諭・学校栄養職員、給食調理員、PTAのそれぞれの代表者で構成する研究団体である。

○ 組織



7月に総会を開催し、年間事業計画等の審議や給食指導などの実践発表を行っている。

キ 学校給食ポスター展

学校給食週間の事業として、昭和44年から児童生徒の「学校給食ポスター展」を行っている。

平成28年度出展数は388点、来場者は4日間で1,500名以上であった。

ク 学校給食試食会

児童生徒の保護者を対象に学校給食試食会を開催し、学校給食への理解を図るとともに、学校と家庭との連携を深めることを目的として、各学校毎に実施している。



平成28年度学校給食ポスター展会場風景

青少年教育

1 平成29年度 主要な事業

(1) 生徒指導の充実について

- ① 家庭、学校、地域社会、関係諸機関との緊密な連携による信頼関係を基調とした生徒指導体制の充実を図る。
- ② 問題行動の早期発見・即時対応と実働的な危機管理体制の確立による児童生徒一人一人の心に寄り添った具体的・継続的な指導を行う。
- ③ 問題行動の実情に応じて適切な措置を行うことにより、他の児童生徒の教育を受ける権利の保障に努める。
- ④ 関連事業

ア 大分市小中学校生徒指導連絡会

各学校の生徒指導担当教員、関係機関による年4回の連絡会を開催し、各学校における生徒指導上の諸問題についての情報交換や事例研究、専門家による講演や研修等を通して指導力の向上を図るとともに、生徒指導の充実・推進に努める。

イ 大分市生徒指導研究会

市内小中学校の校長、生徒指導担当教員で組織され、生徒指導に関する実践上の諸問題について研究し、一人一人の児童生徒の能力・適性を生かし、自己実現を目指す生徒指導の充実・深化を目的とする。また、各学校や支部間並びに関係機関や諸団体との連携を密にし、校外生活における指導の充実を図る。

(2) いじめ・不登校への対応について

- ① いじめや不登校等の問題については、早期発見及び適切かつ迅速な対応を基本に、教職員の資質の向上を図るとともに、関係機関とも連携協力し、児童生徒への一層充実した指導・援助や支援に努める。
- ② いじめ・不登校等の背景にある複雑多様化した問題に対応するため、エデュ・サポートおおいた（教育相談・特別支援教育推進室）をはじめとした相談体制の充実強化を引き続き図る。
- ③ 関連事業

ア いじめ・不登校等対応研修会

学校における教育相談体制の充実を図ることにより、いじめ・不登校等の諸問題の解決に資するための研修会を年3回開催する。

イ いじめ・不登校等対策協議会

○いじめ・不登校等、生徒指導上の問題行動についての状況分析と今後の対応について、医師・学識経験者・臨床心理士等が専門的見地

からの協議を行い、各学校への適切な指導に資することを目的に年3回開催する。

- 小中学校における不登校児童生徒への対応の充実と小中学校の連携を目的に、「小中連携支援シート」等の活用方法について検討する。

ウ いじめ・不登校等未然防止対策事業

小学校4年生から中学校3年生を対象に、学級集団検査を行い、児童生徒や学級の現状及び課題を把握し、いじめや不登校等の未然防止のための個別指導や学級集団づくりなどの指導の充実を図る。

エ スクールソーシャルワーカー活用事業

教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有している社会福祉士が、課題を抱える不登校児童・生徒の環境に働きかけ、関係機関とネットワークを構築するとともに、保護者、教職員等に包括的な支援を行い教育相談体制の整備を図る。

(3) 青少年の健全育成・子どもの安全確保等、家庭・地域の教育力向上の取組について

- ① 大分市青少年健全育成連絡協議会や大分市青少年補導員連絡協議会との連携

ア 健全育成活動

- 1校区1特色活動の推進
- 各地区・校区における善行表彰
- 「こども連絡所」の維持・拡充
- すこやか大分っ子サポートパトロールへの支援

イ 社会環境浄化活動

- 環境実態調査の実施
- 有害環境の浄化活動

ウ 広報啓発活動

- 「家庭の日」（毎月第3日曜日）の推進・啓発
- 広報車による広報活動の実施

エ 補導活動

- 中央補導
 - ・午後補導（月10回）・夜間補導（月4回）
- 地区補導
 - ・校区の計画により月2回以上実施
 - ・すこやか大分っ子サポートパトロール

○特別補導

- ・地域行事にあわせて実施

- ② 「家庭の日」推進事業の開催

「家庭の日」の趣旨の理解と実践を図ることを目的として、昭和54年より実施してきた「家庭の日」推進大会を継続・発展させ、幅広く「家庭の日」の啓発とその推進を図るために「家庭の日」

推進事業として「家族ふれあい宿泊自然体験事業」を実施する。

「家族ふれあい宿泊自然体験事業」

予定期日 平成29年12月16日（土）
～17日（日）1泊2日

場 所 大分市立のつはる少年自然の家

募集人数 家族20組（約80名）

事業内容 家族ふれあいゲーム交流等

- ③ 子どもの安全見守りボランティア活動支援事業
幼児児童生徒を極力一人にしないという観点から、保護者や地域の協力を得ながら、安全な登下校方策を策定するとともに、地域のボランティアの方々の協力を得て「あいさつ」や「声かけ」等を行いながら、安全な登下校を見守る体制の構築を図る。

○ ボランティアとして保護者や地域の方々の協力を得て、登下校時における通学路のパトロールを実施する。

○ 見守り体制を示すことにより、犯罪抑止効果が期待できることから、見守りやパトロール等に参加する人や車両にタスキやマグネットシート等を貸与し、活用する。

※ボランティア登録者数32,220名

（平成29年3月末現在）

なる専門委員及び教育委員会各課担当職員からなる常任委員で構成する。また、定例会の資料作成及び保護者・地域からのチームへの直接相談を受ける担当として、校長OB・警察官OBからなる2名の事務局員（嘱託職員）を配置する。

③ 活動内容

ア 保護者、地域住民からの学校における学習活動、生徒指導の問題に係る苦情等への専門性をいかした対応策の検討

○学校、保護者への具体的な指導・支援

○学校と保護者の関係修復に向けた働きかけ

イ 月1回の定例会議を開催し、対応策を検討



登校時の見守り活動

(4) 学校問題解決支援事業について

① 目的

保護者及び地域住民からの相談、苦情等に対し、専門的見地からの指導助言等により、学校が適切かつ迅速な対応を行うことによって、問題の解決が長期化・複雑化することを防止し、学校本来の役割である子どもたちの学びと育ちの場の保障を実践するため、大分市学校問題解決支援チームを設置する。

② 構成

「チーム」は、弁護士、医師、臨床心理士から

2 エデュ・サポートおおいた

所在地 大分市碩田町三丁目5番11号

相談電話 533-7744(FAX538-3778)

(1) 重点事業

- ① いじめや不登校等の教育相談、障がいのある子どもの就学や教育に関する相談等、幼児・児童生徒・保護者・教職員の様々な悩みや相談に適切に対応する。
- ② 学校に行けない子どもたちの“心の居場所”教育支援教室「フレンドリールーム」及び「一尺屋オレンジルーム」において体験活動を重視した指導援助を行う。
- ③ 不登校をはじめとした生徒指導上の諸課題に対応するため、教育分野に関する知識や社会福祉等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを学校に配置する。
- ④ 家にこもりがちな不登校の児童生徒の家庭に、訪問相談員を派遣する。

(2) 事業内容

- ① 教育相談
 - ア 相談形態 電話・面接・訪問・巡回相談
 - イ 相談時間
 - 電話受付(月曜～金曜) 9:00～17:30
 - (土曜) 9:00～16:45
 - 来所相談(月曜～土曜) 9:00～17:00(事前予約制)

- ② 教育支援教室「フレンドリールーム」
 - ア 支援方針

不登校状態にある児童生徒に対し「心の居場所」としての役割を果たし、カウンセリングや体験活動等のきめ細かな支援、学校や家庭への適切な働きかけ等を行うことにより、学校復帰や社会的自立をめざすよう支援する。

- イ 活動日、時間及び活動内容
 - 個別支援 月～金曜日 9:00～17:00
1週間に1回～1ヶ月に1回45分
カウンセリングや遊戯療法
 - 集団支援 月・水・金曜日 10:00～15:00
活動内容

10:00	朝の会・学習活動
11:15	共同活動(自主活動)
12:00	昼食
13:00	自主活動(共同活動)
14:30	自主活動(共同活動)
15:00	清掃・帰りの会

- ウ 学校及び家庭との連携
 - 担任連絡会
 - 保護者との面談・保護者会

- ③ 訪問相談
 - ア 訪問相談員 教育・心理・福祉領域を学んでいる大学生
 - イ 訪問時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00
1回につき1～2時間
(訪問頻度や1回の時間は本人の状態や希望にあわせて選択)
 - ウ 費用 無料

- ④ スクールソーシャルワーカーの活用
 - ア 配置校 中学校、義務教育学校及び当該中学校区内の小学校(合計63校)
 - イ 内容
 - いじめや不登校等の課題を抱える児童生徒・保護者・教職員の相談を受ける。
 - 児童生徒が置かれている家庭状況、生活環境、家族、友人、先生、地域への働きかけや関係機関とのネットワークの構築、及び学校内における教育相談体制の整備充実を図る。

- ⑤ 学校(園)巡回教育相談

幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校からの要請により、子どもの行動観察や検査を通して、指導・支援方法についての助言を行う。

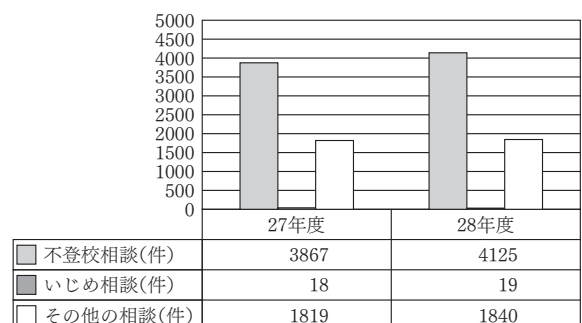
- ⑥ 啓発活動
 - ア 親の会
 - 実施日 年4回
 - 内容 講演、懇談
 - イ 教育センター通信やHPによるお知らせ
 - ウ パンフレット、PRカードの配付

- (3) 教育相談・特別支援教育推進協議会

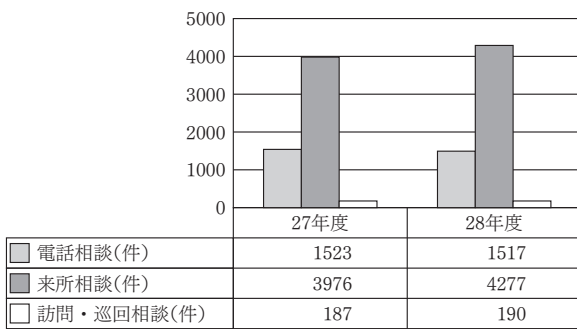
学識経験者、医療関係者等で構成し、「エデュ・サポートおおいた」の運営にかかわる諸施策の推進及び幼児、児童生徒の指導・援助活動の充実を図るための協議を行う。

(4) 相談件数の推移

① 主訴別相談受付状況

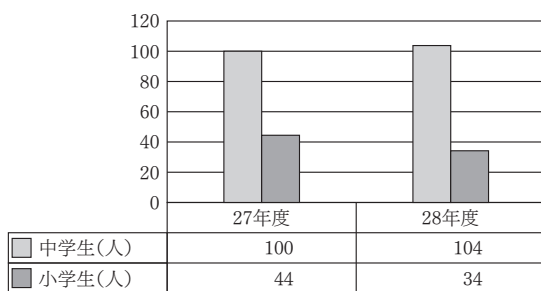


② 相談方法別受付状況



※①、②ともスクールソーシャルワーカーへの相談は含まない。

③ フレンドリールーム利用状況



(5) 一尺屋オレンジルーム

所在地 大分市大字一尺屋2368-1

① 開所の目的

不登校児童生徒の社会的自立に向けた指導援助を行う教育支援教室「フレンドリールーム」の活動を広げるため、平成17年度より、教室外活動の場として休校中の一尺屋小学校を改修し、一尺屋オレンジルームとして開所した。

② 主な活動内容(予定)

活動内容	実施時期
地域の人との交流活動	7月
宿泊体験	7月
菜園活動	年間
スポーツ活動	年間
調理活動	年7回
魚つり	6月・7月・10月



地域の人との交流活動

3 大分市立のつはる少年自然の家



所在地 大分市大字荷尾杵1097番地の26

電話 097-589-2211

FAX 097-589-2221

(1) 施設の概要

大分市立のつはる少年自然の家は、大分市の南西約30km、市内霊山から障子岳、御座ヶ岳、鎧岳を経て神角寺に至る山岳地帯の標高約680mに位置している。眺望に恵まれ、東は四国、南は祖母・傾山、北は由布・鶴見岳から九重連山、西は阿蘇まで望むことができる。

周辺には、大分市から豊後大野市にわたる4,475haの広大な「県民の森」があり、「青少年の森」「平成森林公園」「神角寺展望の丘」のゾーンがあり、その中央に本施設がある。

- ① 宿泊定員 256名
- ② 敷地面積 28,289㎡
- ③ 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ④ 建物延面積 5,327.58㎡

(2) 設置目的

大分市立のつはる少年自然の家は、恵まれた自然環境の中で、組織的・計画的に一定の教育目標を持って行われる自然体験活動をとおして、情操や社会性を豊かにし、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として平成6年5月に設置された。また平成18年4月より、生涯学習の場として、広く成人団体や家族利用も開始した。

(3) 教育目標及び期待される成果

- ① 自然体験活動を通して、生命や自然の尊重、環境の保全への関心や理解を深める。
- ② 宇宙や自然の美しさ、雄大さに感動し、自然に親しむ心や豊かな感性を育てる。
- ③ 集団宿泊体験を通して規則正しい生活習慣を身につけるとともに、友情・規律・協力・奉仕の精

神を養う。

- ④ 野外活動などを通して、心身をたくましく鍛え
るとともに、自ら計画・実践し、創造することで
自主性、協調性、社会性を育てる。
- ⑤ 自然への興味・関心を高め、自然を観察し、論
理的な思考を行うことで、学力の向上に寄与す
る。
- ⑥ 平成森林公園などの周辺施設を活用した大分市
民の健康づくり活動の拠点として協力すること
で、心身をリフレッシュし、健康・体力を維持増
進することにも貢献する。

(4) 利用案内

- ① 利用できる人(大分市・豊後大野市大野町の住民)
 - ア 学校行事として利用する小学校、中学校及び
特別支援学校の児童、生徒並びにその指導者
 - イ 少年団体及びその指導者
 - ウ 児童及び生徒並びにその家族
 - エ その他少年自然の家を利用することが適当と
認められる青少年、成人等
- ② 休業日
 - ア 毎週月曜日
 - イ 国民の祝日に関する法律に規定する休日
(その日が土曜日または日曜日に当たるとき
を除く)
 - ウ 年末年始(12月29日から翌年1月3日)
- ③ 利用期間、利用時間
少年自然の家の宿泊研修は、1回の利用期間を
3泊4日以内とし、日帰り研修は、午前9時から
午後5時まで
- ④ 入所の手続き
 - ア 利用予定の月の6ヶ月前の月初めから10日前
までに電話で申し込む
 - イ 申込代表者は利用日の1ヶ月前を目安に活動
内容の打合せを行う
- ⑤ 必要経費
 - ア 食事代 朝360円 昼500円 夜710円
 - イ シーツ・枕カバークリーニング代 180円
 - ウ 施設使用料
 - 中学生以下 無料
 - 高校生以上1人1泊510円 日帰り250円

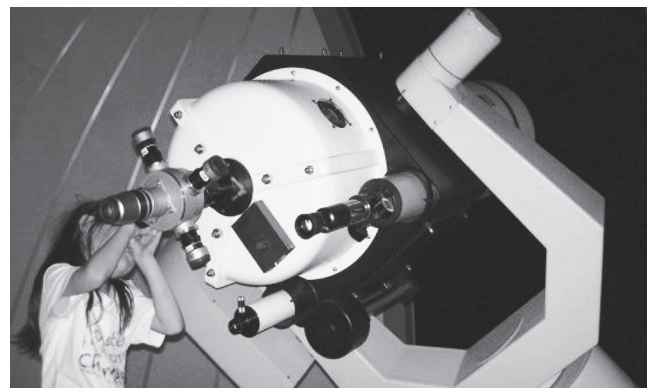
(5) 施設の紹介

- ① 屋内施設
 - ア 宿泊室30(収容人員8名、101、102号室にス
ロープあり)
 - イ リーダー室4(収容人員4名)
 - ウ 食堂(収容人員252名)



(素晴らしい眺めとシャンデリアのある食堂)

エ 天体観測室及び天体ドーム



(400mm反射式望遠鏡・100mm屈折式望遠鏡)

- オ 体育室(バレーボールコート2面の広さ)
- カ 多目的ホール、ラウンジ、談話図書コーナー、
研修室、屋上展望台、和室、保健室、事務室
- キ 浴室(大2、リーダー用2、障がい者用1)
- ② 屋外施設
 - ア 集いの広場
 - イ グラウンド(50m×120m少年用サッカーコ
ート1面)
 - ウ ピロティ
- ③ 周辺環境
 - 平成森林公園(香りの広場、香りの森、桜の
園、野鳥の森、ふれあいの森、育成の森、全国
植樹祭記念広場)他

主な活動

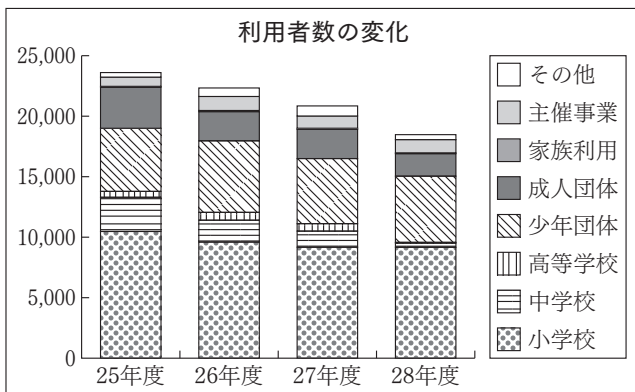
〈野外活動〉		〈屋内活動〉	
登	山	室内ハイキング	
ウオークラリー		スポーツ活動	
ネイチャーゲーム		レクリエーション活動	
源流探検		〈制作活動〉	
〈自然観察〉		ホットボンド工作	
天体観測		竹箸作り	
バードウォッチング			
動植物観察			



登山活動



源流探検活動



利用者数の変化

	25年度	26年度	27年度	28年度
小学校	10,480	9,598	9,235	9,140
中学校	2,812	1,802	1,298	359
高等学校	508	663	540	58
少年団体	5,218	5,890	5,455	5,479
成人団体	3,396	2,448	2,448	1,873
家族利用	46	70	38	30
主催事業	752	1,141	1,012	1,117
その他	363	739	830	399
合計	23,575	22,351	20,856	18,455

人権・同和教育

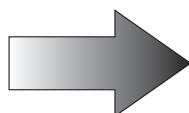
1 平成29年度 主要な事業

「大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例」及び「大分市人権教育・啓発基本計画」ならびに「部落差別の解消の推進に関する法律」を基調に、人権尊重社会の実現に向け、部落差別をはじめあらゆる差別を解消するための教育や啓発の一層の充実に努める。

(1) 人権・同和問題職員研修の推進

職員一人一人が、同和問題をはじめ様々な人権問題について正しく理解し、認識を深め、市内小・中学校、義務教育学校、幼稚園、教育委員会各職場における人権・同和教育をより実効性のあるものとするために、年間を通して組織的・計画的に人権・同和問題職員研修を実施する。

4月・・・職員研修計画書の作成
各職場で研修を実施
3月・・・職員研修報告書の作成



・管理職が講師やアドバイザーに
・少人数による研修
・同和問題について学習を深める

(2) 「大分市人権・同和教育推進連絡協議会」の活動の推進

① 概要

- ・設 立 1977（昭和52）年度、事務局は大分市教育委員会人権・同和教育課
- ・構 成 「学校教育部会」「社会教育部会」「地域部会」「企業部会」の4部会で構成
- ・主な事業 講演会の開催、年4回会員研修、会員の県外視察研修、各団体の推進状況の交換、横断幕による市民啓発、市内中心部での啓発活動（8・12月）

② 加入団体の促進

平成22年度・・・88団体 ⇒ 平成29年度・・・105団体

(3) 「地区人権教育推進協議会・地区人権尊重推進協議会」の活動の推進

① 概要

地域が主体となって、人権が尊重される住みよい地域づくり、いわゆる「人権のまちづくり」に取り組んでいくことを目的とした組織

- ・現在設立されている人権協（平成23年をもって市内全地区に設置された）

【名 称】	【評議員数】	【発 足 年】
1. 南大分地区人権教育推進協議会	58名	（平成2年10月発足）
2. 大在地区人権教育推進協議会	55名	（平成11年8月発足）
3. 大南地区人権尊重推進協議会	50名	（平成14年2月発足）
4. 野津原地区人権教育推進協議会	44名	（平成17年1月発足）
5. 坂ノ市地区人権教育推進協議会	37名	（平成17年3月発足）
6. 佐賀関地区人権教育推進協議会	42名	（平成17年4月発足）
7. 西部地区人権教育推進協議会	71名	（平成20年2月発足）
8. 城東原川地区人権教育推進協議会	79名	（平成20年3月発足）
9. 南部地区人権教育推進協議会	67名	（平成20年3月発足）
10. 鶴崎地区人権教育推進協議会	58名	（平成20年3月発足）
11. 明野地区人権尊重推進協議会	66名	（平成20年11月発足）
12. 大分中央地区人権尊重推進協議会	42名	（平成22年2月発足）
13. 植田地区人権尊重推進協議会	110名	（平成23年3月発足）

- ・主な事業 講演会の開催、評議員研修、地区懇談会、評議員の県外視察横断幕や立て看板、チラシによる市民啓発、会報の発行等

② 地区懇談会の拡充

各地区人権協で実施している地区懇談会の回数増と内容の充実に努める

2 学校教育

(1) 教職員研修

- ① 基本研修・・・対象者別の人権・同和教育研修を行い、職務遂行に必要な知識・技能の習得を図る

研 修 名	対 象 者	内 容
初任者研修	初任者	講義・演習・協議
中堅教諭等資質向上研修	11年目教諭・養護教諭	講義・演習・協議
臨時講師研修	臨時講師	講義
学校事務職員研修	学校事務職員	講義
補助教員研修	補助教員	講義

- ② 専門研修・・・人権・同和教育の視点に立った講義や講演を通して、指導者としての資質の向上を図る

研 修 名	対 象 者	内 容
人権・同和問題校長・専任園長研修	校長・専任園長	講演
人権・同和問題教務主任等研修	教務主任等	講演
人権・同和教育実践講座	小・中学校・義務教育学校教諭	講演・演習 (※)
人権・同和教育推進校校長研修	人権・同和教育推進校校長	研究協議
人権教育主任研修	人権教育主任	講演
人権・同和問題学習講座	小・中学校・義務教育学校・幼稚園教諭等	講演
人権・同和教育推進校担当者研修	人権・同和教育推進校担当者	研究協議
人権・同和教育実践セミナー	教諭等	指導案作成・協議

(※) 過去の講師名

年度	講 師 名	職 名
25	明 石 一 朗	大阪府貝塚市立東小学校校長
	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
26	島 袋 純	琉球大学教授
	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
27	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
	桑 原 敏 典	岡山大学大学院教育学研究科教授
28	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
	吉 村 功太郎	宮崎大学大学院教授
	中 原 朋 生	川崎医療短期大学教授
29	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
	吉 村 功太郎	宮崎大学大学院教授
	中 原 朋 生	川崎医療短期大学教授

(2) 「大分市人権・同和教育研究会」との連携

① 概要

- ・昭和52年発足、現在会員数2,441名
- ・研究主題 人権意識を高め、部落問題をはじめとするあらゆる差別の解決を志向する教育の創造と実践

② 主な事業

- ・人権・同和教育研修会・・・各学校（園）の人権教育主任で構成、年3回開催
- ・夏期研修会・・・夏季休業中に開催、各学校（園）の教職員や保護者約500名が参加
- ・実践交流会・・・小・中学校、義務教育学校、幼稚園にそれぞれ拠点校（園）を定め、9月から11月に開催し、実践の交流を図る。

(3) 人権・同和教育推進モデル校

人権・同和教育の指導方法等の在り方についてモデル校を指定し、実践的な研究を行う。さらに、その研究成果を大分市内の各学校に広げることにより、市内各小・中学校、義務教育学校における人権・同和教育の一層の推進を図る。

(4) じんけんハンドブック『明るい未来のために』

- ・発 行 毎年1回
- ・配布対象 小学校6年生、中学校2年生、義務教育学校6・8年生

3 社会教育

(1) 市民啓発講演会

① 企業・行政職員対象

年度	講師名	所属・職名等
25	稲積謙次郎	福岡県人権施策推進懇話会会長
26	中山 洋一	シンガーソングライター
27	中倉 茂樹	徳島県人権エンタメ集団「友輝」
28	額額 あや	映画監督
29	松村 元樹	公益財団法人 反差別・人権研究所 みえ 常務理事兼事務局長

② P T A 対象

年度	講師名	所属・職名等
25	中倉 茂樹	徳島県人権エンタメ集団「友輝」
26	明石 一郎	関西外国語大学教授
27	劇団「一人 ぼっち」	福岡市人権啓発講師団 福岡市長尾校区おやじの会会員
28	仲島 正教	教育サポーター
29	内屋 綾	部落解放同盟福岡市協議会

(2) 地区公民館での人権講座・講演会（平成29年度）

地区公民館	事業内容
大分中央公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大分西部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」
大分南部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
南大分公民館	「暮らしの中の人権講座」「子どもの人権教室」「人権を考える講演会」 「人権・同和問題専門講座」「みなみおおいたコミュニティーひろば」
明治明野公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権のまち明野フェスタ（人権講演会）」
鶴崎公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大南公民館	「大南人権セミナー」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」
植田公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」「わさだ人権フェスティバル」
坂ノ市公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大在公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」 「人権教育講演会」「じんけん子ども会議」
大分東部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権子どもアニメ劇場」「人権講演会」
野津原公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「夏休み子ども人権教室」「人権講演会」
佐賀関公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」

※上記以外に校区公民館とも連携し、人権・同和問題を学ぶ教室や講座を開く

(3) 各種団体との連携

- ① 大分市人権・同和教育推進連絡協議会の企画・実施（※平成29年度主要な事業参照）
- ② 地区人権教育推進協議会・地区人権尊重推進協議会への指導・助言（※平成29年度主要な事業参照）
- ③ 人権フェスティバル実行委員会への参画
- ④ 大分市P T A連合会との連携・・・「草の根じんけん講座」の実施

(4) 行政職員対象研修会

- ① 公民館長、公民館主事、公民館指導員研修会・・・各年1回
- ② 社会教育指導員研修会・・・年10回

4 人権啓発

(1) 啓発委員会

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決するための効果的な啓発のあり方を検討するために設置

- ・ 人権・同和問題に関する有識者等で組織
- ・ 年8回開催
- ・ 学習資料「じんけん」及び啓発資料「みんなのねがい」について

(2) 啓発活動

- ・ 8月・・・横断幕、のぼり、人権標語募集、街頭啓発
- ・ 12月・・・横断幕、街頭啓発、人権パレード、人権フェスタ

(3) 啓発資料

① 学習資料「じんけん」

- ・ 発行 毎年1回
- ・ 配布対象 小・中学校1年生保護者、義務教育学校1・7年生保護者
- ・ 配布時期 4月

② 「じんけんカレンダー」

- ・ 発行 毎年1回
- ・ 配布対象 小・中学校、義務教育学校、幼稚園、各教育機関・施設

③ 「みんなのねがい」

- ・ 発行 毎年2回
- ・ 配布対象 市内全戸
- ・ 配布時期 10月・3月

④ 「じんけんハンドブック『明るい未来のために』」

- ・ 発行 毎年1回
- ・ 配布対象 小学校6年生、中学校2年生、義務教育学校6・8年生
- ・ 配布時期 4月

⑤ 「人権・同和教育シリーズ」

- ・ 掲載 毎月1回（年12回）、市報15日号に掲載
- ・ 配布対象 市内全戸



学習資料「じんけん」



みんなのねがい



じんけんハンドブック

生涯学習

1 平成29年度 主要な事業

(1) 生涯学習支援体制の整備

① 生涯学習情報の提供について

ア 「まなびのガイドブック（人材編）」の更新
市民の多様な学習活動を支援するため、豊かな経験や知識、技能を有する市民を「生涯学習指導者」と位置づけ（生涯学習指導者登録制度）、分野別に指導内容、指導対象などの情報を提供する。

イ 「まなびのガイドブック（施設編）」の更新
市民の生涯学習推進のため、市内各施設の情報を提供する。

ウ 生涯学習ポータルサイト「まなびのガイド」の公開

大分市の生涯学習に関する様々な情報を提供するインターネット・サイトである。トピックス、イベント、教室・講座、指導者、教材、団体・サークル、施設などが簡単に検索できる。また、大分市の文化、教育、歴史、美術、建物・建築、地理・自然、観光、生活に関する画像や動画などのデジタル資料を納めた「まなびのデジタル資料館」を有する。

<http://www.manabi-oita.jp>

② 豊の都市校区ひとつづくり推進事業

地域において「あいさつOITA+1運動広め隊」が中心となり、あいさつに一言をプラスして会話へと広げ、人と人との絆を深めることで、地域ぐるみで子育てに取り組む機運を醸成する「あいさつOITA+1運動」を推進する。

また、各小学校区内に設置される実行委員会が実施する「広め隊チャレンジ事業」を支援することにより、校区内の子どもと大人のつながり、ま

たは大人同士のつながりを強化し、子育てを中心とした地域ネットワークの再構築を図る。

③ 大分市子どもの読書活動の推進

本市では、国や大分県が策定した計画を踏まえ、「大分市子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校等と連携、協力しながら、子どもの読書活動を推進している。

これまでの取組の成果と課題、および情勢の変化を踏まえ策定した「大分市子どもの読書活動推進計画（第三次）」の目標である「子どもの読書習慣の形成」と「子どもの読書活動を支援する環境の整備」へむけ、大分市における子どもの読書活動を推進する。

(2) 地域子ども教育の推進

① おおいたふれあい学びの広場推進事業

地域の団体や地区公民館が、放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、小学校を単位とする地域に居住する児童及び生徒に様々な体験活動等の機会を定期的かつ継続的に提供し、児童等の社会性をはぐくむことを通して、地域全体の教育力の向上を図り、地域の中で児童等が安心して育まれる環境づくりを推進する。

○平成28年度 のべ参加人数 35,463人

地区公民館主体型 31校区

地域主体型 28校区

② 体験・楽習・すこやか講座事業

地区公民館エリアの各種団体と連携・協力して子どもの体験活動の充実をめざすとともに、地域ぐるみの青少年の健全育成の推進を図り、新たな地域づくりを進める。



あいさつOITA+1運動



おおいたふれあい学びの広場推進事業

【平成29年度「体験・楽習・すこやか講座事業」実施計画一覧】

公民館	事業名	期 日	内 容	実行委員加入団体
大分中央	大分中央地区 わくわく 体験教室	平成29年 10月下旬	○グラウンド・ゴルフ大会 ○カレーライス会食	老人会、青少年健全育成連絡協議会、小学校PTA、地域ボランティア他
大分西部	わくわく ワンダーランド	平成29年 8月19日(土)	○竹工作 ○郷土料理 ○レク等	老人会、青少年健全育成連絡協議会、PTA協議会、わくわくボランティア、中学生、担当教師、地域指導者
大分南部	N A N B U せせらぎスクール	平成30年 1月20日(土)	○環境学習・自然保護運動・ 地域調べなどの活動の発表会	ふるさとの河川浄化推進連絡協議会(自治委員連絡協議会、ふるさとづくり運動推進協議会、青少年健全育成協議会、各校区の河川を守る団体、老人会、小中学校、PTA、大学)、NPO法人せせらぎの会
南大分	三世代交流 たこあげ大会	平成29年 12月9日(土)	○たこづくり ○たこあげ大会 ○豚汁などを食べながらの三世代交流	老人クラブ、青少年健全育成連絡協議会、PTA協議会、畑中パソコンクラブ、自治会、地域ボランティア
大分東部	子どもフェスタ 2017	平成29年 10月15日(日)	○子どもの広場 (昔の遊び体験・木工作体験) ○おもしろ科学体験 ○子ども玉入れ大会 ○読み聞かせ	自治委員協議会、城東原川地区公民館連絡協議会、老人会、小学校、小中学校PTA、青少年健全育成連絡協議会、体育協会、民生児童委員、子ども会代表
明治明野	とびだせ! 明明 わくわくランド	平成29年 7月8日(土)	○清掃活動 ○野外活動(ポイントラリー)	明野スカウト会 明治地区婦人会 明野地区婦人連絡会 地域指導者
鶴 崎	昔のあそび体験	平成29年 10月21日(土)	○コマ回し ○メンコ ○ゴム跳び ○おはじき ○おてたま	鶴崎地区PTA協議会、鶴崎地区地域婦人団体連合会、小さな親切運動推進協議会鶴崎支部、鶴崎地区クリーン運動推進協議会、鶴崎地区老人クラブ連合会、別保校区公民館、生涯学習推進担当者、鶴崎地区青少年健全育成連絡協議会
大 南	体験合宿 in 大南	平成29年 10月14日(土)、 15日(日)	○里山体験 ○異文化交流会 ○郷土料理、ものづくり体験 ○国際交流活動	大南地区青少年健全育成連絡協議会、公民館事業運営協力者、生涯学習推進担当者、戸次地区青少年健全育成協議会、吉野地区青少年健全育成協議会、竹中地区青少年健全育成協議会、判田校区青少年健全育成協議会
植 田	ス ク ス ク わ さ だ っ 子 フ ェ ス タ	平成29年 11月11日(土)	○自然に親しもう ○ものづくり ○昔のおやつ作り	植田地区教育懇話会、植田地区社会教育連絡協議会
坂ノ市	第22回 日吉原 ふるさと コンサート	平成29年 8月26日(土)	○作詞・作曲コンクール表彰式 ○オペラコンサート ○出演者と来場者による唱歌の合唱	坂ノ市地区小中学校、坂ノ市地区小中学校PTA、坂ノ市地区青少年健全育成協議会、地域音楽指導者、大分東高校
大 在	21C の び の び 大 在 っ 子 体 験 塾	平成29年 7月6日(木) ～8日(土)	○2泊3日の通学合宿 ○ものづくり ○食事作り ○飯盒体験 ○伝統文化体験 ○ボランティア活動	地区ふるさとづくり運動推進協議会、地区青少年健全育成協議会、地区婦人会、地区公民館、大在小PTA、大在西小PTA、地区芸能文化協会、地区老人クラブ連合会、楽寿会、校区ボランティアの会、地区民生委員協議会、大在ライオンズクラブ、大在小、大在西小
佐賀関	関崎シーサイド ウォーキング	平成30年 2月24日(土)	○自然の中でウォーキング ○ネイチャーゲーム ○海岸清掃 ○唱歌	社会教育関係団体、地元有志、民生児童委員
野津原	野津原 郁々 (いくいく) 堂	平成29年 11月8日(水)	○肥後街道を歩こう	野津原地区小中学校長代表、生涯学習推進担当者、野津原ボランティアガイド・地域協力者

(3) 家庭教育の充実

① 家庭教育支援事業

近年の少子化、核家族化、価値観の多様化等の社会変化に伴い、過保護や過干渉、育児不安の広がりや、しつけへの自信喪失など家庭教育力の低下が指摘されている。このため、家庭教育に関する学習機会の提供や、子育てに関わる指導者の養成などを通じて、家庭教育の充実を図る。

ア 「絵本の広場」

1歳6か月と3歳健康診査時（3歳は平成29年度は中央保健センターと東部保健福祉センターで実施）における本との出会いを通して、親子の絆づくりを支援するために、良書等の情報を提供するとともに読み聞かせの意義や方法についての学習の場を提供する。

イ 「乳幼児家庭教育学級」

子育てに対する悩みや不安を持つ親が増加する中、地域で子どもを育てるためのネットワークづくりを推進し、子どもの発達や心理、遊び等について学習する機会を提供して、家庭教育力の充実を図る。

○地域の親または子ども同士の交流を通して、情報交換や仲間づくりをする。

○子どもの発達や子育てのあり方について学習する。

○地域の実情やニーズに合わせ、公民館や近隣の公園等地域の施設を活動場所とする。

平成28年度 乳幼児家庭教育学級事業参加状況

公民館	学 級 名	回数	参加人数
大分中央	「スマイル子育てひよこの森」 「元気いっぱい！あひるの広場」	36回	64組
大分西部	「ママとぐうちよきばあ」	11回	35組
大分南部	「すくすく子育て広場」	10回	16組
南 大 分	「なかよしクラブ」 「音たまご」	26回	54組
大分東部	「にこにこひよこクラブ」	10回	28組
明治明野	「カンガルーポケット」 「明明親子教室ぐんぐん」	20回	43組
鶴 崎	「子育て広場めだかクラブ」	10回	24組
大 南	「子育てネットクラブ」	12回	20組
種 田	「天使の子育て」 「すなっぴーきっず」	80回	91組
坂 ノ 市	「子育てサポートポケット」	8回	20組
大 在	「すくすく食育講座」	9回	15組
佐 賀 関	「ぶりっ子くらぶ」	9回	19組
野 津 原	「おやこのじかん」	8回	12組

ウ 「子育て講演会」

就学時健康診断や小学校入学説明会等、親などが参加する様々な機会を活用して、家庭教育や親のあり方などについての学習の場を提供する。

エ 「思春期講演会」

中学1年生を持つ保護者を対象に、思春期の子どもの心理や成長、家庭教育のあり方などについての学習の場を提供する。

オ 「家庭教育学級開設」

互いに支えあう明るい家庭づくりが求められている中、人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図るため、親等が家庭や子育てのあり方等についての学習や情報交換・交流の場として家庭教育学級を開設するように支援する。

学級開設状況（平成29年6月14日現在）

小学校	中学校	義務教育学校	幼稚園	その他	合計
35	14	1	7	23	80

（小・中合同1、幼・小合同1）

カ 「家庭教育学級講師派遣事業」

家庭教育学級に対し、学習を深めるために必要な講師を派遣し、学級への学習機会の提供を行う。

○本年度対象学級70学級

キ 「大分市子育て支援者スキルアップ講座」

子育て支援に関する学習を通じて、地域で活躍する子育て支援者のスキルアップを図る。



乳幼児家庭教育学級

ク 「家庭教育学級リーダー研修会」

家庭教育学級のリーダーに対する研修会を実施し、学級の運営やリーダーのあり方等の学習を通して、家庭教育の重要性を認識するとともに、家庭教育リーダーとして資質の向上を図る。

○参加対象者

家庭教育学級のリーダー・子育てグループ等のリーダー



家庭教育学級リーダー研修会

日時 平成29年11月25日（土）

場所 坂ノ市公民館

講師 水澤心吾

日時 平成29年11月26日（日）

場所 コンパルホール

講師 ドリアン助川&中井貴恵

ウ 旭町会場

○人権講演会

日時 平成30年3月1日（木）

場所 旭町文化センター

講師 林由紀子

エ 人権作品コンクール

○市内の小・中・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象に、身の回りにある人権問題について考える機会とする。

内容としては、「人権作文、人権標語、人権ポスター」を募集し、優秀作品は、「人権作品集」としてまとめる。

(4) 社会人権・同和教育の推進

① おおいた人権フェスティバル2017

すべての人の基本的人権が尊重され、様々な文化や多様性を認め合う共生社会を実現するため、行政と市民が一体となって、「人々の相互理解と参加交流の促進」を目的に啓発事業を実施し、あらゆる差別の解消を図る意欲と実践力を持った市民を育成する。

実施計画

〔基本目標〕

「思いやりとやさしさのある地域社会の実現」

ア 中央会場

○差別をなくす市民啓発講演会

講師 ゴルゴ松本 氏

演題 命の授業

期日 8月4日（金）

場所 ホルトホール大分 大ホール

○お楽しみ映画上映会

作品名 「S I N G / シング」

期日 8月5日（土）

場所 ホルトホール大分 大ホール

イ 地区会場

○人権講演会

日時 平成29年11月24日（金）

場所 旭町文化センター

講師 水澤心吾



おおいた人権フェスティバル2016

(5) 学習機会の充実

① 成人記念集会

新成人に祝福と激励を送り、地域社会を担う一員としての自覚を促す。また、若者の希望や意見を集会の企画運営に取り入れることにより、成人の自己啓発の場とする。



成人記念集会

② 伝統芸能ふれあい教室

子どもたちに「伝統芸能」を鑑賞・体験する機会を提供し、豊かな感性と文化や伝統を大切にす

る心を育む。

○参加団体

大分県日本舞踊連盟 大分市民謡連盟

大分県三曲協会 能を楽しむ会

筑前琵琶大分旭会 大分市民踊連盟

琴城流大正琴振興会大分支部

おおいた洋舞連盟 淡窓伝光霊流大分詩道会

大分県長唄連盟

○実施期間

平成29年9月～平成29年11月

○実施予定校数

市内小・中学校18校



伝統芸能ふれあい教室

③ 生涯学習いきいき活動報告

大分市社会教育振興大会と連携して活動報告会を実施し、市民の生涯学習を促進する。

○期日 平成29年11月11日(土)

場所 新日鐵住金コミュニケーションセンター

講師 地域活動者等

※県内の社会教育や地域づくりの分野で実績をあげている講師による講義等を通して、社会教育関係団体の活性化を図っている。

④ おおいたナイトスクール

学齢期を過ぎて、もう一度中学校程度の学習内容を学びたい人を対象に、学習の機会を提供する。

○実施内容 国語・英語・数学・ふるさと知ろう科

○実施期間 平成29年6月～平成30年2月

○実施会場 植田公民館(火)・コンパルホール(水)・鶴崎公民館(木)



おおいたナイトスクール

2 社会教育関係団体の育成

(1) 目標

- ① 青少年の健全育成の推進
- ② 地域におけるボランティア活動の推進

(2) 少年団体

団体名	会員数等	活動内容
大分市子ども会育成連絡協議会	64単位会 4,031人	リーダー研修会 救急法講習会 緑化運動 陶芸教室 宿泊研修

現況

平成28年度は、約2万3千人の子どもたちが子ども会に所属し、お見知り会、廃品回収、レクリエーション、餅つき大会等、それぞれの地域の特色のある活動や行事に参加した。子どもたちは集団活動を通して、社会の一員としての必要な知識や技能、態度を学ぶことができる。また、子ども会活動を支える地域住民、団体、学校の連携が図られることで、地域の絆が深まり、地域ぐるみでの子育ての推進が期待される。各地区公民館においては、「子ども会リーダー育成事業」、「子ども会育成指導者研修会」等を実施し、子どもの健全な育成に寄与する子ども会活動への支援を行ない、その活性化を図っている。

(3) 女性団体

① 大分市地域婦人団体連合会

地域に根付いた活動を続けている。昭和25年4月10日設立以来、婦人会活動の活性化を図り、広い視野で時代の変化に対応しながら、健康に努め、学習・実践しながら心の通い合う地域づくりをめざしている。

② 大分市生活学校

昭和41年に組織され、環境問題・高齢者問題等地域に根ざした実践を続け、多くの成果を挙げている。身近な生活課題を持ち調査研究・実地見学・対話集会などを軸に積極的な活動を進めている。

(4) P T A

① 大分市P T A連合会

大分市内の公立小・中・特別支援学校、大分大学教育学部附属小・中学校のP T Aで組織され、専門部活動や研修が盛んである。

② 地区P T A協議会

中央地区、西部地区、南大分地区、滝尾・明野地区、城東・原川地区、鶴崎地区、東部・佐賀関地区、大南地区、東植田地区、植田地区の10ブロックで組織され、地区ごとに課題別による分科会を中心に積極的に研修を進めている。

③ 基本方針

ア 行動スローガン

「自ら学び、考え、行動するP T A～子どもの成長とともに学ぶP T A活動～」

イ 重点目標

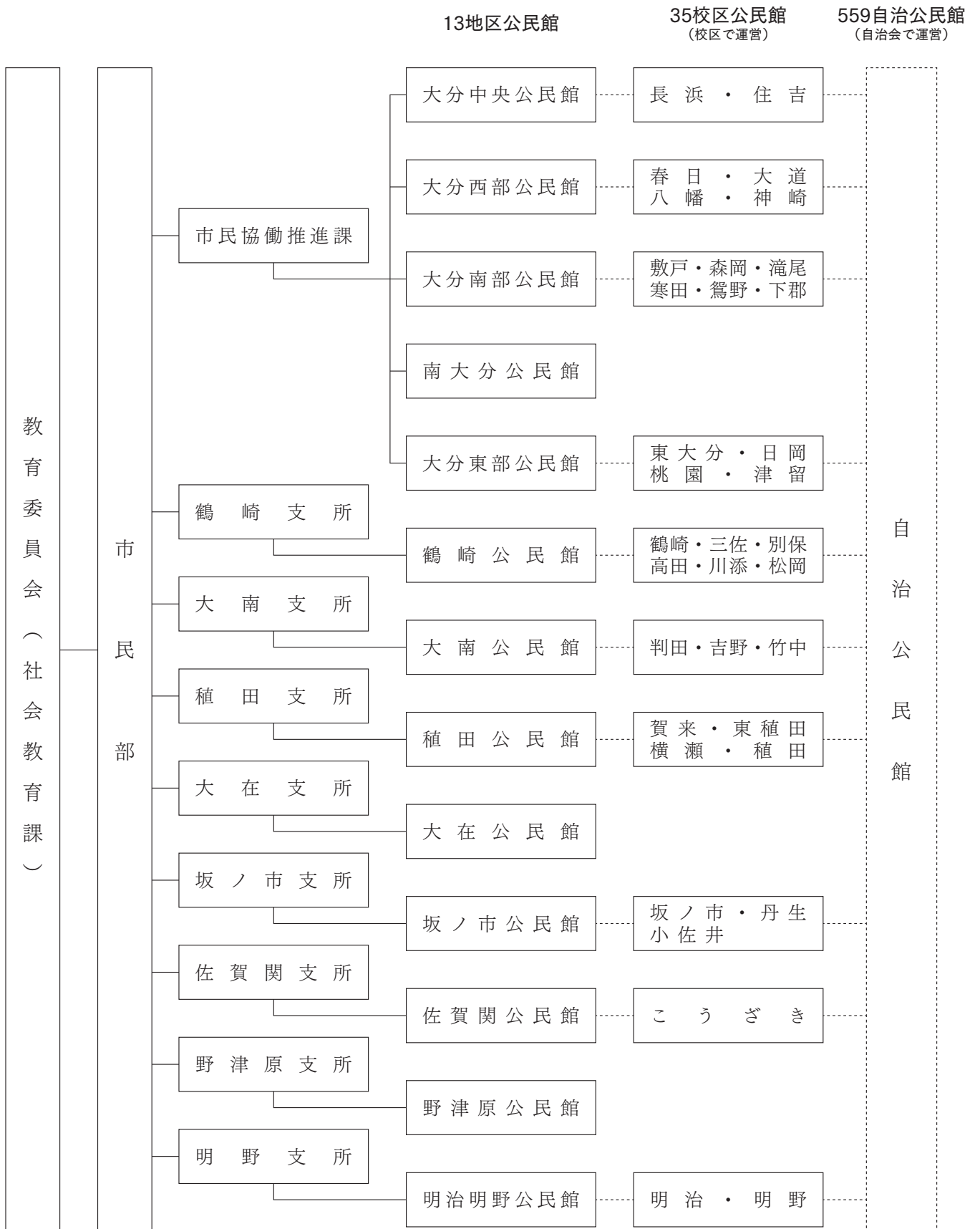
- (ア) 地区P T A協議会、単位P T Aとの連携を密にし、活動を活性化する。
- (イ) 各専門部は具体的な目標を掲げ、関係機関と連携・協力して活動する。
- (ウ) 教育環境の改善に努め、社会の変化に即したP T A活動を推進する。
- (エ) いじめ・不登校・児童虐待等の問題や人権・同和問題についての研修を推進する。
- (オ) 大分市教育委員会をはじめ、関係機関・団体との連携・協議を密にする。

3 公民館

生涯学習機能を有する地区公民館に、市民部の地域まちづくり支援に関する事業などを加え、市民協働の地域まちづくりの一層の推進を図るため、平成21年度から地区公民館の管理運営を市民部が補助執行することとした。

公民館における生涯学習機能は、それぞれが有機的に結びつきながら、その役割を果たしている。また、市民部で進める「地域づくり」も学習と実践を通じて一体的かつ継続的に展開されるものであり、「生涯にわたって学び続ける」生涯学習と切り離して考えられるものでない。これからも社会教育課は、市民部（市民協働推進課）と連携をとりながら、公民館の生涯学習機能を引き続き支援していく。

大分市の公民館



(1) 地区公民館利用状況

(平成29年4月末現在)

名称	住所	世帯数	人口	利用延べ人数				
				H24	H25	H26	H27	H28
大分中央	〒870-0021 大分市府内町1-5-38 TEL: 097-538-0100 FAX: 097-538-2121 E-mail: tyuokomin@city.oita.oita.jp	19,791	37,619	102,735	104,158	99,995	96,532	109,484
大分西部	〒870-0819 大分市王子新町5番1号 TEL: 097-543-4938 FAX: 097-545-3159 E-mail: seibukomin@city.oita.oita.jp	21,354	45,530	73,260	88,417	89,499	95,497	95,177
大分南部	〒870-0946 大分市大字曲1113番地 TEL: 097-568-0055 FAX: 097-568-0046 E-mail: nanbukomin@city.oita.oita.jp	23,584	52,924	90,107	83,922	100,007	92,559	88,770
南大分	〒870-0855 大分市大字豊饒76番地の1 TEL: 097-544-6688 FAX: 097-544-6689 E-mail: minamikomin@city.oita.oita.jp	20,867	45,161	84,964	74,885	83,188	94,788	100,196
大分東部	〒870-0918 大分市日吉町3番1号 TEL: 097-556-8818 FAX: 097-556-8819 E-mail: tobukomin@city.oita.oita.jp	23,723	46,329	80,202	80,566	90,221	91,149	90,410
明治明野	〒870-0165 大分市明野北4丁目7番8号 TEL: 097-553-3838 FAX: 097-553-3849 E-mail: meimeikomin@city.oita.oita.jp	19,509	46,588	135,711	139,641	130,089	128,301	144,059
鶴崎	〒870-0103 大分市東鶴崎1丁目1番7号 TEL: 097-527-2671 FAX: 097-522-3280 E-mail: turusakikomin@city.oita.oita.jp	23,446	55,464	64,246	74,854	75,325	65,009	68,825
大南	〒879-7761 大分市中戸次4491-2 TEL: 097-597-0259 FAX: 097-597-6605 E-mail: dainankomin@city.oita.oita.jp	11,141	27,549	32,330	48,418	59,907	54,307	53,194
植田	〒870-1155 大分市大字玉沢789番地 TEL: 097-541-0017 FAX: 097-541-0014 E-mail: wasadakomin@city.oita.oita.jp	26,862	60,994	107,094	114,135	105,257	116,984	121,929
坂ノ市	〒870-0309 大分市坂ノ市西1丁目10番6号 TEL: 097-592-0735 FAX: 097-593-2908 E-mail: sakaitikomin@city.oita.oita.jp	7,896	19,083	60,287	65,350	63,425	61,010	64,298
大在	〒870-0268 大分市政所1丁目4番18号 TEL: 097-592-0304 FAX: 097-592-4256 E-mail: oozaikomin@city.oita.oita.jp	12,931	28,179	76,796	90,348	76,706	77,367	87,360
佐賀関	〒879-2201 大分市大字佐賀関1407番地の27 佐賀関市民センター内 TEL: 097-575-2557 FAX: 097-575-2595 E-mail: saganosekikomin@city.oita.oita.jp	4,516	9,038	41,563	31,463	36,540	38,473	41,044
野津原	〒870-1203 大分市大字野津原2885 TEL: 097-588-0043 FAX: 097-588-1550 E-mail: notuharukomin@city.oita.oita.jp	2,133	4,504	28,331	27,413	30,801	28,347	29,582
合計		217,753	478,962	977,626	1,023,570	1,040,960	1,040,323	1,094,328

※校区未定分の世帯数及び人口については、本庁地区は大分中央、鶴崎地区は鶴崎、植田地区は植田に加算。

(2) 公民館類似施設 (平成29年4月1日現在)

① 校区公民館

市内52校区に35館あり、生涯学習や地域づくりの拠点等として、活用されている。

② 自治公民館

市内688自治区に559館あり、自治会行事等で活用されている。

4 大分市情報学習センター



所在地 大分市大石町1丁目3組

電話 545-8616

FAX 545-5065

URL : <http://www.manabi-oita.jp/omc/>



(1) 施設の趣旨

大分市は、日本初のADSLサービス開始や「ケータイ甲子園」等の取組など、地方にありながら情報通信の世界で独自の文化を発信してきた。大分市情報学習センターは、大分市の情報学習の中核施設として、時代の要請や市民ニーズに応えながら情報学習の文化を発信している。

しかしながら、新しい情報端末の登場やインターネットサービスの充実等ICTの普及・発達は、快適で便利な生活をもたらす反面、ワンクリック詐欺や悪意のある書き込み等の社会問題を引き起こしており、市民が等しく安心安全にICTを利活用できるように、情報モラルの向上に重点を置いた情報教育を推進していく必要が生じている。

そこで、平成26年度より、指定管理者制度を導入し、時代の変化に即した第2世代のICT講習として、情報モラル教育を中心に情報リテラシーの向上・情報格差軽減を目指し、「まなびの循環」を図りながら各種事業を充実させている。

(2) 事業の重点

- ① 情報モラル・情報リテラシーの向上
 - ア 初心者向けICT講習の実施
 - イ ソーリンくんネット安心安全教室の実施
- ② 情報格差の軽減
 - ア 指定管理者による市民教室の開催
 - イ ITボランティア養成講座の実施によるiの手メンバーの増員及びスキルアップ
 - ウ ライブラリー業務の活性化
 - エ インターネット体験コーナーの運営

- ③ 生涯学習情報の提供
 - ア 生涯学習指導者（人材情報）や生涯学習情報の内容の充実と管理の徹底
 - イ 動画配信コンテンツの拡充
- ④ その他
 - ア 施設の特性を生かした自主事業の実施

(3) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
 - 民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と施設利用増を図る。
- ② 指定管理者
 - 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
- ③ 指定期間
 - 平成29年4月1日～平成34年3月31日

(4) 施設の特徴

昭和54年5月に「大分市視聴覚センター」として開所し、平成18年4月に現在の名称に変更され36年目を迎える。大分市南大分地区に位置し、敷地面積3,129㎡、延床面積2,130㎡の鉄筋コンクリート造り地下1階地上2階建。大分市出身磯崎新氏による設計で、定員30名のPC室、定員350名でdts音響設備や250インチスクリーンを有し、防音機能があるAVホール、音楽練習や撮影・録画・編集・インターネット配信ができるスタジオ等を有し、大分市内の他施設にはない特徴的な施設。平成26年4月より有料貸館化を実施。

(5) 利用案内

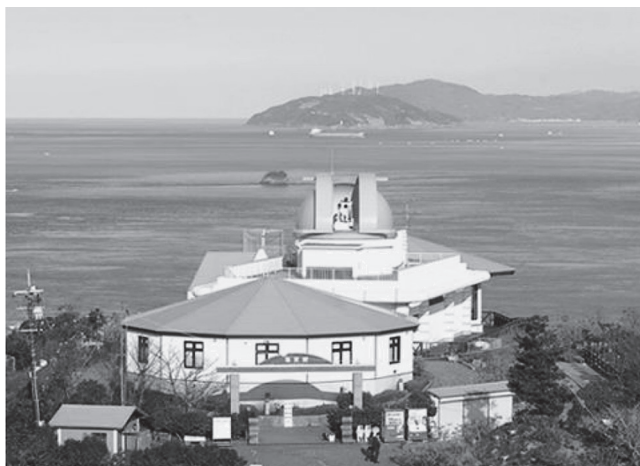
貸館は年末年始をのぞき、年間利用可能（要事前予約）

- ① 開館時間
 - 月～土 午前9時～午後9時30分
 - 日 午前9時～午後7時
- ② 休館日
 - 年末・年始（12月28日～1月4日）
- ③ 市内利用者利用料金（市外利用者は別途）

区 分	利用料金(1時間)	摘 要
AVホール	600円	使用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその使用時間が1時間未満のときは、1時間とします。
スタジオ	200円	
マルチメディアルーム	200円	
情報サロン	100円	
研修室1	200円	
研修室2	100円	
研修室3	100円	
コンピュータ室	200円	

5 大分市関崎海星館

所在地 大分市大字佐賀関4057-419
電話 097-574-0100
FAX 097-574-0555
URL <http://www.kaiseikan.jp>
E-mail star@kaiseikan.jp



関崎海星館から豊後水道を望む



60cmニュートン・カセグレン式反射望遠鏡
(望遠鏡で天体観察をする親子)

(1) 施設の趣旨

- ① 本館をとりまく大自然を背景に、市民に“ふれあいの場”を提供することにより、ゆとりとやすらぎを満喫することができ、生きがいにあふれた人生を創造することに寄与する。
- ② 本館の機能を活用した宇宙の観察や観測の場を提供することにより、宇宙の神秘に驚嘆し、天文に興味・関心をいただき、新たな体験と知識に基づいた心豊かな人生の創造に寄与する。

(2) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と入館者増を図る。
- ② 指定管理者
大分エージェンシー株式会社
- ③ 指定期間
平成29年4月1日～平成34年3月31日

(3) 施設の特徴

口径60cm、肉眼の7300倍の集光力を持つ海星館の望遠鏡で、月や惑星、果てしなく広がる宇宙の彼方の星雲・星団を心ゆくまでウォッチングできる。

お昼は、太陽観察専用望遠鏡で、迫力ある太陽プロミネンスや黒点の観察ができる。

また展望室からは、東は四国佐田岬、北は国東半島や姫島まで、視界300度のパノラマが堪能できる。

(4) 利用案内

- ① 開館時間
月・水・木 午前10時～午後6時
金・土・日・祝日 午前10時～午後10時
夏休み期間 午前10時～午後10時
- ② 休館日
火曜日（祝日の場合は一番近い平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
但し、元日は初日の出観察会開催
- ③ 料金
入館は無料。
天体観測室は観覧料が必要。
観覧料 一般 420円
(10名以上の団体330円)
高校生 210円
(10名以上の団体170円)
中学生以下 無料
障がい者 手帳をお持ちの方は全額免除

6 エスペランサ・コレジオ

所在地 大分市東鶴崎1丁目1番5号

電話 522-3415

FAX 522-3412



カラーコーディネーターコース

(1) 設置の趣旨

本校は、生涯学習の重要な分野である勤労青少年等の学びの場である。大分市内在住か在勤・在学（高校生を除く）する人に「青春を豊かに価値あるものに」をモットーとして、組織的・計画的に幅広い学習機会を提供し、その実現を図ろうとするものである。現在では勤労青少年を中心として職業能力向上や学校行事で青年の社会参加活動をサポートしている。

(2) 指導重点目標

- ① 自己目標の達成と継続に向けた各種国家・検定試験での資格取得とスキルアップ
- ② 入学式・地域貢献活動・人権研修会・作品発表会・修了式等の学校行事への出席・協力・役割分担を通して仲間づくりをし、充実した学校生活を送る。
- ③ 広報活動の充実

(3) 平成29年度教育計画

生涯学習の一般的な内容	本校の具体的教育内容
①職業に関する知識、技術の向上や資格取得に関する教育	○資格取得コース ファイナンシャルプランニング技能士3級・2級、日商簿記3級・日商簿記2級、建設業経理士2級、二種電気工事士・一種電気工事士、社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士、色彩検定3級・2級、パーソナルカラー検定モジュール1・2、日商PC検定試験（データ活用）3級
②実生活や仕事に役立つとともに、資格取得も可能とする教育	○実用コース 和洋裁、服飾ソーイング、調理A、調理B、英会話、美文字（硬筆書写検定4級・3級）、アロマセラピー
③教養の向上、健康・情操の陶冶に関する教育	○趣味コース 陶芸、ピラティス ○人権研修会（12月）
④市民意識、社会連帯意識に関する教育	○地域貢献活動（ボランティア活動） 5月・10月 ○歳末助け合い運動協賛12月 ○『ペットボトルキャップで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン』に協力（通年）

(4) 平成29年度学生数（5月1日現在）

校時	課程	コース	人数
1校時	資格取得	F P 技能士 A	10
		実用和洋裁	14
2校時	資格取得	簿記 I	6
		簿記 II	13
		電気 I	11
		電気 II	5
		社労士	15
		行政書士	11
		全学生数	

校時	課程	コース	人数
2校時	資格取得	F P 技能士 B	16
		宅建	23
		カラーコーディネーター	11
		エクセル	7
	実用	服飾ソーイング	14
		調理 A	23
		調理 B	18
		英会話	14
		美文字	9
		アロマセラピー	7
趣味	陶芸	13	
	ピラティス	13	



陶芸コース

(5) 年度別試験合格者数

試験	二種電気工事士	一種電気工事士	電験三種	日商簿記3級	日商簿記2級	建設業経理士2級	F P 技能士	宅地建物取引士
S 43～H 25年合格者数	360	150	三種26 理論47 電力33 機械28 法規37	473	253	115	2級 8 3級 66	3
H 26年	3	2	電力 1	9	3	8	2級 7 3級 17	1
H 27年	1	0	電力2 機械1 理論1 法規1	7	5		2級 2 3級 21	1
H 28年	2	2	三種1 理論1 電力1 機械0 法規1	4	2	3	2級 8 3級 12	1

試験	術者試験CAD利用技2級	3級日商PC検定試験(データ活用)3級	日商PC検定試験3級(文書)3級	デカライナー	色彩検定	カバーラソナル	ボールペン字
H 16～H 25年合格者数	22	33	14				
H 26年	0	4	4	3級 2 2級 1	3級 3 2級 3		4級 3 3級 2
H 27年	1	9	5	3級 1	3級 2 2級 10		4級 2
H 28年	1 (3DCAD 2級)	4	3		3級 1 2級 7 1級 2	モジュール1 3 モジュール2 3	4級 4 3級 3

7 河原内陶芸楽習館

所在地 大分市大字河原内3863番地の2
電話 596-1070
FAX 596-1077



(1) 施設の趣旨

初歩から本格的な陶芸技術の習得まで、専門スタッフの指導により、市民の幅広い学習需要に応えるとともに、陶芸を通じて地域の活性化や文化の振興を図り、新たな文化ゾーンの創造をめざす。

(2) 施設の概要

構造	木造平屋建
延床面積	126㎡
登り窯	1基 (7.5㎡)
灯油窯	1基 (0.5㎡)
電気窯	2基 (1.9㎡、0.4㎡)
電動ろくろ	6台
作業台	5台

(3) 講座

- ① 定期講座 (平成29年5月～平成30年3月まで)
 - ア 短期入門クラス (年3回各10回、16人)
 - ・・・日曜日午後1時～4時



陶芸祭

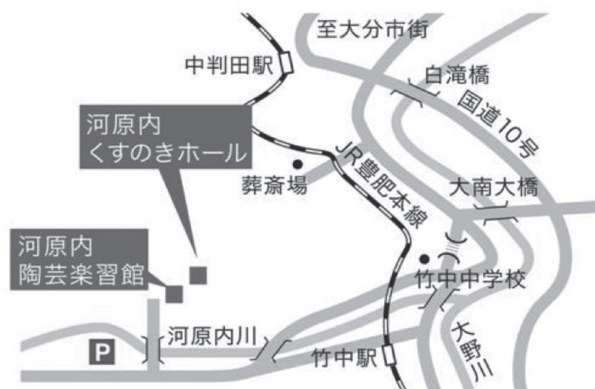
- イ 通年入門クラス (全40回)
 - 水曜クラス(10人)・・・水曜日午後1時～4時
 - 土曜クラス(16人)・・・土曜日午後1時～4時
 - 日曜クラス(16人)・・・日曜日午前9時～正午
 - ウ 経験者クラス (全40回)
 - 水曜クラス(16人)・・・水曜日午前9時～正午
 - 土曜クラス(16人)・・・土曜日午前9時～正午
 - エ 経験者上級クラス (6人、全40回)
 - ・・・水曜日午後1時～4時
- ② 体験学習講座 (要予約)
費用・・・1人1回520円
実施日・・・原則火曜日、金曜日
対象・・・5人以上30人程度までの団体



講座の様子

(4) 利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
休館日
・月曜日・木曜日 (ただし、窯焚き等により変更する場合有)
・年末年始 (12月29日～1月3日)



8 大分市民図書館

本館所在地	大分市金池南1丁目5番1号 電話 097-576-8241 FAX 097-544-5615
分館所在地	大分市府内町1丁目5番38号 電話 097-538-3500 FAX 097-538-3744



市民図書館2階おはなしのへや

(1) 基本方針

- ① 市民ニーズに、応えるため様々な資料の収集と蔵書の充実をめざす。
- ② 図書館の利用促進を図る。
- ③ きめ細かな図書館サービスの充実をめざす。
- ④ 事業を中心とした図書館活動の充実をめざす。

(2) あゆみ

昭和49年6月	「大分移動図書館の設置及び管理に関する条例」公布
8月	移動図書館車運行開始
昭和53年8月	移動図書館センター（鶴崎）開館
昭和61年6月	コンパルホール市民図書館オープン 大分地域広域市町村圏（野津原町・挾間町・庄内町・湯布院町、佐賀関町）へ配本開始
平成3年8月	利用者開放端末利用開始
平成6年2月	ひまわりコーナー（視聴覚障がい者・高齢者）オープン
平成8年7月	図書館法に基づく図書館として整備、「大分市民図書館」となる
平成9年5月	BDS（資料無断持出防止装置）稼働開始
平成14年4月	大分市民図書館ホームページ開設 インターネット予約受付開始 利用者開放端末（調べ学習用）設置
平成15年4月	地区公民館図書室を図書館情報シス

	テムとネットワーク化
平成17年5月	市町村合併により佐賀関・野津原地区公民館図書室を図書館情報システムとネットワーク化
10月	移動図書館センター（鶴崎）閉館
平成17年11月	鶴崎・植田市民行政センター図書室開館 図書館情報システムとネットワーク化
平成19年4月	文部科学大臣賞を受ける
平成20年4月	移動図書館車運行廃止 市内34校区公民館での予約図書受け取りサービス開始
平成21年2月	図書館ボランティア（図書の配架・書架整理・修理、事業の協力等）開始
平成23年度	IC連携準備：図書館全資料へICタグ貼付
平成24年度	大分駅南複合施設（ホルトホール大分）内市民図書館開館準備
平成25年4月	窓口業務委託開始
平成25年7月	ホルトホール大分内に新図書館を開設し、コンパルホール内図書館を分館に位置付ける IC連携サービス開始（自動貸出機・自動返却機・自動出納閉架書庫導入）

(3) 利用案内

- ① 開館時間及び休館日

開館時間	午前9時～午後9時
休館日	毎月第2・第4月曜日 (祝日の場合は、翌日以降直近の平日) 年末年始（12月28日～1月4日） 蔵書点検のための特別整理期間
- ② 図書の貸出

個人貸出対象	大分市・由布市に在住する者 大分市に通勤・通学する者
貸出冊数	一人10冊以内
貸出期間	15日以内
団体貸出対象	大分市に所在する、5名以上の構成員である団体
貸出冊数	1回に200冊以内
貸出期間	3ヶ月以内
- ③ ホームページ

利用内容	図書館案内（利用方法等） 蔵書検索（新着図書・インターネット予約）
------	--------------------------------------

お知らせ（行事案内等）

アドレス <http://www.library.city.oita.jp/>

(4) 利用状況 平成28年度分

総利用者数 961,169
貸出冊数 1,403,038
貸出者数 327,057

(5) 平成29年度事業計画

① こどもの読書週間事業

ア 人形劇公演

日時 4月29日（土）午後2時～3時30分
場所 コンパルホール3階多目的ホール
出演 劇団ぱれっと
内容 人形劇を通して子どもたちの感性を育み、物語に興味を抱かせる

イ こどもの日「おはなし会」

日時 5月5日（金）午前11時～午後0時30分
場所 コンパルホール分館階段式読書コーナー
内容 ボランティアによるおはなし会

② 環境月間連携事業

ア 「環境絵本の読み聞かせ」事業

日時 6月中の土日
市民図書館 午後2時～2時30分
コンパルホール分館 午前11時～11時30分
内容 市民図書館読み聞かせボランティアによる環境に関する絵本・紙芝居の上演

イ 新聞紙でエコバッグ

日時 6月17日 午前10時30分～正午
場所 市民図書館
内容 古新聞を活用したエコバッグの工作教室

③ 夏休み企画

ア 図書館探検ツアー

日時 夏休み中の木曜日 午前11時 午後2時
場所 市民図書館
内容 日頃見ることのできない図書館のバックヤードの見学会

イ 「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品展示と関連講座

展示期間 7月21日～8月24日
展示場所 市民図書館2階
講座日時 7月22日（土）、8月19日（土）
午前10時～正午
講義場所 市民図書館2階会議室
内容 図書館の本を使った調べ学習の方法を学ぶ

ウ 夏の星座と工作

日時 7月22日（土）、8月19日（土）
午後7時～午後9時
場所 市民図書館2階会議室
内容 星座盤を工作して屋上庭園で星の観察

エ 本の七夕飾り

日時 7月1日～8月3日
場所 市民図書館
内容 短冊に「おすすめの本」を記入してもらいバンブーツリーに飾る

④ 第31回秋の読書週間事業

ア 文化講演会

日時 11月5日（日）午後2時～3時30分
場所 コンパルホール多目的ホール
内容 作家や文化人による読書に関連付けた講演

イ おはなしの世界へようこそ

日時 10月28日（土）、11月4日（土）
午前11時～午後0時30分
場所 10月28日市民図書館
11月4日コンパルホール分館
内容 ボランティアによる読み聞かせ

⑤ 冬休み事業

ア 図書館福袋

日時 1月5日（金）～なくなり次第終了
場所 市民図書館 コンパルホール分館

イ クリスマスブックツリー

日時 11月26日（日）～
場所 市民図書館

⑥ 図書館独自事業

ア 初心者読み聞かせ講座

イ 中級読み聞かせ講座

ウ 親子で読書チャレンジ（家読）

エ 図書館でお月見

オ データベース講習会

カ ビブリオバトル

キ 関係各機関との連携事業

⑦ 年間通常事業

ア 図書館読み聞かせボランティアによる絵本・紙芝居等の読み聞かせ

イ 学校図書館支援としての司書派遣

ウ 館内での季節に関する書籍展示
テーマ別書籍特設展示

芸術文化

1 芸術・文化振興

○主な事業

① 第43回大分市民音楽祭

平素から音楽活動を行っている団体に発表と鑑賞の機会を提供し潤いと安らぎのある市民生活を実現するために大分市民音楽祭を開催する。

実施日 平成30年2月18日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

実施日 平成29年2月19日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 19団体

出演者数 361人

入場者数 1,083人



市民音楽祭

② 第24回大分市芸能まわり舞台

芸能活動に取り組む市民に、発表と鑑賞の機会を提供することにより、伝統文化を継承し多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざすとともに参加団体相互の情報交換と親睦を図る。

実施日 平成30年2月4日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

実施日 平成29年2月5日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 10団体・子ども舞台

入場者数 1,316人



芸能まわり舞台

③ 第52回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会期 平成30年2月23日(金)～3月25日(日)

場所 大分市美術館

昨年度(平成28年度)実績

会期 平成29年3月3日(金)～3月26日(日)

場所 大分市美術館

出品数 420点



市美展

2 文化財

(1) 平成29年度文化財主要事業計画

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにする事ができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

① 埋蔵文化財発掘調査

道路整備、公園整備、宅地造成、住宅建設など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施し、遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。また、史跡の範囲・内容を確認する調査も計画的に行っている。

埋蔵文化財にかかる平成29年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・回数	時 代
1	大友氏館36次	戦国
2	大友氏遺跡35次	戦国
3	中世大友府内町跡126次	戦国
4	中世大友府内町跡127次	戦国
5	中世大友府内町跡	戦国
6	中世大友府内町跡	戦国
7	中世大友府内町跡	戦国
8	城原・里遺跡	古代
9	城原C遺跡	弥生
10	府内城・城下町跡（予備調査）	近世
11	府内城・城下町跡	近世
12	野津原御茶屋	中世～近世

② 文化財保存整備事業

- ア 国指定史跡「大分元町石仏」保存整備事業
事業者 大分市
大分元町石仏の環境調査、および劣化対策である和紙による脱塩処理を継続し、平成27年度に実施した石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行い、石仏の早期「安定化」をめざす。
- イ 県指定史跡府内城宗門櫓修復公開活用事業
事業者 大分市
傷みが進行している宗門櫓を半解体修理し、公開・活用することをめざす。

平成29年度は半解体修理工事の予定。

- ウ 県指定有形文化財十一面観音菩薩立像保存修理事業
事業者 宗教法人臨濟寺
県文化財保護審議会での意見を踏まえ、所有者と協議し、修理方法を見直した。平成28年度に修理に着手し、平成29年度末までかけて修理する予定である。
- エ 市選択無形民俗文化財羽田神楽伝承基盤整備事業
事業者 大分社羽田神楽
浅草流の様式回帰を目的とし用具整備を行う。
- ③ 各種委員会の開催
 - ア 大分市文化財保護審議会
大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。
第1回 平成29年5月26日（金）開催
第2回 平成30年2月開催予定
 - イ 高崎山管理委員会
国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適正管理を行い、高崎山全体のより適正な保存管理運営を行うことを目的とする。
平成29年7月3日（月）開催
 - ウ 大分元町石仏保存整備委員会
大分元町石仏の塩類風化への対策とその手法の検討を行う。
第1回 平成29年7月開催予定
第2回 平成30年1月開催予定
 - エ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会
国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。
2回開催予定
 - オ 大友氏館跡庭園整備検討委員会
庭園及びそれに関わる遺構の復元整備や設備、公開活用に必要な諸施設等について検討する。
3回開催予定
 - カ 府内城宗門櫓保存修理検討委員会
府内城宗門櫓の修理を進めるため、修理の方法等について協議する。
第1回 平成29年6月22日（金）開催
第2回 平成29年12月頃開催予定
 - キ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
平成29年5月22日（月）開催

④ 普及・愛護の啓発活動

ア 大友氏遺跡情報発信事業

(ア) FUNAIジュニア検定

郷土に対する理解と愛着を深めるため、小中学生を対象に歴史検定を実施する。今回は大友宗麟副読本から出題し、成績上位者は表彰する。また、合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイド（仮称）として養成する。（7月29日開催）

(イ) 大友宗麟副読本

平成25年度に作成した大友宗麟副読本を平成29年度も継続して配布する。昨年までは市内の小学6年生（59校）に配布し、授業に活用していたが、今年度はFUNAIジュニア検定へ向けて市内中学1年生にも配布を行う（5月末配布）。

(ウ) 大友氏遺跡フェスタ2017

今年は戸次川の戦いから430年となる節目の年であることから、戸次川の戦いにフォーカスを当てて大友氏に関連する情報発信を行う。秋に宗麟公まつりや歴史講座、JRと連携したウォーキング、鶴賀城に登る体験イベント等を実施する。

イ 文化財防火デー

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。

実施予定日 平成30年1月26日（金）

予定箇所 大分市指定有形文化財
霊山寺山門（予定）

(2) 平成28年度指定文化財

① 大友氏遺跡追加指定

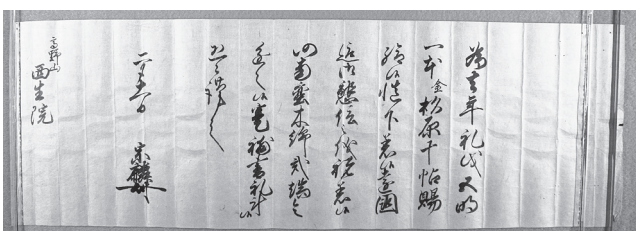
平成28年度は大友氏館跡の一部と大友氏の対外貿易に主体的に関わった外国人の活動拠点である「唐人町跡」の範囲の一部について追加指定された。

② 大分県指定有形文化財指定

指定日 平成29年3月7日

所有者 大分県

ア 「高野山本覚院文書」（1946点）中世～近代



「大友宗麟書状」
（大分県立先哲史料館所蔵）

イ 「中世大友府内町跡出土キリシタン関係遺物」
（37点） 戦国時代



「ヴェロニカメダイ」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

ウ 「東田室遺跡出土絵画土器」（1点）
古墳時代中期前半



「東田室遺跡出土絵画土器」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

エ 「一方平Ⅰ遺跡出土石器群」（62点）
旧石器時代後期



「接合資料」
（大分県立埋蔵文化財センター所蔵）

③ 大分市指定有形文化財指定

指定日 平成29年3月9日

ア 「立小野区有文書」（一括76点）

江戸時代～昭和

所有者 立小野区



「傘連判状」

- イ 「木造五劫思惟阿弥陀如来坐像」(1 軀)
室町時代
所有者 片島下区



「木造五劫思惟阿弥陀如来坐像」

(3) 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館						
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎381番地の1						
電 話	097-521-4893						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28~1/4)						
概 要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。 平成28年度入館者数 <table border="1"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,934人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>403人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,337人</td> </tr> </table>	大 人	5,934人	小 人	403人	合 計	6,337人
大 人	5,934人						
小 人	403人						
合 計	6,337人						

施設名	池見家住宅						
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内						
電 話	なし(問合せは文化財課へ)						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28~1/3)						
概 要	江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成3年佐野植物公園内に移築復元。 平成28年度入館者数 <table border="1"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,436人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>2,740人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,176人</td> </tr> </table>	大 人	5,436人	小 人	2,740人	合 計	8,176人
大 人	5,436人						
小 人	2,740人						
合 計	8,176人						

施設名	海部古墳資料館								
所在地	〒870-0303 大分市大字里646番地の1								
電 話	097-524-2300	FAX	097-524-2301						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28~1/4)								
概 要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。平成12年4月開館。 平成28年度入館者数 <table border="1"> <tr> <td>団 体</td> <td>4,030人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>15,175人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>19,205人</td> </tr> </table>			団 体	4,030人	個 人	15,175人	合 計	19,205人
団 体	4,030人								
個 人	15,175人								
合 計	19,205人								

施設名	大友氏遺跡体験学習館								
所在地	〒870-0843 大分市大字大分4257番地の1								
電 話	097-544-5011	FAX	097-544-5011						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日(土・日曜日の場合開館) 年末年始(12/28~1/4)								
概 要	国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。平成20年4月開館。 平成28年度入館者数 <table border="1"> <tr> <td>団 体</td> <td>8,403人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>1,849人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,252人</td> </tr> </table>			団 体	8,403人	個 人	1,849人	合 計	10,252人
団 体	8,403人								
個 人	1,849人								
合 計	10,252人								

施設名	帆足本家酒造蔵								
所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の1								
電 話	097-597-4649	FAX	097-597-4649						
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28~1/4)								
概 要	江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。(大分市指定文化財) 平成28年度入館者数 <table border="1"> <tr> <td>団 体</td> <td>2,023人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>6,135人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,158人</td> </tr> </table>			団 体	2,023人	個 人	6,135人	合 計	8,158人
団 体	2,023人								
個 人	6,135人								
合 計	8,158人								

(4) 指定・選択文化財

平成29年4月1日現在

① 国指定

ア 重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
太刀	八幡	柞原八幡宮	昭25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
太刀	〃	〃	〃	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	〃
薙刀直し刀	〃	〃	〃	銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅造仏像	〃	〃	〃	社伝 阿弥陀如来立像金剛仏 重さ11.25kg 像高30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大山寺	昭50.6.12	榿材 像高 87.7cm	平安時代
後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り 茅葺	江戸時代
白壇塗浅葱系威腹巻付兜・大袖・小具足	八幡	柞原八幡宮	昭55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平3.6.21	文保2(1318)康俊作 檜材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料(213通) 元和7年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆足家伝来田能村竹田関係資料	美術館	大分市	平6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
柞原八幡宮	八幡	柞原八幡宮	平23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治

イ 史跡

豊後国分寺跡	国分	大分市	昭8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭58.9.8 昭61.5.28)	奈良時代
大分元町石仏	元町	〃	昭9.1.22	日羅または仁聞の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高瀬石仏	高瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千代丸古墳	宮苑	〃	昭9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
築山古墳	本神崎	八幡神社	昭11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
古宮古墳	三芳	大分市	昭58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	終末期古墳(7世紀)
亀塚古墳	里	〃	平8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
大友氏館跡	顕徳	〃	平13.8.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方二町(200m四方)	戦国時代
横尾貝塚	横尾	〃	平21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

ウ 天然記念物

柞原八幡宮のクス	八幡	柞原八幡宮	大11.3.8	自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	
オオサンショウウオ	神崎	(株)マリス	昭27.3.29	広島市安佐動物公園より譲渡	特別天然記念物

エ 無形民俗文化財(選択)

鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	
-----	----	--------	-----------	---------------------	--

オ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館(旧二十三銀行本店・旧府内会館)	府内町	(株)大分銀行	平8.12.20	鉄筋コンクリート造2階建 スレート及び瓦葺	大正2年(1913)
太田缶詰工場主屋	白木	(株)秀観	平11.6.7	木造2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年(1908)
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	平11.6.7	切妻造の2階建て 外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	平11.6.7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に2つ出入口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17.7.12	木造平屋建一部2階建 瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、棧瓦葺、木造2階建 通り土間をもつ商家建築の形式	明治39年(1908)
帆足家分家住宅「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び塀は棧瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海鼠壁	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海鼠壁 棧瓦屋根の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して建つ寄棟及び入母屋の屋根、共に棧瓦葺	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て、切妻造、棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 引戸口2箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、木造平屋建 下屋北側2間半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ	〃

文 化 財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
帆「足家分家住宅階」松石不老館」裏二宅門	中戸次	個人所有	平17.11.10	寄棟棧瓦葺木造2階建裏木戸中央に1間幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆「足家分家住宅門」松石不老館」	”	”	”	間口は2.7m、棟門の形式棧瓦葺、木造両脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	”
帆「足家分家住宅塀」松石不老館」	”	”	”	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を真壁造、漆喰塗り2箇所格子窓、棧瓦葺屋根	”
帆「足家本家住宅屋」富春本館」家主住宅蔵	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造二階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け 西側に一段高い座敷	慶応元年(1865年)
帆「足家本家住宅蔵」富春本館」家主住宅蔵	”	”	”	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正期
帆「足家本家住宅蔵」富春本館」家主住宅蔵	”	”	”	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正5年頃
帆「足家本家住宅蔵」富春本館」家主住宅蔵	”	”	”	木造二階建 寄棟造棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風	大正5年(1916)
帆「足家本家住宅蔵」富春本館」家主住宅蔵	”	”	”	木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に八畳座敷 書院風のつくり	昭和12年(1937)
帆「足家本家住宅門」富春本館」家主住宅門	”	”	”	質蔵と洋館の間に建つ 二間幅の棟門 木造切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀	江戸末期
帆「足家本家住宅門」富春本館」家主住宅門	”	”	”	主屋式台玄関の西側 間口一間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁	江戸末期
帆「足家本家住宅門」富春本館」家主住宅門	”	”	”	主屋南側の庭の南側と西側を囲い、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な七間堂	嘉永2(1849)
浄土寺庫裏	”	”	”	木造2階建寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	”	”	”	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁才天石宮	”	”	”	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造	明治44年(1911)
浄土寺一伯公廟	”	”	”	木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平忠直の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	”	”	”	木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	”	”	”	木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年(1925) 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
植木家住宅離れ	”	”	”	入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和4年(1929)
植木家住宅離れ控えの間	”	”	”	庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する	昭和4年(1929)

② 県指定

ア 有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35.3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	”	”	”	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる文明2年(1470)	室町時代
託摩文書	大分市歴史資料館	個人所有	”	合計11巻 286点の文書 嘉永元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～江戸時代初期
都甲文書	大分県立先哲史料館	個人所有	”	合計4巻 90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長5年	戦国時代
刀	田尻	個人所有	昭40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
刀	府内町	個人所有	昭43.3.29	銘 平鎮教 長さ 81.6cm	戦国時代(永禄年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44.3.22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45.3.31	” ” 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
木造女神形坐像	”	”	”	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	”	”	”	” ” 像高 46.6cm	”
木造祖師形坐像	”	”	”	” ” 像高 54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	”	”	”	” ” 像高 78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	”	”	”	” ” 像高 76.9cm	”
紙本著色由原八幡宮縁起絵巻附極書二通	”	”	”	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増老阿含経	”	”	”	11紙 縦34cm、横64.2cm 文和4年(1355)に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	”	”	”	銘 元和八年中川秀征(岡藩2代藩主)寄進	江戸時代初期
紙本著色厩図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46.3.23	土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	”	”	”	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
刀	千代町	個人所有	昭49.3.19	銘 藤原統行 平成16年6月21日所有者変更による	
太刀	羽屋	個人所有	昭51.3.30	銘 豊後国行平 (豊後刀の逸品である)	鎌倉時代
安藤家刀	横尾	個人所有	昭54.5.15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	
中間石幢	志津留	共有	昭55.4.8	造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立	室町時代
万年橋	寒田	西寒多神社	昭55.4.8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺木造積迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57.3.30	檜材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
豊後国諸検地帳	大分県立先哲史料館	大分県	昭57.3.30	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲史料館	安土桃山時代～江戸時代初期
太刀	坂ノ市	個人所有	昭63.3.15	「豊州之住人直宗作 応永十八年□月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平9.3.25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10.3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10.3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森 町	専 想 寺	平11.3.23	1 幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	1 軀	鎌倉時代
巴形銅器	埋蔵文化財センター	大分県	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺(7棟)	本神崎	教尊寺	平11.3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
刀	常 行	個人所有	平13.4.3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀	森 町	個人所有	平13.4.3	銘文 平長盛 平成19年7月24日 所有者変更で白杵市より	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八 幡	大 山 寺	平14.3.29	樟材一木造 像高 273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永 興	臨 濟 寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18年5月18日所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16.3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃
早吸日女神社家(小野家住宅)	〃	〃	〃	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓群(7号墓出土品)	埋蔵文化財センター	大分県	平17.3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像(愛宕地蔵)	青 石	妙蔵寺保存会	平17.3.30	像高81.5cm、材質檜、寄木造、彫眼、漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18.3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢 家	法 専 寺	平18.3.31	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19.3.30	総高16.3cm像高15.1cm銅鑄造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳
大志生木宝篋印塔	十 谷	西岡神社	平21.3.17	應安六年癸丑六年(1373)の銘。「塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共 有	平24.3.13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平26.2.14	白杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	歴史資料館	大分市	平28.2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松 岡	長 興 寺	平28.2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
高野山本覚院文書	大分県立先哲史料館	大分県	平29.3.7	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平I遺跡出土石器群	埋蔵文化財センター	大分県	平29.3.7	大分市横尾字一方平から出土した石器群。石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	埋蔵文化財センター	大分県	平29.3.7	大分市田室町古墳時代の堅穴住居跡から出土、龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期前半
中世大友府内町跡出土キリシタン関係遺物	埋蔵文化財センター	大分県	平29.3.7	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリスト教関係資料。	戦国時代(16世紀後半)

イ 史 跡

丑 殿 古 墳	賀 来	丑 殿 神 社	昭30.5.28	横穴式石室 家形石棺(昭和47年保存施設)	古墳時代後期
脇 蘭 室 墓	鶴 崎	大 分 市	昭32.3.26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34.3.20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	大 手 町	大 分 市	昭38.2.15	石垣、土堀、堀、櫓2、櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑	大 手 町	共 有	昭41.3.23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口 戸	個人所有	昭44.3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴 崎	大 分 市	昭45.3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円 寿 寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今 市	大 分 市	昭47.3.21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬萊山古墳	庄ノ原	共 有	昭56.3.31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常 行	共 有	昭62.6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭和36年3月14日指定後地番誤記判明昭和62年6月29日再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松 岡	大 分 市	平23.2.29	方墳3 円墳2 前方後円墳1 保存状態良好	古墳時代

ウ 無形民俗文化財(選択)

賀来神社卯酉の神事	賀 来	共 有	昭33.3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴 崎	鶴崎おどり会	昭56.3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

文 化 財

エ 天然記念物

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
高島のピロウ自生地	高 島	大 分 県	昭30.5.27	1 株	
高島のウミネコ営巣地	”	”	”	400羽程度 5月～8月中旬に営巣	

③ 市指定

ア 有形文化財

熊野権現縁起絵巻	津 守	熊野神社	昭49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
神 庫	寒 田	西寒多神社	”	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修 (西寒多神社境内)	室町時代
鳥 居	王子町	王子神社	”	寛政8年(1796) 2月建立(王子神社境内)	江戸時代
刀 (大・小)	府内町	個人所有	”	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	歴史資料館	大 分 市	”	表銘 豊府家土神丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年戊戌2月 日任望角幸安殿 天保9年(1838)	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円 寿 寺	昭51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉時代～室町時代
大般若経本附納函	大分県立先哲史料館	”	”	寛正4年(1463) 寄進	室町時代
御 城 下 絵 図	歴史資料館	大 分 市	昭56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国 分	国 分 寺	”	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金 池	万 寿 寺	昭56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
紙本着色隠元・木庵・即非三幅対像附絹本淡彩蘆葉達磨図	田 室	長 福 寺	昭62.3.20	黄檗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年(1661)製作	江戸時代
波奈之丸屏風(厳島神社図)	歴史資料館	個人所有	平2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東 鶴 崎	劔 八 幡 社	平3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三 佐	野 坂 神 社	”	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	”
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥 栄 神 社	平6.2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆 足 本 家 酒 造 蔵	中 戸 次	大 分 市	平11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正
脇 指	府内町	個人所有	平16.3.31	銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日(1368)	南北朝時代
刀	森 町	個人所有	平16.3.31	銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日(1655)	江戸時代初期
刀	永 興	個人所有	平16.3.31	銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 [府内國重]とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太 田	個人所有	平17.3.31	桧材 寄木造 像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵 良	西 福 寺	”	桧材 寄木造 像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本 町	福 城 寺	”	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今 市	安 楽 寺	”	銅製の像 像高26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	”	丸山八幡神社	”	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
木造地藏菩薩立像(愛宕地藏)	本神崎	八 幡 神 社	”	像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大 平 文 書	大 平	個人所有	”	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される	江戸時代～明治時代
若 林 文 書・系 図	大分県立先哲史料館	個人所有	”	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐 賀 関	早吸日女神社	平17.9.27	寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	”	”	”	文政10年(1827)以降、元の半分規模で現在地に移築 大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	”	”	”	宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	”	”	”	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や面材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西 谷 橋	大 平	大 分 市	”	文政7年(1824)甲申3月白杵大野の石工、新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵 良	西 福 寺	平17.3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本 町	福 城 寺	”	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	”	”	”	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入 蔵	個人所有	”	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺 石 幢	摺	個人所有	”	総高226cm 八角形	戦国時代
原 村 石 幢	原 村	個人所有	”	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地 福 寺 宝 塔	福 宗	地 福 寺	”	2基並立 向かって右184cm、左176cm	室町時代中期
地 福 寺 石 幢	”	”	”	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑(3基)	新 町	個人所有	”	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹 屋	個人所有	”	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代
靈 山 寺 山 門	岡 川	靈 山 寺	平19.8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禪宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
常楽寺文書	岡川	常楽寺	平19.8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19.8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉢	横尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠2個 精巧な鑄上がりで埋納されていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈	歴史資料館	銅戈・大分市石戈・個人所有	〃	銅戈は、細形銅戈で我が国初期鑄造品石戈は、遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土 青銅破鏡	歴史資料館埋蔵文化財センター	大分市	〃	漢鏡	弥生時代後期～後期終末
原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮き彫りにしている。	室町時代
大分市内出土 青銅器	歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナ、小銅鐸	弥生時代中期～後期
「天長九年尼寺」「尼寺」墨書土器3点	歴史資料館	大分市	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	歴史資料館	大分市	平26.3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平27.7.3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した、大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	歴史資料館	松栄神社	平27.12.25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中島	個人所有	平27.12.25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関する文書	室町時代～明治時代
立小野区有文書	歴史資料館	立小野区	平29.3.9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし、「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和
木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片島	片島下区	平29.3.9	松材の寄木造で、単純な衣文、ふくよかな童顔をしており、15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない。	室町時代

イ 史跡

大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49.1.9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代 延享元年(1744)以降 平成19年6月4日所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7.2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平17.3.31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～ 江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

柞原太鼓	八幡	保存会	昭54.6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流伊与床神楽	端登	神楽社	平12.6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下原	神楽社	平18.3.7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～
二目川百手まつり	横尾	保存会	平25.1.11	毎年1月20日に開催。豊の上ですわって、的に矢を放つ。	江戸時代～

エ 無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平23.12.19	長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来 の古い技術。	
-----------	-----	-------	-----------	-------------------------------------	--

オ 無形民俗文化財(選択)

羽田神楽	羽田	大分社	平17.9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる(選択)	昭和45年～
------	----	-----	----------	--	--------

カ 有形民俗文化財

鱈網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鱈網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている(342点)平成19年2月8日大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

キ 天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭49.1.9	希少種とされている (霊山寺境内)	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り 東西約24m、南北約5mの範囲で広がる(西寒多神社境内)	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m 樹冠の広がり東西約33m南北45m(八幡社境内)	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平2.9.12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

3 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1
 電話 549-0880
 FAX 549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適應した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和62年4月 開館
 敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
 延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

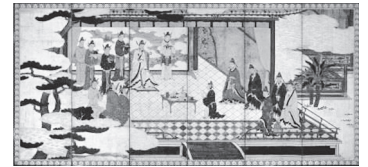
- ① 1階ホール
 豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内。
- ② 常設展示室
 第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。
 第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内
 民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。
- ③ テーマ展示室
 常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示。
- ④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー
 子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。
- ⑤ 豊後国分寺跡の散策
 七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を迫体験

しながらの散策が楽しめる。

(4) 企 画 展（平成29年度）

- ① 第36回特別展
 「威信の舞台 -よみがえる大友館-」
 会期 10月27日（金）～12月4日（月）
 （開館日数：34日）

内容 平成10年から始まった大友氏館跡の発掘調査では、外郭に土居や築



伝狩野永徳「帝鑑図屏風」

地などを廻らした200m四方の広大な館跡をはじめ、戦国大名では類例をみない大規模な書院式庭園遺構や、礎石をともなった大型の主殿跡などが発見されている。本展示では、これまでの発掘調査や文献資料の研究成果をもとに、大内氏や三好氏などの他大名の館跡との比較を交えながら、宗麟によって建設された大友館の実像に迫る。

- ② テーマ展示（平成29年度）

- 第1回「子どもたちの天神人形」
 会期 4月29日（土）～6月25日（日）
 内容 平成28年度に大分市の和田富成氏から寄贈を受けた郷土玩具コレクションより、土人形・張子人形・土鈴など多岐に渡り、その姿や大きさも様々な天神人形にスポットをあて紹介する。

- 第2回「資料館で“たのしい”自由研究」
 会期 7月22日（土）～9月24日（日）
 内容 主に夏休み期間中の小中学生を対象に、7つのテーマを設定。テーマのカギとなる資料や自由研究の進め方を紹介し、観覧者がテーマ展会場を中心に関連の常設展や現地調査箇所を巡りながら、自由研究を進める体験型の展示を行う。

- 第3回「大分の刀剣」
 会期 1月27日（土）～4月2日（月）
 内容 刀剣の世界では大分市の高田地域が中世以降の刀剣の一大産地として知られているが、現在に受け継がれていないことなどもあり、この地域の文化「刀剣」に対する関心は高いとは言えない。本展示では、日本美術刀剣保存協会大分支部の協力を得て、豊後刀を含む大分ゆかりの刀剣を紹介する。

- ③ まちかど歴史展示館
 大分の歴史や民俗・文化財を紹介するパネルを中心とした移動展示を行う。

(5) 各種講座（平成29年度）

講座名	期間（開催日時）	定員	内 容	備考
ふるさとの歴史再発見 ・考古のコース	4月～6月 計5回	70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見 ・歴史のコース	7月～9月 計5回	70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・民俗・文化史のコース	11月～12月 計4回	70名	大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・古文書のコース	1月～3月 計5回	70名	中・近世文書の解説	有料
ふれあい歴史体験講座 （親子と一般）	原則毎月第1・3土曜日 午前9時30分～と 午後2時～の2回	各70名	管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土埴輪作り/和紙作り/土偶作り/土の鈴作り/かご編み/土面作り/折り紙雛作り/織り物	有料
			火起し	無料
昔のおもちゃで遊ぼう （親子と一般）	5月5日（金）こどもの日 午前9時～午後4時	なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で遊ぶ	無料
勾玉作り教室 （親子と一般）	7月29日（土） 11月25日（土） 午前9時～午後1時～	なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する	有料
夏休みジュニア歴史探険 （小4～中学生）	8月4日（金） 午前9時30分～午後3時30分	30名	小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探険などの活動を実施する	有料
歴史教育研修 （小中学校教職員対象）	6月13日（火）、22日（木）、27日（火） 午後5時30分～午後7時 7月26日（水）、8月18日（金） 12月26日（火） 午前9時～12時	応募	館内見学/体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各70名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各1回開催	無料

(6) 利用状況

① 利用者数

年度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平成24年度	7,196	14,010	7,138	14,681	43,025
平成25年度	7,346	14,230	8,731	15,351	45,658
平成26年度	9,105	14,355	8,309	13,946	45,715
平成27年度	10,148	11,197	9,832	14,682	45,859
平成28年度	12,273	9,327	10,595	13,754	45,949

② 利用状況（平成28年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大人	7,787	4,486	4,998	4,399	1,198	22,868
中高生	76	184	2,472	8,292	2,990	23,081
小学生	869	8,198				
合計	8,732	12,868	7,470	12,691	4,188	45,949

③ 各種講座参加者数（平成28年度）

講座名	延回数	参加者数	
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	5回	213人
	歴史のコース	5回	243人
	民俗・文化史のコース	4回	182人
	古文書のコース	5回	271人
ふれあい歴史体験講座	18回	1,279人	
昔のおもちゃで遊ぼう	1回	484人	
勾玉作り教室	2回	504人	
ジュニア歴史探険	1回	49人	
展示解説講座	4回	250人	
合計	48回	3,475人	

④ 企画展入館者数（平成28年度）

名 称	期 間	入館者数
第35回特別展 「ほとけの王国 -大分の仏像-」	10月21日（金）～11月27日（月） （開館日数 32日間）	6,278人
記念講演 「仏教紙芝居-ほとけの世界とその意味-」	11月6日（日）	246人
テーマ展示Ⅰ 「ハレの日の酒」	4月30日（土）～6月26日（日） （開館日数 50日間）	2,349人
テーマ展示Ⅱ 「いにしえの美 館蔵古美術」	7月23日（土）～9月25日（日） （開館日数 54日間）	3,219人
テーマ展示Ⅲ 「THE府内古図 中世豊後府内のまち」	1月28日（土）～4月3日（月） （開館日数 57日間）	4,451人
まちかど歴史展示館	8月17日（水）～29年3月23日（木） 市内12か所に設置	8,316人

(7) 調査研究（平成28年度）

- ① 平成28年度（第35回）特別展調査
平成28年度の特別展「ほとけの王国 大分の仏像」の予備調査を大分県立歴史博物館、中津市歴史民俗資料館などで行った。
- ② 平成29年度（第36回）特別展調査
平成29年度の特別展「威信の舞台 よみがえる大友館」の予備調査を徳島県藍住町教育委員会、大阪歴史博物館、山梨県立博物館などで行った。
- ③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査
資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集（平成28年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成28年度の実績は以下のとおりである。

- ① 購入資料
 - ・相良晴広書状 1巻
 - ・古代飾 1巻
 - ・ミャンマー白釉盤 1点
- ② 寄贈資料
 - ・海軍兵学校制服など戦争関係資料 4件
 - ・繭糸の分銅や郷土玩具コレクションなど民俗資料 7件

(9) 刊行物（平成28年度）

- ① 資料館ニュース NO.112～114
- ② 平成28年度（第35回）特別展図録・ポスター・チラシ
- ③ 平成29年度 大分市歴史資料館総合案内

④ 文化財だより2016年度号（歴史資料館特別展特集）

⑤ 史跡公園パンフレット

(10) 利用案内

- 開館時間 午前9：00～午後5：00
（入館は午後4：30まで）
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- 観覧料 大人 200円（団体150円）
高校生 100円（団体50円）
中学生以下 無料
- * 団体は20名以上
* 特別展開催中は別料金になることがある
- 講座室 第1講座室 1時間 150円
第2講座室 1時間 100円
- * 一室として利用することも可
* 冷暖房を使用する場合は4割増しとする
- 交通機関 JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

4 大分市美術館

所在地 大分市大字上野865番地
電話 554-5800
FAX 554-5811



(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

(2) 施設の概要

平成11年2月	開館
敷地面積	129,837㎡（公園全体）
建築面積	6,623.51㎡
延床面積	9,085.00㎡
展示室面積	2,097.81㎡
構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造2階建

(3) 収集方針

- ① 豊後南面をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) コレクション展（常設展）（平成29年度）

展示室1～4では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（展示室2は6回）の展示を行う。

展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室2 近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室3 佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。

展示室1～4 [サマー企画] アート・ワンダーランド2017を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。



展示室1

大分市美術館

会 期	展示室 1	展示室 2	展示室 3	展示室 4
平成29年 4月1日(土) ～4月9日(日)	風景画の魅力 岩澤重夫・箱崎睦昌 を中心に	田能村竹田と首藤雨郊	60年代の若き大分の 作家たち	景色を想う
4月11日(火) ～7月9日(日)	京都画壇と大分	魚をめぐる絵画 ～5月28日(日) 5月30日(火)～ 田能村直入	風景を描く	暮らしの中の工芸
7月11日(火) ～9月24日(日)		[サマー企画] アート・ワンダーランド2017 ぼくも わたしも がくげいいん		
9月26日(火) ～30年1月8日(月)	所蔵日本画精選	雪月花 ～11月12日(日) 11月14日(火)～ 中国絵画の楽しみ	静物を描く	紫竹の美
平成30年 1月10日(水) ～4月8日(日)	日本画・版画の人物 表現	松竹梅 ～2月25日(日) 2月27日(火)～ 美人画の魅力	人物を描く	竹の生命

(5) 特別展 (平成29年度)

展 覧 会 名	会期・開館日数	内 容
CIAO ! 2017 ようこそ上野の森へ	平成29年 4月14日(金)～ 5月7日(日) 22日間	大分のアートシーンに刺激を与え、魅力のある活動を展開するアーティストたちの絵画、イラストレーション、インスタレーションなどを紹介する展覧会。
生頼範義展	5月13日(土)～ 7月2日(日) 45日間	文化庁映画賞功労賞、日本SF大賞功績賞、星雲賞アート部門賞などを受賞したイラストレーター生頼範義(1935～2015)のスター・ウォーズシリーズ、平成ゴジラシリーズなどの話題作をはじめとする約220点により、その芸術世界を紹介する展覧会。
ダンボールアート遊園地 大分をあそぼう!	7月11日(火)～ 9月3日(日) 54日間	2012年に大好評を博した、ダンボール王 岡村剛一郎のダンボールアート展の第2弾! 今回のテーマはずばり「大分」。わがまち大分の歴史、自然、文化のみどころを、遊べるダンボールアートで表現し会場いっぱいに展開する。家族みんなで楽しめる展覧会。
奇才・ダリ展	9月14日(木)～ 10月29日(日) 41日間	シュルレアリスムを代表する画家サルバドール・ダリ(1904～1989)。本展では、ダリの初期から円熟期、さらには晩年までの版画作品を一堂に公開し、従来の版画そのものの価値観を覆したといわれる20世紀最大の奇才・ダリの版画の魅力を紹介する展覧会。
アートフルロード プロジェクト2017 まちなかGO!	11月8日(水)～ 12月3日(日) 23日間	市美術館およびまちなかで作品を展示し、様々なアートイベントを実施する展覧会。
第66回高文連 美術・書道・写真 中央展	12月7日(木)～ 12月17日(日) 8日間	大分県内高等学校(公立・私立)で学ぶ生徒たちが制作した作品(美術・書道・写真)を紹介する展覧会。
第69回 大分県立芸術緑丘高等学校 美術制作展	12月19日(火)～ 12月24日(日) 6日間	県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。
アートたけし展	平成30年 1月5日(金)～ 2月12日(月) 35日間	芸人、映画監督、俳優など、マルチな才能を発揮し活躍を続けるビートたけし(1947～)の、絵画と版画約100点による展覧会。子どものようなピュアな視点で描かれた、ユーモアと色彩あふれる作品世界を紹介する。
第52回大分市美術展	2月23日(金)～ 3月25日(日) 28日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品を公募して紹介する展覧会。

(6) 各種講座・講演会（平成29年度）

講演会

講座名	期日・期間	定員	内容
CIAO！2017 ようこそ上野の森へ	5月3日（水）	80人	アーティストフォーラム

文化・芸術講座

講座名	期日・期間	定員	内容
キャンドルアート「原石キャンドル-宇宙のかげら」	7月1日（土）	15人	アートキャンドルの制作
多肉植物のおうち寄せ	10月21日（土）	20人	多肉植物の寄せ植え
「食べるだけではもったいない！」 -ピールアート	12月2日（土）	20人	ピールアートのお話と制作体験
アートカレッジ 「大分市美術館をさらに楽しむ」	6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、10月5日 11月2日 全て（第1木）	80人×6回	美術に関する講義と展覧会解説受講

子どものための講座

講座名	期日・期間	定員	内容
ゴールドデンウィーク美術教室	4月29日（土）	40人	指でクルクル チョークでアート！
	4月30日（日）	40人	キラキラ 色水遊び
夏の美術教室	6月10日（土）、11日（日）	40人×2回	不思議な絵の具でシールを作ろう
夏の子ども講座 （12日、計14回）	7月15日（土）、16日（日）	40人×2回	コロコロぴかぴか☆どろだんご
	7月22日（土）、23日（日）	40人×2回×2日	けしごむハンコで作るてぬぐい
	7月29日（土）、30日（日）	40人×2回	ダンボールで遊ぼう！～等身大の自分をつくる～
	8月5日（土）、6日（日）	40人×2回	はりこの犬
	8月19日（土）、20日（日）	40人×2回	木になる粘土で鉛筆づくり
	9月9日（土）、10日（日）	40人×2回	大切な人への贈り物 ～アイロンビーズでコースター～
美術館で紙芝居	8月18日（金）、25日（金）	—	大分の作家の紙芝居上演
秋の美術教室	10月14日（土）	40人	ダリに変身！
冬の美術教室	12月9日（土）	40人	カラフル♡羊毛フェルトソープ
ちびっこ工作ルーム	10～3月第1金曜日	—	未就学児童とその保護者対象のボランティアによる工作教室
美術館出前教室	10月～12月実施	—	市内小中学校における鑑賞教室

市民との協働講座等

講座名	期日・期間	定員	内容
美術館ボランティア研修講座	年6回	97名×6回	美術館で活動しているボランティアの研修
美術館ボランティア養成講座	年6回	20名×6回	美術館で活動する新規ボランティアの研修
美術館で音楽会	11月11日（土）・18日（土）・ 23日（木・祝）・25日（土）・ 12月3日（日）	80名×2回×5日	応募者による演奏会
「コレクション展案内」	毎月第2土曜日	—	ボランティアによるコレクション展案内
「第1月曜日は 美術館で楽しもう！」	4月～2月（1、3月除く） の第1月曜日	—	ボランティアによるワークショップ
出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

(7) 美術館ボランティア

概略

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に係わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



ワークショップを行うボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

(8) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、常設展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

(9) 利用状況（平成28年度）

① 観覧者
総観覧者

区分	常設展	特別展	計
一般	49,291人	97,281人	146,572人
高・大生	2,616	4,981	7,597
小・中生	42,741	42,753	85,494
計	94,648	145,015	239,663

特別展観覧者

展覧会名	期間	観覧者
大分のアートシーンCIAO！ “進世代”の胎動	平成28年4月14日 ～5月8日	6,135人
画業20周年 片岡鶴太郎展 還暦紅	5月13日 ～7月3日	29,902
チームラボアイランド 踊る！美術館と、学ぶ！ 未来の遊園地	7月15日 ～9月25日	79,645
まちなかアート遊園地	9月30日 ～10月2日	1,038
ミュシャ展	10月8日 ～12月4日	16,993
第65回高文連 美術・書道・写真 中央展	12月8日 ～12月18日	1,878
第68回大分県立芸術緑丘 高等学校美術制作展	12月20日 ～12月25日	1,232
郷土在住作家展X 鈴木忠実展	平成29年1月11日 ～1月29日	1,756
郷土在住作家展X 高木岩義展	2月2日 ～2月19日	1,960
第51回 大分市美術展	3月3日 ～3月26日	4,476
計	264日	145,015

② 研修室

利用件数	利用者数
45 件	1,806 人

(10) 利用案内

開館時間 午前10:00～午後6:00（入館は午後5:30まで）
 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
 ※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。）

年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料 コレクション展（常設展）
 一般 300円（団体250円）
 高・大学生 200円（団体150円）
 小・中学生 無料
 障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免
 ※団体は20名以上
 特別展

その都度決定（コレクション展（常設展）と共通）

研修室 使用料 1時間 1,080円
 ※冷暖房を使用する場合は4割増しとする。

■交通機関

バス 「大分駅上野の森口」乗り場から「大分市美術館」行き約7分。
 タクシー JR大分駅上野の森口（南口）から約5分。
 車 大分自動車道／大分ICから約10分。



「遊星散歩（安藤 泉作）」

5 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号
 電話 538-5000
 FAX 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 施設の概要

① 沿革

昭和41年（1966）5月 大分県立大分図書館（磯崎新氏設計）として竣工
 昭和42年（1967） 日本建築学会賞受賞
 昭和43年（1968）4月 日本建築年鑑賞受賞
 平成6年（1994）8月 大分県立大分図書館新築移転のため閉館
 平成7年（1995）4月 大分市が無償貸与を受ける
 平成10年（1998）2月 アートプラザ開館
 平成19年（2007）4月 指定管理者制度を導入

② 概要

敷地面積 3,686.7㎡
 建築面積 1,599.94㎡
 延床面積 4,081.55㎡
 構造 鉄筋コンクリート造
 地下1階地上3階

(3) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
民間事業者の有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。
- ② 指定管理者
アートプラザ共同事業体
- ③ 指定期間
平成28年4月1日～平成31年3月31日

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

- (ア) アートホール（2F）
文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。
- (イ) ギャラリーA・B（1F）
主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。
- (ウ) 研修室（2F）
芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。
- (エ) 実技室（2F）
比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116m	5.14m	250人
ギャラリーA	236㎡	78m	2.85m	
ギャラリーB	102㎡	46m	2.85m	
研修室	79㎡		4.66m	70人
実技室	77㎡		4.66m	20人

- ・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
- ・実技室には1.8m×0.9mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務（3F及び2F 60'sホール）

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

イ 現代美術作品常設展示業務（2F 60'sホール）
1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ

「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の9つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。



展示室3



60'sホール

(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで（ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～1月3日）を除く全日

③ 使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房 期間中料金
アートホール(427㎡)	1日(9時～22時)9,770円	13,670円
	1時間 1,180円	1,650円
研修室 (79㎡)	1時間 710円	990円
実技室 (77㎡)	1時間 210円	290円
市民ギャラリー(338㎡)	1日(9時～22時)7,710円	10,790円
A室(236㎡)	1日(9時～22時)5,400円	7,560円
B室(102㎡)	1日(9時～22時)2,310円	3,230円

磯崎新建築展示室	観覧無料
----------	------

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

■の部分 は 冷暖房期間です。

④ 受付方法

- ・使用日の属する月6ヶ月前から、受付を行う。
ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3ヶ月前から受付を行う。
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後6時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

(平成28年度)

項目	市民ギャラリーA	市民ギャラリーB	アートホール	実技室	研修室
利用日数	291	333	297	318	307
利用率(%)	81	93	83	89	86

1 教育委員会の沿革

年月日	で き ごと
昭38. 3.10	大分市、鶴崎市、大南町、大分町、大在村、坂ノ市町の6市町村合併 事務局機構：旧大分市教育委員会事務局を新事務局とし、その他の5市町村教委事務局を出張所1、連絡所4に設置替え
昭39.12.25	大分市青少年センターを開設
昭41. 4. 1	大分市立丹生幼稚園設置
昭43. 6.10	大分高等職業学校開設
昭44. 3.31	大分市立下戸次小学校廃校
4. 1	大分市立城南小学校設置 大分市立鶴崎幼稚園設置
昭45. 4. 1	大分市立坂ノ市幼稚園設置 学校給食上野共同調理場設置
5.19	教育委員会事務局移転（荷揚町2番36号）
昭46. 4. 1	大分市立明野西小学校設置 大分市立城南が丘幼稚園設置
7. 1	機構改革 管理課に施設係を設置 秘書課を庶務課に、保健体育課を体育保健課にそれぞれ課名変更 市長部局より青少年センターを移設 大分公民館設置
昭47. 3.31	大分市立川添小学校広内分校廃校 大分市立判田小学校百木分校廃校
4. 1	大分市立明野東小学校設置 大分市立敷戸小学校設置 大分市立明野中学校設置
11. 6	鶴崎公民館設置
11.16	大分市霊山青年の家設置
昭48. 3.28	教育委員会事務局移転（今津留1312番地の179）
4. 1	大分市立津留幼稚園設置
昭49. 4. 1	大分市立住吉幼稚園設置 大分市立戸次幼稚園設置 大分市立豊府小学校設置
6.24	移動図書館開設 大分市営温水プール設置
昭50. 4. 1	大分市立明野北小学校設置 大分市立宗方小学校設置 大分市立植田東中学校設置 大分市立豊府幼稚園設置 大分市立桃園幼稚園設置 大分市立明治幼稚園設置 大分市立松岡幼稚園設置 大分市立宗方幼稚園設置 大分市立植田幼稚園横瀬分園設置
10.15	大分市立うすき少年自然の家設置
昭51. 4. 1	機構改革 社会教育課に文化財係を設置 大分市立大分高等専修学校設置 大分市立森岡小学校設置 大分市立舞鶴小学校設置 大分市立城南中学校設置 大分市立明野幼稚園設置 大分市立三佐幼稚園設置 大分市立高田幼稚園設置 大分市立判田幼稚園設置 大分市立敷戸幼稚園設置
昭52. 4. 1	大分市立横瀬小学校設置 大分市立舞鶴幼稚園設置 大分市立横瀬幼稚園分園より独立
8. 1	教育委員会事務局組織規則の制定
10. 5	教育委員会事務局移転（荷揚町2番31号市庁舎8階）
昭53. 4. 1	機構改革 同和教育室を設置 大分市立寒田小学校設置 大分市立植田西中学校設置 大分市立森岡幼稚園設置 大分市立寒田幼稚園設置
8. 1	大分市移動図書館センター開館
10. 5	学校給食植田共同調理場設置
昭54. 4. 1	大分市立篤野小学校設置 大分市立別保幼稚園設置
5.12	植田公民館設置
5.22	大分市視聴覚センター設置
8. 1	大分市教育相談センター開設
昭55. 4. 1	大分市立田尻小学校設置
4.12	大道幼稚園及び大道公民館焼失
10. 1	大道幼稚園焼失に伴う新園舎完成

年月日	で き ご と
昭56. 3.31	大道公民館設置
4. 1	大分市立荏隈小学校設置 大分市立原川中学校設置
4.25	大南公民館設置
6.12	大分市立大東中学校新築移転
昭57. 4. 1	大分市立竹中中学校新築移転 大分市立植田南中学校設置
昭58. 4. 1	大分市立明治北小学校設置 学校給食明野共同調理場設置
6. 1	機構改革 管理課を理財課に課名変更、同課庶務係を管理係に係名変更
昭59. 2. 1	大分市営陸上競技場全天候型に改修
4. 1	大分市立川添小学校新築移転 大分市立長浜小学校全面改築
4.27	坂ノ市公民館新築移転
7. 1	機構改革 文化財係廃止、文化財室を設置
昭60. 3.26	大分市立戸次小学校大規模改築 大分市立坂ノ市中学校大規模改築
4.20	大在公民館新築移転
6. 8	移動式屋根プール「畑中公園運動施設プール」開設
10. 9	毛利空桑遺品館完成
昭61. 3.25	大分市立丹生小学校増改築
6. 7	コンパルホール開館 大分西部公民館設置
昭62. 3.18	大分市立川添小学校増築
4. 1	大分市立大分西中学校設置
4.15	歴史資料館開館
5.11	グリーンカルチャーセンター開館
昭63. 1. 1	大分市立養護学校を大分県に移管
4. 1	大分市立東陽中学校設置 大分市立横瀬西小学校設置
4.28	南大分公民館新築移転
10. 6	明治明野公民館設置
平元. 4.18	グリーンカルチャーセンターに市民体育館設置
平 2. 4. 1	大分市立神崎小学校新築移転
平 3. 3.31	白杵藩丹生原組庄屋池見家住宅移築
4. 1	大分市立西の台小学校設置 畑中体育館設置
平 4. 3.31	大分市立河原内小学校廃校
4. 1	畑中体育館を南大分体育館に名称変更
10. 7	大分南部公民館設置
平 5. 2.10	大分市立三佐幼稚園及び大在幼稚園全面改築
4. 1	機構改革 文化振興課、スポーツ振興室新設、社会教育課を生涯学習課に課名変更 コンパルホール、大分文化会館、平和市民公園能楽堂を文化振興課の所管とする
平 6. 1.28	大分市立丹生幼稚園全面改築
2. 4	大分西部公民館改築
5.12	大分市立のつはる少年自然の家設置
7.21	日吉原レジャープールオープン
11.25	大分市視聴覚センターに「磯崎新コーナー」を設置
平 7. 4. 1	市営陸上競技場・南大分スポーツパークグラウンドに夜間照明設備完成 大分市教育相談所開設
7.21	大分市営温水プール改修
4. 1	機構改革 美術館建設準備室新設 河原内陶芸楽習館開館
平 9. 4. 1	中核市に移行 大分市公共施設案内・予約システム開始
平10. 2. 1	アートプラザ開館
4. 1	機構改革 文化振興課廃止、文化財室、市民図書館は生涯学習課の所管、コンパルホール、 大分文化会館、平和市民公園能楽堂は文化国際課の所管とする 幼稚園整備室新設

年月日	できごと
平10.10.17	第13回国民文化祭・おおいた98開催（～26日）
12. 1	美術館建設準備室廃止、大分市美術館新設
平11. 2.17	大分市美術館開館
平12. 3.31	大分市立大分幼稚園廃園 大分市立日岡幼稚園廃園
4. 1	機構改革 文化財室廃止、文化財課新設、歴史資料館は文化財課の所管とする
4.28	大分市海部古墳資料館開館
8.13	「大友氏遺跡」が国の史跡に指定される
平13. 4. 1	大分市立下郡小学校設置 大分市立舞鶴幼稚園2年制保育試行 機構改革 事務局制廃止、教育総務部・学校教育部の2部制新設 大分市青少年センター廃止 青少年課を新設 うすき・のつはる少年自然の家、大分市教育相談所を青少年課の所管とする 市立全小・中学校に学校評議員を配置
平14. 3.31	大分市立長浜幼稚園廃園 大分市立横瀬幼稚園廃園
6.10	2002FIFAワールドカップTM大分開催（試合日：10日、13日、16日）
平15. 4. 1	大分市立松岡幼稚園及び大分市立宗方幼稚園2年制保育試行
4. 6	大分市西部スポーツ交流ひろば開設
9. 2	大分市教職員支援センター開設
平16. 4. 1	機構改革 同和教育室廃止、人権・同和教育課新設 大分市立舞鶴幼稚園、大分市立松岡幼稚園及び大分市立宗方幼稚園2年制保育導入
平17. 1. 1	大分市、佐賀関町、野津原町の3市町合併
4. 1	大分市立大在西小学校設置
6. 9	不登校児童生徒の教室外活動施設一尺屋オレンジルーム開設
平18. 3.31	霊山青年の家廃止
4. 1	機構改革 スポーツ振興課及び学校整備課廃止、教育企画課、スポーツ・健康教育課及び学校施設課新設 美術館管理課及び美術館学芸課廃止、美術館美術振興課新設 幼稚園整備室廃止、子ども教育相談センター新設 視聴覚センターを情報学習センターに名称変更
7. 4	大分市立王子中学校体育館改築（大分国体仕様）
平19. 3.31	大分市立住吉幼稚園及び大分市立鶴崎幼稚園廃園
4. 1	大分市立金池幼稚園及び大分市立高田幼稚園2年制保育導入 大分市賀来小中学校開校 大分市立小中学校の一部で隣接校選択制試行 アートプラザ及び大分市営温水プール指定管理者制度導入
4.24	全国学力・学習状況調査実施（小学6年生、中学3年生）
10. 1	大分市立上野ヶ丘中学校全面改築及び神崎中学校部分改築
平20. 3.31	大分市立八幡幼稚園廃園
4. 1	大分市営陸上競技場及び津留運動公園有料施設指定管理者制度導入 学校問題解決支援チーム設置 幼稚園の専任園長制導入 大分市立春日町幼稚園2年制保育導入
5. 1	大分市公民館長（大分市中央公民館を除く）及びグリーンカルチャーセンター館長に公募制導入
5.30	大分市教育ビジョン策定
8. 1	大分市学校給食東部共同調理場設置 大分市学校給食上野共同調理場及び佐賀関共同調理場の廃止
9.27	第63回国民体育大会「チャレンジ！おおいた国体」開催（10月7日閉会） 大分県が2回目の天皇杯、初の皇后杯を獲得
12.22	大分市立松岡小学校増築及び大分市立松岡幼稚園改築
平21. 2.12	「横尾貝塚」が国の史跡に指定される
3.27	大分市立佐賀関中学校体育館全面改築
3.29	大分市立佐賀関小学校体育館全面改築
3.31	大分市立大道幼稚園廃園

年月日	で き ご と
平21. 4. 1	機構改革 教育総務部及び学校教育部を廃止、教育部を新設 公民館及びグリーンカルチャーセンターの管理・運営業務を市長部局市民部へ移管 大分市立小・中学校隣接校選択制を全市で実施 市立全幼稚園に学校評議員を配置
平22. 3.25	大分市立神崎中学校体育館全面改築
3.31	大分市立大分高等専修学校閉校
4. 1	大分市学校支援センター設置
8. 1	大分市学校給食西部共同調理場設置 大分市学校給食植田共同調理場、明野共同調理場及び野津原共同調理場の廃止
12.15	大分市立大在中学校校舎増改築
平23. 1.17	大分市立賀来幼稚園全面改築
3.31	大分市立野津原中央幼稚園廃園 大分市立野津原西部幼稚園廃園 大分市立今市幼稚園廃園
4. 1	大分市立野津原幼稚園2年制保育導入 のつはるこども園開園
10.31	大分市立滝尾中学校校舎増築
11.30	大分市立大道小学校校舎改築
12.12	大分市立坂ノ市小学校校舎改築
平24. 2.29	大分市教育ビジョンー第Ⅱ期基本計画ー策定
3.28	大分市立荷揚町小学校体育館全面改築
3.31	大分市立三佐幼稚園廃園
4. 1	大分市立竹中中学校二豊学園分校設置 大分市立佐賀関幼稚園2年制保育試行
12.13	大分市立南大分小学校全面改築
平25. 1.25	大分市営陸上競技場改修
3.25	南大分プール改修
3.31	大分市立森岡幼稚園廃園 大分市立丹生幼稚園廃園 うすき少年自然の家廃止
4. 1	埋蔵文化財保存活用センター開設 帆足本家酒造蔵の管理・運営業務を市長部局より文化財課へ移管
12.12	大分市立春日町小学校北校舎増改築
平26. 3.31	大分市立今市小学校廃校
4. 1	機構改革 教育指導課廃止、学校教育課及び児童生徒支援室新設 生涯学習課及び青少年課廃止、社会教育課新設 子ども教育相談センター廃止、大分市教育センター及び教育相談・特別支援教育推 進室新設 大分市情報学習センター指定管理者制度導入 大分市立滝尾幼稚園2年制保育導入 大分市立佐賀関幼稚園2年制保育の試行期間を延長
平27. 1.26	大分市立鶴崎小学校北校舎増改築
3.31	大分市立木佐上小学校廃校
4. 1	大分市立敷戸小学校はばたき分校設置 大分市立植田東中学校はばたき分校設置
5.14	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う新制度に移行 委員長と教育長を一本化した新「教育長」就任
10. 7	大分市立大在中学校北西校舎改築
11.19	大分市立大在小学校南校舎増改築
平28. 2.25	大分市教育大綱策定
3.31	大分市立大志生木小学校廃校 大分市立大志生木幼稚園廃園
4. 1	大分市教育委員会組織条例を制定し、教育委員会を教育長及び5人の委員による組織とする (教育委員の1名増員)

年月日	で き ご と
平29. 2.22	大分市教育ビジョン2017策定
3.31	大分市立荷揚町小学校廃校 大分市立中島小学校廃校 大分市立住吉小学校廃校 大分市立碩田中学校廃校 いまいち山荘廃止
4. 1	機構改革 教育企画課廃止、幼稚園に関する業務を市長部局子どもすこやか部へ移管 市民スポーツに関する事務を市長部局企画部へ移管 スポーツ・健康教育課を体育保健課に課名変更 大分市立碩田学園設置

2 教育委員会会議 (平成28年1月～12月)

第1回(平成28年1月27日)

- 教議第1号 ・ 神崎中学校区適正配置実施計画の策定について
- 教議第2号 ・ 平成28年度大分市学校教育指導方針について
- 教議第3号 ・ 公有財産の取得の申出及び取得後の所管換について
- 教報議第1号 ・ 公有財産の取得について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 平成27年度大分市スポーツ推進審議会について
- 報告事項 ・ おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産シンポジウム～日本遺産登録をめざして～について
- 報告事項 ・ 平成27年度第2回教育行政総合視察について

第2回(平成28年2月24日)

- 教議第4号 ・ 平成27年度3月補正予算について
- 教議第5号 ・ 平成28年度当初予算について
- 教議第6号 ・ 義務教育学校制度の導入にかかる方針決定について
- 教議第7号 ・ 平成27年度未来自分創造資金奨学生決定について
- 教議第8号 ・ 大分市公民館長の任命について
- 教議第9号 ・ 大分市立学校職員の給与に関する条例等の一部改正について
- 教議第10号 ・ 大分市立少年自然の家条例の一部改正について
- 教議第11号 ・ 大分市立幼稚園条例の一部改正について
- 教議第12号 ・ 大分市立幼稚園規則の一部改正について
- 教議第13号 ・ 大分市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正について
- 教議第14号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
- 教議第15号 ・ 野津原中学校区適正配置実施計画の策定について
- 教議第16号 ・ 公有財産の用途廃止について
- 教議第17号 ・ 公有財産の所管換について
- 教議第18号 ・ 大分市子どもの読書活動推進計画(第三次)の策定について
- 報告事項 ・ 平成27年度定期監査結果の報告について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 大分市立こうぎき幼稚園の休園について
- 報告事項 ・ 公有財産有効活用方針について
- 報告事項 ・ 大志生木小学校閉校式の開催について
- 報告事項 ・ 大分県指定有形文化財の指定について
- 報告事項 ・ 都市間連携歴史講座「つながる歴史つながる都市(まち)」について
- 報告事項 ・ 平成27年度大分市美術館美術収集品と平成28年度特別展について

臨時第1回（平成28年2月3日）

- 教議第19号 ・大分市立学校施設管理規則等の一部改正について
- 教議第20号 ・県費負担教職員の人事異動の内申について

臨時第2回（平成28年3月24日）

- 教議第21号 ・教育委員会職員の人事異動について
- 教議第22号 ・大分市立学校職員の通勤手当の支給に関する規則の一部改正について

第3回（平成28年3月30日）

- 教議第23号 ・大分市教育委員会所管事務委任規則及び大分市立学校職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部改正について
- 教議第24号 ・大分市立学校職員の給与の支給等に関する規則等の一部改正について
- 教議第25号 ・市長の権限に属する事務の一部の補助執行に関する協議について
- 教議第26号 ・教育財産の用途廃止について
- 報告事項 ・大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・大分市学校給食西部共同調理場調理等業務委託事業者の選定について
- 報告事項 ・大分市立小中学校教育情報化推進計画について
- 報告事項 ・平成28年第1回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・平成27年度3月補正予算について
- 報告事項 ・平成28年度当初予算について
- 報告事項 ・平成28年第1回市議会定例会における質問・答弁事項について

臨時第3回（平成28年4月18日）

- 教議第27号 ・県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第28号 ・県費負担教職員の処分について

第4回（平成28年4月27日）

- 教議第29号 ・碩田中学校区新設校の校名決定について
- 教議第30号 ・県費負担教職員の処分について
- 教議第31号 ・大分市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 教議第32号 ・大分市美術館協議会委員の委嘱及び任命について
- 教議第33号 ・大分市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 教報議第2号 ・大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第3号 ・大分市スポーツ推進委員の委嘱について
- 教報議第4号 ・大分市スポーツ推進審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第5号 ・大分市学校医等公務災害補償認定委員会委員の任命について
- 報告事項 ・大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・大分市立幼稚園の保育料について
- 報告事項 ・市立幼稚園一時預かり事業の実施について
- 報告事項 ・大分市美術館内レストランについて

第5回（平成28年5月23日）

- 教議第34号 ・大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教議第35号 ・平成28年度6月補正予算について
- 教議第36号 ・大分市立義務教育学校の設置について
- 教議第37号 ・大分市立学校の廃校について
- 教議第38号 ・大分市立義務教育学校設置条例の制定について
- 教議第39号 ・平成28年度大分市奨学生の決定について

- 教報議第6号 ・ 教育財産の用途廃止について
- 教報議第7号 ・ 大分市奨学生選考委員会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第8号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 教報議第9号 ・ 平成27年度補正予算（平成28年3月31日付市長専決処分）について
- 報告事項 ・ 平成28年度行政評価・実施計画について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 武漢市学校交流事業に係る生徒の受け入れについて
- 報告事項 ・ 大分市教育施設整備保全計画の策定について
- 報告事項 ・ 大分市生涯学習推進計画（第三次）の策定について

第6回（平成28年6月29日）

- 教議第40号 ・ 大分市奨学生選考委員会委員の委嘱について
- 教議第41号 ・ 大分市民図書館協議会委員の任命について
- 教報議第10号 ・ 大分市社会教育委員の委嘱及び任命について
- 教報議第11号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- 報告事項 ・ 大分市教育ビジョンの策定について
- 報告事項 ・ 大友宗麟副読本の活用状況と配布について
- 報告事項 ・ 平成28年第2回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・ 平成28年度6月補正予算について
- 報告事項 ・ 平成27年度補正予算（平成28年3月31日付市長専決）について
- 報告事項 ・ 平成28年第2回市議会定例会における質問・答弁事項について

第7回（平成28年7月25日）

- 教議第42号 ・ いまいち山荘の今後の方針について
- 教議第43号 ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- 教議第44号 ・ 平成29年度使用教科用図書採択について
- 教議第45号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第12号 ・ 平成28年度行政評価・実施計画について
- 教報議第13号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 教報議第14号 ・ 大分市スポーツ推進委員の委嘱について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果について
- 報告事項 ・ 大分市宮陸上競技場及び津留運動公園有料公園施設の指定管理者の募集について
- 報告事項 ・ 関崎海星館の指定管理者の募集について
- 報告事項 ・ 大分市情報学習センターの指定管理者の募集について

臨時第4回（平成28年7月27日）

- 教議第46号 ・ 教育委員会事務局職員の処分について
- 協議事項 ・ 教育長職務代理者の指名について

第8回（平成28年8月31日）

- 教議第47号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第48号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第49号 ・ 平成28年度9月補正予算について
- 教議第50号 ・ 平成27年度決算について
- 教議第51号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について

- 教議第52号 ・ 大分市いまいち山荘条例の廃止について
- 教議第53号 ・ 大分市大分東部公民館大会議室棟の新設について
- 教報議第15号 ・ 大分市スポーツ推進審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 旧今市小学校跡地利用に係る公募結果について
- 報告事項 ・ (仮称) 大分市社会教育推進計画の素案について

第9回(平成28年9月28日)

- 教議第54号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 平成28年度9月補正予算について
- 報告事項 ・ 平成28年第3回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・ 平成28年第3回市議会定例会における質問・答弁事項について
- 報告事項 ・ 学校給食調理業務等民間委託の施行実施校の決定について

第10回(平成28年10月26日)

- 教議第55号 ・ 平成28年度県費負担教職員の目標管理(中間評価)及び能力評価について
- 教議第56号 ・ 美術品の購入について
- 教議第57号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 平成29年度当初予算について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について

第11回(平成28年11月29日)

- 教議第58号 ・ 平成29年度当初予算要求について
- 教議第59号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第60号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第61号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第62号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第63号 ・ 平成28年度12月補正予算について
- 教議第64号 ・ 大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について
- 教議第65号 ・ 工事請負契約の締結について
- 教議第66号 ・ 大分市立碩田学園児童・生徒用机及び椅子の購入について
- 教議第67号 ・ 大分市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について
- 教議第68号 ・ 大分市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に係る意見の申出について
- 教議第69号 ・ 大分市立幼稚園条例の一部改正について
- 教議第70号 ・ 大分市個人情報の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 教議第71号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教議第72号 ・ 土地買収について
- 教報議第16号 ・ 大分市情報学習センターに係る指定管理予定者の決定について
- 教報議第17号 ・ 大分市関崎海星館に係る指定管理予定者の決定について
- 教報議第18号 ・ 大分市営陸上競技場並びに津留運動公園自由広場及びテニスコートに係る指定管理予定者の決定について
- 報告事項 ・ 大分市立幼稚園平成29年度園児募集の結果について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 大分市立碩田学園の校章、校歌、制服について
- 報告事項 ・ 史跡大友氏遺跡をはじめとする埋蔵文化財の保存・活用に係る大分県と大分市の連携について
- 報告事項 ・ おおいた地域伝統文化応援事業助成金の不正受給に伴う返還請求について

第12回（平成28年12月21日）

- 教議第73号 ・平成29年3月末教職員定期人事異動方針について
- 教議第74号 ・大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・大分市立小学校給食調理場調理等業務委託事業者選定委員会について
- 報告事項 ・平成28年第4回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・平成28年度12月補正予算について
- 報告事項 ・平成29年度機構改革について
- 報告事項 ・平成28年第4回市議会定例会における質問・答弁事項について

3 大分市総合教育会議

第1回（平成28年6月3日）

- ・「大分市教育大綱策定記念 明日の大分市の教育を考えるシンポジウム」の開催報告について
- ・平成28年度「大分市教育大綱」関連事業について
- ・「大分市総合教育会議の運営に関する規程」の改正について

第2回（平成28年11月21日）

- ・特別支援教育の充実について

第3回（平成29年1月23日）

- ・平成28年度「大分市教育大綱」関連事業の取組について
- ・大分市の教育に求められることについて～大分市教育ビジョンの策定にあたって～

4 大分市議会文教常任委員会委員

職名	氏名	会派	職名	氏名	会派
委員長	帆秋誠悟	社会民主クラブ	委員	福間健治	日本共産党
副委員長	松本充浩	おおいた民主クラブ	委員	甲斐高之	社会民主クラブ
委員	松木大輔	自由民主党	委員	高橋弘巳	新市民クラブ
委員	藤田敬治	自由民主党	委員	川邊浩子	公明党
委員	仲道俊寿	自由民主党			

5 大分市社会教育委員

役職	氏名	選出団体等	役職	氏名	選出団体等
委員長	山崎清男	大分大学	委員	工藤喜賀	ガールスカウト大分県連盟
副委員長	岡茂八郎	大分工業高等専門学校	委員	松崎誠治	大分市老人クラブ連合会
委員	馬場宣昌	大分市小学校長会	委員	池部和信	大分市公民館連絡協議会
委員	佐藤修	大分市中学校長会	委員	安東真由美	中央地区
委員	分藤貴弘	大分市PTA連合会	委員	関京子	南部地区
委員	井上香織	大分市公立幼稚園PTA連合会	委員	首藤三千代	東部地区
委員	小野昭三郎	大分市青少年健全育成連絡協議会	委員	河合知美	鶴崎地区
委員	波多野徹	大分市青少年指導員連絡協議会	委員	麻生清子	植田地区
委員	井手口智子	大分市生活学校連絡協議会	委員	今村和江	大在地区
委員	内田日出男	ボーイスカウト大分県連盟	委員	太田宗一郎	野津原地区

6 大分市文化財保護審議会委員

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
会長	北野隆	建築	委員	渡辺文雄	工芸
副会長	豊田寛三	近世	委員	宗像健一	美術
委員	下村智	考古	委員	段上達雄	民俗
委員	西別府元日	古代	委員	渡邊ひろ美	動物
委員	鹿毛敏夫	中世	委員	船津勇一	植物

7 大分市美術館協議会委員

役職	氏名	職業等	役職	氏名	職業等
会長	貞包博幸	大分県立芸術文化短期大学名誉教授	委員	八坂千景	NPO法人 denk-pause 代表
副会長	山崎哲一郎	大分県美術協会副会長	委員	吉田公子	スタイリスト、プロデューサー
委員	田中修二	大分大学教育学部教授	委員	吉田絹代	市民代表
委員	鈴木忠実	大分県日本画協会会長	委員	徳浦貞二	大分市小学校校長会 (大分市立佐賀関小学校校長)
委員	姫野由香	大分大学工学部福祉環境工学科建築コース助教	委員	生野京子	大分市中学校校長会 (大分市立竹中中学校校長)
委員	安東公綱	大分合同新聞社編集局文化科学部部长	委員	小池理恵	大分県立大分鶴崎高等学校教諭
委員	高橋能樹	日本放送協会大分放送局局長			

8 大分市民図書館協議会委員

役職	氏名	職業等	役職	氏名	職業等
会長	石井保廣	別府大学客員教授	委員	首藤富久恵	大分ブックトーク研究会代表
副会長	中島誠	大分大学理工学部教授	委員	姫野輝彦	大分市ボランティアセンター所長
委員	加納雅子	大分市小学校校長	委員	佐藤真由美	NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワーク理事
委員	大久保義昭	大分市中学校校長	委員	工藤栄美子	公募委員

9 大分市青少年問題協議会委員

役職	委員名	職業等	役職	委員名	職業等
会長	佐藤樹一郎	大分市長	委員	増田真由美	大分市教育委員会教育部長
副会長	甲斐高之	大分市議会議員	委員	山崎清男	大分市社会教育委員長
副会長	三浦享二	大分市教育委員会教育長	委員	糸永正弘	大分地区高等学校指導連合会長
委員	穴見憲昭	大分市議会議員	委員	安東研輔	大分市生徒指導研究会会長
委員	阿部純也	大分中央警察署生活安全課長	委員	定宗瑛子	大分市民生委員児童委員協議会長
委員	秋江真人	大分東警察署生活安全課長	委員	安部泰史	大分保護区保護司会長
委員	秦幸良	大分南警察署生活安全課長	委員	荒金一義	大分市自治委員連絡協議会長
委員	伊東健志	大分家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	委員	神志那隆裕	大分市PTA連合会理事
委員	塩川善保	大分少年鑑別所首席専門官	委員	一ノ宮サヨ子	大分市地域婦人団体連合会長
委員	久保山守正	大分保護観察所統括保護観察官	委員	城向久美子	大分地区更生保護女性会長
委員	安東俊	大分労働局職業安定部職業安定課長	委員	後藤泰範	大分市子ども会育成連絡協議会長
委員	伊東雅人	大分県中央児童相談所長	委員	柴田文子	大分商工会議所女性会理事
委員	重石多鶴子	大分市子どもすこやか部長	委員	加藤健	大分青年会議所副理事長
委員	江藤郁	大分市福祉保健部長	委員	小野昭三郎	大分市青少年健全育成連絡協議会長
委員	戸田美和	大分市商工労働観光部長	委員	林美紀	大分市青少年補導員連絡協議会長

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」

めざすまちの姿（都市像）

「笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市」

未来へのキーワード

「はぐくむ」

～市民一人ひとりの夢が実現できるまち～

「つくる」

～個性と魅力あふれる創造性豊かなまち～

「つながる」

～安全・安心な暮らしを実感できるまち～

「ひろがる」

～世界に広がる交流拠点となるまち～

基本的な政策

- 1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり
（市民福祉の向上）
- 2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり
（教育・文化の振興）
- 3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり
（防災安全の確保）
- 4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり
（産業の振興）
- 5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり
（都市基盤の形成）
- 6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり
（環境の保全）

大分市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、近年、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我が国は世界最初の核被爆国であり、広島、長崎のあの惨禍を再び繰り返さないように、核兵器の恐ろしさ、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴え続けていかなければならない。

大分市は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念に基づき、非核三原則を守り、大分市民の平和と安全のため全力を尽くすことを誓い、ここに「平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年12月24日

大分市歌

作詞／竹森カヨ
作曲／中山悌一

一 豊の海に 陽はのぼり

神宮寺浦 波静か

宗麟この地に 文化を開き

ふれあいの 心豊かに

育ちゆく大分 大分 われらの大分

二 豊の山に 緑映え

荷揚の城に 風かおる

新産都の 力はあふれ

青春の 夢は明るく

ひらけゆく大分 大分 われらの大分

三 豊の国に 水光り

人の心に のぞみわく

はるけき屋並に 鳩は舞い舞う

五十万 共にむつまじく

進みゆく大分 大分 われらの大分



市の木／ホルトノキ



市の花／サザンカ

大分市の教育

(平成29年度)

発行 大分市教育委員会
住所 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
電話 (097)537-5671 教育総務課(ダイヤルイン)

※この冊子は再生紙を利用しています。